

地域アクションプランの 平成26年度の進捗状況等

・全体まとめ	1
1 平成26年度の主な成果		
2 各地域の主な動き		
・安芸地域	10
・物部川地域	28
・高知市地域	48
・嶺北地域	64
・仁淀川地域	76
・高幡地域	96
・幡多地域	112

地域アクションプランの進捗状況等について

1 平成26年度の主な成果

◆これまでの取り組みを土台に、各取り組みがステージアップ 地域資源の活用がさらに進み、地産外商や地域が主体となった観光振興の取り組みが活発に

【外商を見据えた動きがさらに活発化】

- 水産物を中心として、新たな加工施設の整備が進む。
- 需要の増大に対応して、ユズやショウガ、土佐あかうしなどで生産体制をさらに強化。
- 県外・海外の見本市に出展し、外商に挑戦。ヨーロッパ向けのユズ青果のほか、アジア向けの冷凍の輸出も進む。
- 海外の旅行エージェントへの着地型旅行商品のPRや中国への活魚の試験的な輸出、住宅用構造材等の韓国への輸出といった、これまでにない新たな挑戦も行われた。

【広域観光組織の活動が活発化し、地域が主体となった観光振興の取り組みが進行】

- 広域観光組織が中心となり、地域の連携強化や観光意識の向上が進む。
- 「奇跡の清流」仁淀川で、引き続き順調にツアーでの入込客数を増やすとともに、観光資源の充実やセールス活動を展開。
- 地域が主体となった博覧会の開催に向けて準備が進む。(H27「高知家まるごと東部博」、H28「奥四万十博」)

【地域における連携・協働の動きがさらに活発化】

- 地域おこし協力隊員による「集落活動センター」の運営支援や県外大学等と連携した観光商品の磨き上げなど、地域アクションプランの取り組みにおいて外部人材の活用が広がる。
- 直販所や道の駅などの新設・拡充により各地で拠点となる施設が完成・オープン。アドバイザーの活用などにより、地域における加工品づくりとの連携がさらに進む。

◆産業振興の取り組みを地域地域に広げるために広報活動や人材育成等を強化 (土佐まるごとビジネスアカデミーのバージョンアップ、各地でのシンポジウムの開催、ホームページ等での実践者の取り組み事例の紹介、包括協定に基づく金融機関との連携強化など)

⇒平成27年度は、これまでで最多の253件の地域アクションプランを推進していくこととなった。
引き続き、広報や啓発活動に工夫をこらしながら、参画を促していく。

■地域アクションプラン数

	安芸	物部川	高知市	嶺北	仁淀川	高幡	幡多	計
H26当初	34	24	32	28	36	46	45	245
追加		1			1	1	2	5
H26最終	34	25	32	28	37	47	47	250
追加	1		1		1	1	1	5
削除	▲1						▲1	▲2
H27当初	34	25	33	28	38	48	47	253

■主な支援策の活用状況（平成26年度）

- ・総合補助金 17事業 総事業費1,208,250千円（県補助金額331,803千円）
- ・産業振興アドバイザー事業 採択件数54件、指導・助言回数170回
(うち地域アクションプランの支援にかかるもの 採択件数46件、指導・助言回数154回)

■主な成果（平成26年度）

- ・地域アクションプランによる雇用の創出 50人

※いずれもH27.3月末見込み

仁淀川地域

「宇佐の一本釣りうめ」や「本川きじ」、「冷菓」など地域の特産品を活用した新商品の開発や販路の拡大が進んでいる。

また、リニューアルオープンした日高村の「村の駅ひだか」は直販所に加えてカフェや観光情報発信などの機能強化が図られ、売上額・来客数を順調に伸ばしている。

観光面では、佐川町の歴史的風致地区での「まち歩きガイド」の利用者数が大幅に増加しているほか、仁淀川流域全体の観光情報発信やツアー造成に取り組んでいる仁淀川地域観光協議会関連のツアーも参加者数が増え続けている。

県外大学等との連携による人的・物的交流が継続され、観光・交流人口の拡大に繋がっている。また、大阪圏都市部からのインターンシップ研修生の受け入れが定例化し、移住やシェアオフィスへの入居に繋がりはじめなど、担い手確保の取り組みが進んでいる。

また、地域内での担い手育成として嶺北高校と地域内企業が連携して地域の特産品（米粉等）を使った新商品の販売も始まっている。

ブランド米「土佐天空の郷」は米食味分析鑑定コンクールで連年の受賞を果たし、ブランド米としての地位を確立しつつある。

土佐あかうしは、これまでのブランド化への取り組みの結果、市場での評価が高まっており、生産力の強化に向けた施設の整備により増産体制が確立した。

嶺北地域

JA長岡の直販所「なの市」、飲食店「なのカフェ」は売上額・来客数とも順調に推移している。

また、「やすらぎ市」では地域の農作物を活用した特産品の開発が進み、新たな顧客の開拓や販路の拡大が図られている。

観光面では、「長谷寺の座禅ツアー」や「サンライズ・サンセット・シーカヤックモニターツアー」の実施など地域素材を活用した旅行企画の多様化を図ることにより、体験型観光を推進している。

物部川地域

高幡地域

葉にんにくの加工食品は、積極的な営業活動により県内外で取引先を拡大しているほか、原料の生葉も中華料理業界等で評価を得ている。

平成26年4月にオープンした四万十町の「おちゃくりカフェ」や農家レストランを併設した直販所「みどり市」では、広報や誘客等の工夫を図りながら、売上額・来客数を順調に伸ばしている。

水産分野では、衛生管理の高度化や生産性の向上が図られた養殖魚の加工施設が完成し、今後さらなる外商展開が期待される。

観光面では、「奥四万十博推進協議会」が設立され、平成28年度に開催する「2016奥四万十博」の基本計画を決定し、大手旅行会社等への積極的な販促活動が進められている。

安芸地域

ユズの青果輸出は3年目となりヨーロッパとの取引が定着しつつある。

地産地消やものづくりの拠点として、キラメッセ室戸の「楽市」で、直販所の機能強化のための施設拡張が進み、4月のオープンを目指している。また、奈半利町やJA馬路村が加工施設を拡充整備するなど、加工品づくりの体制強化が図られている。

観光面では、室戸ジオパークの拠点施設や「藤村製糸記念館」が整備されたほか、「廊中ふるさと館」や「芸西村伝承館」がリニューアルされるなど、各観光施設の魅力向上が図られ、「高知家まるごと東部博」の4月開幕に向けた準備が着実に進められている。

幡多地域

三原村のユズの産地化の取り組みが6年目を迎え、栽培面積の拡大が進むとともに農業後継者の育成や共同選果施設の整備にも取り組んでいる。

洋ランのブランド化に向けた取り組みでは、洋ラン製品の集積化により販路が拡大している。

水産分野では、土佐清水市や黒潮町の民間事業者が、生産量の拡大や衛生管理面の強化に向けて加工場整備に取り組むとともに、宿毛市では中国輸出に向けた取り組みも進められている。

観光面では、幡多広域観光協議会による広域観光ブランド化の取り組みにより、地域団体のさらなる連携強化とともに、新たな観光メニューの開発や体験プログラムの磨き上げが図られた。

高知市地域

自動車用竹製ハンドルの製造の取り組みでは、竹素材を活かした新商品開発が進んでいる。また、地元鮮魚を活用した食品の製造では、量販店での販売が開始されたほか、医療・介護施設等への新たな販路の拡大が進んでいる。

農業分野では、全国有数の産地であるキュウリや新ショウガの生産において、品質向上や増収に向けた天敵利用や炭酸ガス施用の取り組みが行われている。

滞在型・体験型観光の推進では、着地型旅行商品の開発が順調に進んでいるほか、外国人観光客を受け入れるための体制整備など、新たな取り組みが進められている。

地産地消・地産外商（ブランド化、アンテナショップ）

ユズを中心とした中山間振興 ユズ 【北川村・馬路村】

取り組みの内容

- ・EU向けの青果ユズの輸出
- ・アメリカ、中国にポン酢の商標登録を申請
- ・アルミ缶対応ドリンク充填ラインの整備

H26の主な成果

- ・青果出荷受入量の拡大（JA土佐あき）
398t(H25) → 449t(H26)
- ・フランス等ヨーロッパ諸国に約3トンの青果を輸出
- ・高知県産柚子の知名度向上

今後の方向性

- ・青果輸出の拡大
- ・新規市場の拡大



洋ランのブランド確立・流通促進事業 洋ランの販売促進 【宿毛市】

取り組みの内容

- ・洋ラン集出荷施設の整備
- ・国内外の販売促進の強化
- ・高知県洋蘭生産組合トレードフェア 2014in大阪を開催

H26の主な成果

- ・蘭遊六志会で仕立てた商品を大手百貨店に100鉢出荷
- ・香港へ50鉢、切花30本出荷

今後の方向性

- ・新商品の提案
- ・新たな市場の開拓



中土佐町地域ブランドの創出と販売促進 ぴんぴ 【中土佐町】

取り組みの内容

- ・「ぴんぴ鯉」及び第2ブランド「上々」の販売促進活動（百貨店や各県人会等）
- ・水産加工施設の整備

H26の主な成果

- ・「ぴんぴ鯉のたたきセット」の販売
202セット(H25)→216セット(H26)
- ・三越特招会、グルメ通販での取扱
189セット

今後の方向性

- ・販路拡大
- ・商品開発



「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組 【南国市】

取り組みの内容

- ・シャモ肉販売先の開拓
- ・高知農業高校との連携による孵卵体制の整備

H26の主な成果

- ・シャモ肉取り扱い店舗等
46店舗(H25) → 62店舗(H26)
- ・シャモ鍋、シャモスキやきセットの販売
450万円(H25) → 610万円
(H27.2月末現在)
(前年同期比 135%)

今後の方向性

- ・高知農業高校との連携強化
- ・ギフト向け等新商品の開発



土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興 【本山町、大豊町、土佐町】

土佐あかうしの生産基地

取り組みの内容

- ・畜舎整備
- ・繁殖雌牛の導入
- ・繁殖活動
- ・子牛の飼養

H26の主な成果

- ・増産体制の確立
- ・繁殖雌牛導入数
9頭(H25) → 35頭(H26)

今後の方向性

- ・繁殖雌牛及び肥育牛の増
- ・繁殖から肥育までの一貫した生産管理の徹底
- ・6次産業化に向けた取組



ナシ産地の振興とブランド強化 【高知市】

新高梨

取り組みの内容

- ・「まるはり」デザインの出荷用段ボール、販促グッズの活用
- ・鳥獣害対策の実施

H26の主な成果

- ・生産量 350t(H25) → 370t(H26)
- ・知名度（ブランド力）の向上
- ・鳥獣被害の軽減



今後の方向性

- ・新規市場の拡大
- ・協同出荷組織の拡大

海の駅を拠点とした地域振興

「海の駅」東洋町

取り組みの内容

- ・海の駅のオープン（H26.1）
- ・フェイスブックによる情報発信
- ・地域特産品を活用した飲食メニューの提供

H26の主な成果

- ・来場者数
142,168人
- ・売上
127,527千円
(いずれもH27.2月末現在)

今後の方向性

- ・運営体制の強化
- ・地域産品を活用した加工品の確保
- ・地域の観光情報の発信



直販市の機能強化による地域の活性化 【日高村】

村の駅ひだか

取り組みの内容

- ・運営会社「(株)村の駅ひだか」設立
- ・直販所「村の駅ひだか」がリニューアルオープン (H26.11)

H26の主な成果

- ・来場者数 58,017人
- ・直販市の売上 57,175千円 (いずれもH26.11~H27.2月)

今後の方向性

- ・売上、来客数、イベント等の分析に基づく商品の品揃え
- ・生産者への周知、出荷者の増、集荷体制の整備
- ・特色ある商品づくりや魅力的な加工品の開発



直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大 【南国市】

JA長岡「なの市」「なのカフェ」

取り組みの内容

- ・直販所「あけぼの市」を移転した「なの市」と新設の飲食店「なのカフェ」の開業 (H26.4)
- ・近隣観光施設と連携した「あけぼの街道ひまわりフェスタ」の開催

H26の主な成果

- ・なの市、なのカフェの売上 155百万円 (H27.2月末現在)
- ・出荷会員数 207人(H25) → 222人 (H27.2月末現在)

今後の方向性

- ・隣接する「ながおか温泉」と連携した誘客活動の展開



中心商店街でのアンテナショップの運営 【高知市】

土佐せれくとしよつぱ てんこす

取り組みの内容

- ・県産品の新たな掘り起こし
- ・中心商店街の活性化のためのイベント等を実施
- ・クルーズ客船高知新港入港時の出張販売 (4回)

H26の主な成果

- ・地域産品の掘り起こし: 新規取扱商品383品目、約4,972アイテムを登録

今後の方向性

- ・地域産品の積極的PR
- ・中心商店街への波及効果の発揮



津野町地産地消・外商販売戦略 【津野町】

津野町アンテナショップ「満天の星」

取り組みの内容

- ・新茶まつりなどイベント開催
- ・生産者直販システムの改修の検討
- ・新商品の開発 3商品

H26の主な成果

- ・アンテナショップ「満天の星」店舗売上高 (2月末現在) 104百万円(H25) → 109百万円(H26)

今後の方向性

- ・特産品(つの茶、津野山牛)の認知度向上
- ・定期的なイベント開催



地産地消・地産外商(農産加工)

四万十の栗再生プロジェクト 【四万十町】

四万十の栗

取り組みの内容

- ・おちゃくりカフェオープン (H26.4)
- ・栗生産力向上のための技術指導の強化
- ・マスコミ等への露出と外商活動

H26の主な成果

- おちゃくりカフェ実績
- ・売上高 28,363千円
- ・来店者数 9,365名 (いずれもH27.2月末)

今後の方向性

- ・生産者部会の組織強化
- ・新商品の開発と販売促進



大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組 【大豊町】

基石茶

取り組みの内容

- ・イベント出展等による販促活動
- ・県外商談会での商談

H26の主な成果

- ・新規取引先: 21社

今後の方向性

- ・茶葉や加工品の販路拡大
- ・固定客の確保・拡大



葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大

葉にんにくのたれ

【須崎市】

取り組みの内容

- ・県内外での展示商談会等への出展
- ・女性雑誌による情報発信等

H26の主な成果

- ・新規取引先(生業含む): 27社
- ・高知県地場産業大賞奨励賞受賞

今後の方向性

- ・新たな商品開発
- ・取引先の開拓



㈱フードプランを中心とした農山村6次産業化の推進
【仁淀川町】

カット野菜等の販売拡大

取り組みの内容

- ・経営分析、経営計画づくりを実施
- ・カット野菜等のブランド「TABLE*VEGI」を開発
- ・農商工等連携事業計画の認定を受け、新たな加工品3品(ドレッシング、生姜焼きのたれ)を開発

今後の方向性

- ・経営改善と設備投資に向けた財務環境の整備
- ・収益率の高い商品の開発と販売促進



H26の主な成果

- ・54名の雇用を維持
- ・売上高
4.2億円(H24)→4.4億円(H26)

本川きじの販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品開発
【いの町】

本川手箱きじ

取り組みの内容

- ・生産体制や販売体制の強化を目指して「本川手箱きじ生産企業組合」設立
- ・試作品の開発、商談会への出展
- ・市場調査、販売戦略策定を実施

今後の方向性

- ・新たな販路の開拓
- ・安定した生産体制の構築



H26の主な成果

- ・新商品「きじ重」の販売開始
- ・仁淀川流域の直販所と連携した販路拡大

加工品販売による夜須地域の活性化
【香南市】

夜須のキッチンマーメイド

取り組みの内容

- ・新商品の開発
- ・「香南市ギフトカタログ」での販売開始

今後の方向性

- ・主力商品の定着
- ・商品数の増加



H26の主な成果

- ・夜須のフルーツマトや赤生姜などを使った新商品の販売開始(4品)
- ・新規雇用(3名)

春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上
【高知市】

トマト・ショウガの加工品

取り組みの内容

- ・新商品の開発
- ・加工用野菜の栽培
- ・商談会・見本市等への出展

今後の方向性

- ・新たな加工品開発
- ・販売ルート拡大とブランド化
- ・加工用野菜の生産体制の整備



H26の主な成果

- ・普及価格帯の商品開発により、県外量販店の販路を拡大
- ・PB商品生産の拡大

地産地消・地産外商(林産加工)

土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化
【東洋町、室戸市】

土佐備長炭

取り組みの内容

- ・備長炭生産者の育成
- ・室戸市木炭振興計画の策定

H26の主な成果

- ・新たな研修生3名の受入(東洋町生産組合、室戸市振興会)

今後の方向性

- ・共同利用窯の増設
- ・量産体制の強化
- ・人材の育成



町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業
【大月町】

土佐備長炭

取り組みの内容

- ・製炭窯を3基増設(合計10基)
- ・備長炭生産者の育成

H26の主な成果

- ・生産量の増大
19.3t(H24)→75.7t(H26見込)

今後の方向性

- ・生産量の増大
- ・生産者の技術向上



「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進
【梶原町・津野町】

原木シイタケ

取り組みの内容

- ・産振アドバイザーの活用
- ・等級階級別の販売分析

H26の主な成果

- ・乾燥シイタケの販売量
2.2t(H22)→5.9t(H26)

今後の方向性

- ・乾燥シイタケを使った料理の提案による販路拡大
- ・乾燥シイタケを使った加工品の検討



仁淀川流域における木材産業の振興【仁淀川地域全域】

住宅用構造材等の販売拡大

取り組みの内容

- ・韓国建設企業団の産地商談会開催
- ・デザイン建築物の開発と販売促進

H26の主な成果

- ・住宅用構造材及び内装材を韓国に輸出

今後の方向性

- ・林業事業体の増産に向けた体制づくり
- ・新たな製剤工場を拠点とした木材加工力の強化(県産木材製品の国内及び韓国への販路拡大)



地産地消・地産外商(水産加工)

「弘化台ブランドの創出」地元鮮魚を活用した食品の製造・販売【高知市】

弘化台ブランドの創出

取り組みの内容

- ・新商品の開発販売(かつおハンバーグ等)
- ・デパートに総菜店舗を開店

H26の主な成果

- ・福祉施設や医療機関への販路拡大
- ・雇用の創出 長期7名

今後の方向性

- ・県内外への販路の拡大
- ・新商品の開発



うるめのブランド化【土佐市】

宇佐の一本釣りうるめ

取り組みの内容

- ・一本釣りうるめ祭りの開催
- ・新商品の開発
- ・商談会への参加

H26の主な成果

- ・売上高 51,094千円(H25)→56,746千円(H27.2月末現在)

今後の方向性

- ・新商品の開発と、更なる販路拡大
- ・原材料の確保



地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業

宗田節【土佐清水市】

取り組みの内容

- ・各種商談会、催事等での販促活動
- ・新工場整備に着手

H26の主な成果

- ・主力商品「だしが良く出る宗田節」が調味料選手権(日本野菜ソムリエ協会主催)で優秀賞を受賞
- ・売上額 22,240千円(H24)→47,600千円(H26)

今後の方向性

- ・高質系スーパーをメインターゲットとした販促活動の強化
- ・新商品の開発



宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進

宿毛の魚の販売促進

取り組みの内容

- ・中国青島での国際漁業博覧会への出展
- ・加工品の販売促進

H26の主な成果

- ・売上高 200百万円(H25)→258百万円(H26見込)

今後の方向性

- ・中国輸出に向けた取組みの継続
- ・新商品の開発



魅力のある観光

世界ジオパーク認証を活かした観光の振興【室戸市】

室戸ジオパーク

取り組みの内容

- ・ジオパーク拠点施設の整備(H27.3月竣工見込)
- ・ジオサイトの整備(行当黒耳海岸サイト)
- ・ジオツアーのコース造成
- ・ジオガイドの養成

H26の主な成果

- ・ジオツアーの開催(7回開催、延べ24人参加)
- ・ガイド養成講座 4回開講(受講者:延べ65人)(ジオガイド実績: 6,886人(H25)→7,200人(H26見込))
- ・東部博体験プログラムインストラクター養成講座 3回開講(受講者(見込み):延べ26人)

今後の方向性

- ・拠点施設の円滑な運営
- ・ガイド養成、ジオツアー等の受入態勢強化



藤村製糸を活用した観光振興

【奈半利町】

藤村製糸記念館

取り組みの内容

- ・藤村製糸記念館の整備
(木造平屋建 422.37㎡
うち展示スペース241.87㎡)
- ・ガイド組織の活動強化

今後の方向性

- ・地元観光ガイド組織
などとの連携強化
- ・観光資源の情報発信

H26の主な成果

- ・東部地域観光の新たな拠点施設が竣工(H27.2)
- ・地元観光ガイド組織等の活動意欲の向上



広域観光の取組の推進

【安芸地域全域】

安芸地域の広域観光の推進 (東部博)

取り組みの内容

- ・高知県東部地域博覧会(高知家まるごと東部博)の実施計画策定(7月)
- ・旅行商品づくり
- ・観光拠点等の整備・磨きあげ
- ・東部博パビリオンを3エリアに設定
- ・ガイド等の人材育成
- ・イベントの実施
- ・広報及びセールス活動の実施

今後の方向性

- ・東部博の誘客推進
- ・広域観光組織の設立等

H26の主な成果

- ・東部博開幕に向けた実施体制の確立
- ・新たなスペシャルイベント(9)と体験プログラム(15)の造成
- ・イベントへの参加人数延べ10,530人



「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進

【仁淀川地域全域(仁淀川地域観光協議会)】

仁淀川流域観光の推進

取り組みの内容

- ・流域市町村等と連携した旅行会社のセールス、商品化のサポート
- ・仁淀川流域の観光情報の発信
- ・地域連携イベント「仁淀川ひな回廊」の開催

H26の主な成果

- ・協議会のセールスで実現したツアーの実施
実施本数: 110本(H24)→146本(H27.2月末現在)
ツアー参加者数: 2,477人(H24)→3,752人(H27.2月末現在)

今後の方向性

- ・観光資源の旅行商品化に向けたセールス活動の継続
- ・「奇跡の清流仁淀川」ブランドを活かした観光情報の発信
- ・協議会の推進体制の充実



幡多広域における滞在型・体験型観光の推進

【幡多地域全域】

幡多地域の広域観光の推進

取り組みの内容

- ・「楽しまんと！はた旅」ガイドブックによる広域観光情報の発信
- ・食のブランド化の推進(塩タタキ、清水サバ、キビナゴ丼)

H26の主な成果

- ・幡多広域観光協議会に広域観光推進部会を設置し、民間団体、事業者が参画する仕組みを確立(5つの専門チーム会を設置)
- ・一般旅行受入数(7~12月)
5,978人(H25)→9,232人(H26)

今後の方向性

- ・専門チームメンバーの観光創生塾への参加
- ・旅行商品の造成・販売



高幡地域における広域観光の推進

【高幡地域全域】

2016奥四万十博

取り組みの内容

- ・奥四万十博推進協議会の設置
- ・エージェント向けモニターツアーの実施
- ・首都圏等への営業活動

H26の主な成果

- ・博覧会基本計画の決定
(開催期間H28.4.10~12.25)
- ・大手旅行会社のクーポン掲載

今後の方向性

- ・博覧会実施計画の策定
- ・旅行商品の造成
- ・博覧会終了後の組織体制づくり



近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進

【高知市】

体験型旅行商品 (とさ恋ツアー)

取り組みの内容

- ・第2種旅行業免許を活用した新商品の開発
- ・外国人観光客を対象としたパンフレット等の作成
- ・海外の旅行エージェントへのPR
- ・県内全域での旅行商品づくり

H26の主な成果

- ・新たな観光商品の造成
36コース(H25)→44コース(H26)

今後の方向性

- ・更なる旅行商品づくりと情報発信



観光事業から観光産業へ
～観光産業の振興～

【南国市】

まほろば体験観光

取り組みの内容

- ・岡豊山さくらまつり、土佐の食-1グランプリ、長宗我部フェス等の集客イベントの開催
- ・ごめんな祭、なんこくへんろウオーク、南国フォトゲイニング大会、長宗我部元親ラリー4等の参加・体験型イベントの開催
- ・西島園芸団地にドライミスト設備を設置

H26の主な成果

- ・岡豊山さくらまつり、土佐の食-1グランプリ、長宗我部フェス、ごめんな祭での入込客数の合計 15千人
- ・主要4施設の来場者・入込客数 524千人(H25)→538千人(H26)

今後の方向性

- ・観光コンテンツの創出、磨き上げ、育成、ネットワーク化
- ・南国市の認知度を上げるためのプロモーションツールの作成



体験観光等の旅行商品化と販売の
推進・地域の観光情報の発信

【香南市】

海から山から体験観光

取り組みの内容

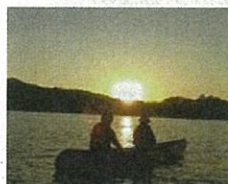
- ・長谷寺座禅ツアー、第3回土佐塩の道トレイルランニングレースなどの催行
- ・サンライズ・サンセットシーカヤックモニターツアーの開催

H26の主な成果

- ・主催旅行 7コース332名(H25)→16コース368名(H26)

今後の方向性

- ・地域素材を使った旅行企画の開発と多様化



「森の駅」を中心とした体験型観光
の推進

【香美市】

物部体験・龍河洞体験

取り組みの内容

- ・いざなぎ流舞神楽観賞と体験の開催
- ・土佐塩の道うおーくの開催
- ・龍河洞案内用多言語アプリの開発
- ・龍河洞クリスマスキャンドルナイトの開催
- ・飲食店連携による街バルイベント「香美バル」の開催

H26の主な成果

- ・龍河洞クリスマスキャンドルナイト入洞者数 1,281人(H25)→1,416人(H26)
- ・インバウンド受け入れ環境の整備

今後の方向性

- ・新たな体験プログラムの造成や参加者の受け入れ体制の整備



嶺北地域の連携による交流人口の拡大 【嶺北地域全域】

県外都市部の大学との連携

取り組みの内容

- ・大学と連携した旅行商品の磨き上げ
- ・地域産品を活用した新商品の検討・開発
- ・インターンシップをはじめとする地域との交流

今後の方向性

- ・学生の企画・提案内容の実現化に向けた協働した取組
- ・都市部の大学と地域の交流の継続・拡大
- ・協働する大学・専門学校等の拡大

H26の主な成果

- ・県外都市部の3大学と連携した取組による交流人口の拡大
- ・学生が開発した米粉レシピ(3品)が県外大学の学生食堂のメニューに採用



歴史的風致維持向上計画の推進 【佐川町】

まち歩き観光ガイド ～NPO佐川くろがねの会～

取り組みの内容

- ・観光ガイド養成研修の実施
- ・ガイド実践のためのガイド台本のリニューアル

今後の方向性

- ・まち歩きの観光客に向けた物産販売や情報発信の強化
- ・仁淀川地域観光協議会、佐川町やさかわ観光協会との連携強化

H26の主な成果

- ・まち歩き観光ガイドの数 6人(H25)→15人(H26)
- ・ガイド利用者数 2,986人(H25)→4,314人(H27.2月末現在)



その他の特徴的な展開

防災関連新産業創造事業 【黒潮町】

防災産業

取り組みの内容

- ・缶詰工場の稼働開始
- ・加工機械の導入による、生産力の増強
- ・缶詰5商品完成、販売

H26の主な成果

- ・雇用の創出 長期4名、短期8名
- ・缶詰売上(H26見込) 10,000千円
- ・第2回こうちビジネスチャレンジ基金事業の優良に認定

今後の方向性

- ・大手小売店との取引開始に向けた量産体制の確立
- ・多様な販路の開拓



香南市の地場産品の販売促進

【香南市】

香南市ギフトカタログ

取り組みの内容

- ・テレビなどのメディアの活用やイベント、ダイレクトメールによる販売促進
- ・クレジット決済の導入
- ・「ふるさと応援寄附金」の記念品としての活用

H26の主な成果

- ・注文件数及び売上額が倍増
269件 2,064千円(H25)→ 551件 5,418千円(H27.1月末現在)

今後の方向性

- ・カタログ掲載商品の充実とネット販売の推進
- ・県内外のリピーターの増加



JA出資型法人を核とする地域活性化の取組 【土佐町】

農業の担い手育成

取り組みの内容

- ・大阪圏の自治体及び企業等との連携による農業の担い手の育成(インターンシップ研修)
- ・新規就農研修支援事業による研修実施



H26の主な成果

- ・都市部からのインターンシップ研修の受入
16名(H25)→30名(H26)
- ・新規就農研修支援事業による研修生 1名

今後の方向性

- ・インターンシップ研修終了後の就農支援の展開
- ・大阪圏自治体との連携強化

三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築

ユズ産地化と農業後継者育成

【三原村】

取り組みの内容

- ・新たな販路の開拓
- ・宿泊研修施設の整備
- ・新たな商品(ゆうべし)の販売

今後の方向性

- ・新規就農者の育成
- ・集落活動センターとの連携

H26の主な成果

- ・生産量の増大
90.8t(H24)→102t(H26)
- ・ユズの栽培面積
31.0ha(公社15.6ha)(H24)
→36.5ha(公社21.7ha)(H26)



県産竹材を用いた新規分野への製品展開 【高知市】

自動車用竹ハンドル

取り組みの内容

- ・竹製自動車ハンドルの素材の製造
- ・竹シート、竹ブラシ等の製造
- ・新たな分野への販路開拓

今後の方向性

- ・竹材の安定確保
- ・新製品の研究・開発

H26の主な成果

- ・須崎地区森林組合等との連携による竹材確保の仕組みの構築



地域内高校と連携した将来の担い手育成に関する取組

模擬会社化を目指す嶺北高校

【嶺北地域全域】

Reihoku Youth Neighborsの活動

取り組みの内容

- ・(株)れいほく未来と連携した新商品開発

今後の方向性

- ・地域を巻き込んだ活動への展開
- ・卒業生を含む若者の受け皿となる会社化の取組

H26の主な成果

- ・新商品の企画・提案(8品目、うち5品目が26年度内に商品化)
- ・高校生の地域活性化への貢献意欲の向上



嶺北地域の連携による移住促進の取組

移住・定住人口の拡大

【嶺北地域全域】

取り組みの内容

- ・れいほく田舎暮らしネットワークと4町村が連携した移住促進の取り組みを展開
- ・移住相談・空き家調査の実施
- ・移住体験ツアーの実施

今後の方向性

- ・継続した取組体制の確立
- ・移住希望者のニーズに沿った情報発信

H26の主な成果

- ・移住相談件数(延べ数)
315件(H25)→386件(H27.2月末現在)
- ・移住実績
55名(H24)→57名(H27.2月末現在)



滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり

【四万十町】

クラインガルテン

取り組みの内容

- ・施設内、町内イベント等での住民との交流促進
- ・移住相談窓口やお試し滞在施設の運営

今後の方向性

- ・移住定住促進の仕組みづくり
- ・相談窓口体制と移住サポーターの活動の充実

H26の主な成果

- ・施設稼働率 97.4%
(H27.2月末現在)
- ・移住相談窓口への相談件数
134件(H25)→475件(H27.2月末現在)
- ・移住実績 9組18名(H24)→16組26名(H27.2月末現在)



安芸地域アクションプランの進捗状況等

H27. 3. 19

安芸地域本部

1 地域アクションプランの平成26年度（第4四半期）の進捗状況等（総括）

(1) 総評

農業分野のナスに関しては、生産者との勉強会などを中心に系統出荷率の向上や土佐鷹作付面積の増加等の取組を行い、ユズに関しても、栽培農家に対して新植・改植を推進する勉強会や講習会を開催するほか、果汁等の安定供給と販路の開拓などに向けた協議等を行っている。

また、昨年10月に産業振興推進総合支援事業費補助金審査会で採択された農産加工施設を整備し、奈半利味噌の増産を目指す取組は、年度内完成に向けて順調に工事が進んでいる。

林業分野のうち、特用林産物の土佐備長炭については、製造・販売の拡大に向けた今後の具体的な取組について、引き続き関係者と協議を進めている。

商工業分野では、産業振興推進総合支援事業を活用して昨年1月にオープンした東洋町の海の駅は、2月末までに来場者は約176,000人、売上高は約1億6千万円と、夏の連続台風の影響を受けながらも順調に再スタートをすることができた。来年度は、来場者を楽しんでもらえる店づくりをなお一層進めていくこととなる。

観光部門では、昨年11月に室戸ジオパーク拠点施設の広報と施設内で飲食・物販を行うこととなる事業者がそれぞれ決定し、本年4月29日の東部地域博覧会の開会日の施設オープンに向けて順調に整備が進んでいる。また、東部地域博覧会をにらんで施設改修を行うこととしている安芸市の「廓中ふるさと館」では、施設改修のほか新たな食事メニューの検討や接客マナーの向上などにも取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

①地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>二つの日本一を有する産地機能の維持・強化</p> <p>■No.1ナス産地におけるまとまりづくりとブランド化の推進(室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA土佐あき</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>安芸市の系統出荷率：60%</p> <p>土佐鷹の作付面積：80ha</p> <p>[H26到達点]</p> <p>安芸市の系統出荷率：60%</p> <p>土佐鷹の作付面積：40ha</p> <p>[H25到達点]</p> <p>安芸市の系統出荷率：58% → 実績57.2%</p> <p>土佐鷹作付面積：40ha → 実績26.9ha</p> <p>[取組状況]</p> <p>○系統率の向上</p> <p>・地域園芸戦略推進会議まとまりづくりチーム会の開催 (11回)</p> <p>・各地区反省会、現地検討会の開催(5回)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 2 ユズを中心とした中山間振興(室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐あき ・ J A 馬路村 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安芸出荷場での営農相談の実施 (9回、延べ 536 人へ情報提供) ・ 病害抑制実証成績 (CO2 施用試験成績等) の周知と実践の喚起 (7 か所) ・ 地区栽培講習会 (2 回) ・ ナス品目別現地検討会 (2 回) <p>○土佐鷹の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐鷹普及推進協議会の開催 (4 回) と JA・園芸連・県で農家を個別に巡回 (5 月、9 月) (栽培面積は、台風 11 号被害などにより前年度より 3.1ha 減少の 23.8ha) ・ 園芸研究幹事会等の開催 (2 回) ・ 土佐鷹現地検討会 (9 回) ・ 土佐鷹栽培勉強会 (1 回) ・ 消費拡大連絡協議会の開催 (7 回) ・ ナス料理紹介及び環境保全型農業の出前授業の開催 (2 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化や重油の高騰による栽培面積の減少 ⇒ 栽培指導を徹底し、生産量の確保に向け取り組む <p>[目標 (H27)]</p> <p>青果出荷受入量：400t</p> <p>作業受託等の新たな組織づくり：北川村 1 組織 馬路村 1 組織</p> <p>加工仕向量：4,670t</p> <p>加工用果皮 (A 品・B 品) の出来高：安芸 1,000t 北川 80t</p> <p>J A 馬路村加工品販売額</p> <ul style="list-style-type: none"> ユズ茶：1.6 億円 化粧品：5,200 万円 ポン酢他ユズ加工品：20.7 億円 <p>[H26 到達点]</p> <p>青果出荷受入量：400t</p> <p>組織設立に向けた方向性の決定</p> <p>加工仕向量：4,670t</p> <p>加工用果皮 (A 品・B 品) の出来高： 安芸 1,000t 北川 80t</p> <p>J A 馬路村加工品販売額</p> <ul style="list-style-type: none"> ユズ茶：1.6 億円 化粧品：5,200 万円

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>ボン酢他ユズ加工品：20.7億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>青果出荷受入量：400t → 実績 398t</p> <p>組織設立に向けた方向性の決定</p> <p style="padding-left: 40px;">→ 実績 北川村 方向性を確認 馬路村 組織検討に至っていない</p> <p>加工仕向量：4,500t → 実績 4,058t</p> <p>加工用果皮の出来高量A・B品：安芸 840t、北川 60t</p> <p style="padding-left: 40px;">→ 実績 安芸 951t、北川 39t</p> <p>J A馬路村加工品販売額</p> <p style="padding-left: 20px;">ユズ茶：1.6億円 → 実績 0.8億円</p> <p style="padding-left: 20px;">化粧品：5,200万円 → 実績 1.03億円</p> <p style="padding-left: 20px;">ボン酢他ユズ加工品：20.7億円</p> <p style="text-align: right; padding-right: 20px;">→ 実績 33.2億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○新植・改植の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会（果実品質のワンランクアップなど、6回）、勉強会（適期防除・カラーリング出荷拡大、28回）の実施 ・母樹園の管理状況確認巡回（3回） <p>○将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡会等での課題抽出と共有化、活動計画の検討（北川村 12回） ・農地流動化及び組織設立等の検討（北川村宋ノ上地区） <p>○ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県版 HACCP 取得に向けた指導（JA 土佐あき、JA 馬路村） ・県版 HACCP 取り組みの検証（JA 土佐あき、JA 馬路村） ・加工用果皮出荷拡大・品質ワンランクアップ勉強会等開催（22回） ・青果輸出に係る残留農薬検査等に関する検討（3回） ・ジュース製造ラインの改修に関する協議の実施（2回） <ul style="list-style-type: none"> ⇒ アルミ缶対応ドリンク充填ラインの整備事業が産振補助金で採択（JA 馬路村） ・消費者交流イベント開催（3回） ・消費地での販促活動の実施（2回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ果汁の販売強化、ユズ商品の販売拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 取組の着実な継続

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>森林資源の活用促進</p> <p>■No. 8 木質バイオマス活用の促進（安芸市、芸西村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JA土佐あき ・ (有) 安岡重機 ・ 高知バイオマスファーム ・ 高知東部森林組合 <p>■No. 7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化（室戸市、東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室戸市木炭振興会 ・ 土佐備長炭生産組合 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>ペレット生産量能力：1,500t/年 木質資源利用ボイラー設置台数：100基</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ペレット生産量能力：1,000t/年 木質資源利用ボイラー設置台数：122基</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ペレット生産：700t/年 → 実績 661t/年 ボイラー設置：102基 → 実績 95基</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木質資源利用促進事業の事業計画書（ペレットボイラー）の本課提出（安芸市13台・芸西村9台） ・ JAとのペレット調達に係る意見交換 ・ 木質ペレット製造業者との意見交換 ・ ペレットの需給状況（H25実績）の把握 ・ 原木調達先候補の一つである安芸森林管理署との意見交換 ・ 木質ペレットボイラー発注（安芸市13台・芸西村9台） ⇒ 設置完了 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内でのペレット需要量に対する供給量不足 ・ 木質ペレットの供給価格 ・ 燃焼灰の処理 ⇒ 木質ペレットの原料原木の安定調達 <p>[目標 (H27)]</p> <p>新規就労者確保：就労者5名 共同窯設置：6基 生産量の増産：30t/年/基 新規商品開発：1商品 原木配給施設：1箇所</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>新規就労者確保：就労者5名 共同窯設置：6基 新規商品開発：1商品</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>新規就労者確保：就労者3名 → 実績2名 共同窯設置：4基 → 実績4基 新規商品開発：1商品 → 実績1商品</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係市町村(室戸市・東洋町)との産振補助金に係る打合せ ・生産者団体(炭玄グループ:3経営体5基)への補助事業等の指導 ・産振補助金に係る打合せ(振興会) ・研修生の募集に係る打合せ(室戸市) ・新規研修生の応募者(3名)の受入を調整中 ・産振補助金に係る打合せ(東洋町) ・振興計画策定に対する支援(室戸市 3回) ・先進地(和歌山県)視察(室戸市 1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木調達に係る、原木の価格競争や伐り手の確保(室戸市炭玄グループ) ・木炭生産者全員の一本化に向けた調整(室戸市振興会) ・生産組合の法人化(東洋町生産組合) <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 引続き法人化(組織一本化)への検討 ・後継者(研修生)の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 特用林産業新規就業者支援事業の活用
<p>水産物のブランド化への取組</p> <p>■No.10 芸東地域の水産物の付加価値の向上と販路の拡大(室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[鮮魚] 芸東水産業改良普及協議会 ・[加工品] <ul style="list-style-type: none"> (有)タカシン水産 高知県漁協 	<p>[目標(H27)]</p> <p>平均単価(キンメダイ):1,200円/kg 水揚金額(大敷漁獲物):15億円 加工品販売金額:12,000万円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>平均単価(キンメダイ):1,200円/kg 水揚金額(大敷漁獲物):14億円 加工品販売金額:9,000万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>室戸市場のキンメダイ取扱量:2.3%、1,000万円 → 実績 1,180万円</p> <p>加工品販売額:8,600万円 → 実績 7,483万円</p> <p>継続取引件数:県外10件、県内12件 → 実績 県外15件、県内30件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪の量販店でキンメダイの宣伝販売を実施 (4回:のべ26店舗) ・定置網における高鮮度処理魚の生産販売を試行(17回) ・上記試行の結果報告と今後の対応を協議 ・定置網の朝どれ鮮魚のPR販売を実施(2回)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上 (安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間企業 ・ 安芸漁協 ・ 安芸おじゃ娘 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近海マグロはえ縄漁船の地元水揚げを働きかけ ・ ハダカイワシ (低利用魚) のフライ商品を試作 ・ ハダカイワシ (低利用魚) のフライ商品やウツボ (低価格魚) のタタキ商品を製造販売 ・ シーフードショー東京でキンメダイ等の商談を実施 ・ 高鮮度処理ビンナガの食味試験を実施 (2回) <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 高鮮度処理の優位性が確認された ・ 定置網漁獲物の簡易加工 (イカ沖漬け) を試行 ・ 定置網漁獲物の蓄養出荷を試行 ・ 定置網漁獲物の効果的な高鮮度処置手法を確立 ・ 遠洋マグロ漁船による脂肪含量測定値の正確性を検証 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐乙女マグロ (船上高鮮度処理ビンナガマグロ) の販路拡大の取組 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 市場ニーズに応じた鮮度処理方法等、技術面の支援 ・ 近海マグロはえ縄漁による水揚 (地元) 価格形成 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 産地買受人の購買力や販路に応じた魚種、水揚量等の検討 <p>[目標 (H27)]</p> <p>水揚げ金額 : 201,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>水揚げ金額 : 159,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>安芸水産売上額 : 96,000 千円 → 実績 63,945 千円 (安芸漁協シラス水揚げ額 実績 135,734 千円)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安芸水産との協議 (10回) ・ 他地域シラス漁業関係者との協議 (3回) ・ 安芸おじゃ娘との協議 (5回) ・ イワシシラス漁海況等の勉強会 (1回) ・ チーム会開催 (1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通じた原魚の確保 (安芸水産) <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 香川県庵治漁協から原魚確保 ⇒ 8月末の時点で一定の在庫を確保 ⇒ 高知県春野町漁協から原魚確保

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>地域の1次産品等を活用した商品づくりと販路拡大</p> <p>■No.6 白下糖の生産の拡大と観光への活用 (芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・芸西村製糖組合 ・生産者グループ 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>サトウキビ収穫量：40 t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>サトウキビ収穫量：39t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>サトウキビ収穫量：38t → 実績 39 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村地域 AP 等協議 (4 回) ・関係者協議 (7 回) ・高知県観光拠点等整備事業費補助金 (芸西村伝承館改修) 交付決定 ⇒ 芸西村伝承館改修完了 (11/4) ・製糖体験についての打ち合わせ (5 回) ・チーム会開催 (1 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料 (サトウキビ) の確保等の取組 ⇒ 品質向上のための栽培歴作成 サトウキビ作付面積拡大のための買取制度の検討
<p>■No.13 安芸市の地域食材を活用した商品づくりの推進 (安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 ・生産団体・グループ ・民間事業者・加工業者 ・安芸市観光協会 ・「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会 ・安芸「釜あげちりめん井」楽会 ・安芸商工会議所女性会 ・JA土佐あき婦人部 ・入河内大根のこそう会 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>—</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸「釜あげちりめん井」楽会意見交換会 (1 回) ・安芸「釜あげちりめん井」楽会検討会 (12 回) ・安芸「釜あげちりめん井」楽会総会 (1 回) ・入河内大根のこそう会総会 (1 回) ・じゃこサミット実行委員会 (13 回) ・西日本ご当地じゃこサミットの開催 (1 回) ・安芸まるごと井提供店舗 7 店舗 (安芸市内) ・釜あげちりめん井提供店舗 17 店舗 (安芸市内) ・イベントでの「ちりめん井」の販売 (10 回) ・「じゃこメルマガ」の配信開始 ・「安芸市おいしいものマップ」の作成 (安芸商工会議所女性会)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・奈半利なんでも市加工グループ ・いちじく加工品グループ ・高知県漁協加領郷支所女性部 ・JA土佐あき 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体(「釜あげちりめん丼」楽会など)の取組は地元での関係者などと連携した取組が弱い ⇒加工業者との意見交換や小学校への出前講座等で地元の足場を固める取組を進める ⇒「釜あげちりめん丼」、「安芸まるごと丼」提供店の広報 <p>[目標(H27)]</p> <p>売上高(農産加工品):750万円 売上高(水産加工品):200万円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>加工施設の整備</p> <p>[H25到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産加工施設整備(事業主体:JA)に向けた関係者との協議など(34回) ・加工施設整備のための先進地視察(2回) ・JA土佐あきが実施主体となる農産加工施設整備について、10月29日の産業振興推進総合支援事業費補助金審査会で採択 ⇒交付決定(12月) ⇒工事着手(1月10日) ・農産加工施設整備(事業主体:奈半利町)に向けた関係者との協議など(13回) ・加工グループメンバーの「農業創造セミナー(入門コース、応用・実践コース)への受講支援 ・水産加工施設整備に向けた関係者との協議など(21回)、先進地視察(1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町整備の水産加工施設の取組 ⇒エリアマネジメントの実施(11月～) ⇒ワークショップの実施
<p>■No. 15 田野町の地域資源を活用した新商品の開発と販路の拡大(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国部品(株)中芸事業所 ・民間企業 	<p>[目標(H27)]</p> <p>酒粕商品販売額:42,000千円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>酒粕商品販売額:29,160千円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>酒粕商品販売額:16,200千円 → 実績6,438千円</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の高知県物産展、イベント等への出展(10回) ・産業振興計画シンポジウム等での商品展示(4回) ・新商品の開発・販売(2品目) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域食材を活用した新商品の開発 ・売上増加に向けた販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 商品コンセプトの明確化と商品の特色に応じた売り方・販売展開 生産者組織など関係者との連携構築 ・地域資源を活用した取組を行う新たな事業者の参加 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 課題解決に向けた取組計画の作成、実施
<p>東部地域の直販所等の強化と販路拡大に向けた仕組みづくり</p> <p>■No. 17 キラメッセ室戸「楽市」の機能強化(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 <p>■No. 20 地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・(有)かっぱ市 ・生産者グループ 	<p>[目標(H27)]</p> <p>直販所「楽市」来場者：258,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>整備完了</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>整備基本構想の策定</p> <p>→ 実績：基本構想・基本計画まとめ完了</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月20日の産業振興推進総合支援事業費補助金審査会で保留 ・7月28日の産業振興推進総合支援事業費補助金審査会で採択 ・実施設計完了(12月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部博開催に合わせた施設整備の完成 <p>[目標(H27)]</p> <p>売上額：106,000千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>売上額：125,000千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>売上額：119,000千円 → 実績 124,569千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村地域AP等協議(3回) ・製糖体験メニュー実施についての協議(6回)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 18 海の駅を拠点とした地域振興（東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋町 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画会の開催（1回） ・ イートインコーナー設置（8月） ・ 新商品販売（2商品） ・ チーム会の開催（1回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花卉類等の出展量の確保 ・ 新商品の開発及び新商品の原材料（サトウキビ等）確保 ⇒ 商品集荷システムの構築 テイクアウト商品の充実 加工場・飲食施設等の充実 <p>[目標（H27）]</p> <p>来場者数：180,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>来場者数：170,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>新施設早期完成 → 実績：平成26年1月12日オープン</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フェイスブックによる情報発信 ・ 地域特産品を活用した飲食メニューの提供 ・ 海の駅運営協議会開催（7/17） ・ 店舗前でマルシェ開催（6日間） ・ 1周年記念イベント開催（1/11） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工品（加工施設）の検討 ⇒ 加工品開発に向けた来場者の動向とニーズの把握
<p>広域的に連携した観光の推進</p> <p>■No. 21 安芸地域の観光振興の推進～東部地域博覧会の開催～（安芸地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安芸広域市町村圏事務組合 ・ 市町村 ・ 観光協会等 ・ 地域団体 ・ 民間事業者 ・ 高知県東部地域博覧会推進協議会 	<p>[目標（H27）]</p> <p>圏内主要施設訪問者数：2,556,000人</p> <p>圏内宿泊者数：150,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>圏内宿泊者数：150,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>圏内主要施設訪問者数：125,000人 → 実績 115,840人</p> <p>圏内宿泊者数：140,000人 → 実績 141,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東部博イベント審査会 3回 ・ 東部博企画運営部会 7回 ・ 東部博コアメンバー会 5回

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 27 中芸地区における広域観光の推進(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中芸広域連合 ・中芸観光協議会 ・中芸商工会 ・観光関連事業者等 	<ul style="list-style-type: none"> ・東部博幹事会 2回 ・東部博総会 2回 ・東部博広報誘客部会 8回 ・東部博受入おもてなし部会 2回 ・高知県広域観光推進事業費補助金の交付決定 ⇒観光施設及び案内看板の整備 ・広域観光アドバイザーによる研修 13回 ・東部博リーフレット等広報物の作成 ・イベントの開催 ⇒ 高知東海岸グルメまつり&西日本ご当地じゃこサミット (H26.10.11) 光のフェスタ in モネの庭 (H26.12.5~12.25) ・幡多広域観光協議会(中長期計画策定会議)の視察 ・事業者向けの実地研修、情報共有会、接遇研修の実施 ・各種イベントや他県での東部博PR ・テレビ、雑誌取材などへの対応 ・企業との連携によるPR ・教育旅行の受入体制の整備(民泊の拡大、体験プログラムの磨き上げ) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画策定後の具体的な取組 ⇒ 東部博コアメンバー会などの各運営組織の設置 民泊の拡大や体験プログラムの磨き上げ 教育旅行の推進に向けた関係団体との協議 東部博をきっかけにした広域観光組織の立ち上げ 広報物を作成し、プロモーション及びセールス活動に着手 <p>[目標 (H27)]</p> <p>—</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域本部による事務局職員の業務支援(総括・支援員2名) ・中芸観光協議会運営会議の開催(3回) ・高知県東部博中芸推進委員会の開催(5回) ・中芸地域グルメ開発検討会の開催(3回) ・GW期間における臨時観光案内及び中芸観光キャンペーン

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部博イベント審査会(5/13、6/11)へコアイベント提案(2件) ・東部博中芸推進委員会の開催(11/12) ・東部博に向けた中芸の食の開発 試作・試食会(2回) ・東部博中芸地区のパビリオン運営、コアイベント実施の準備 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある旅行商品の造成 ・ガイド等の受入体制の整備 <p>⇒ 東部博(H26.12～、プレ東部博)に向けた協議会の運営体制を強化</p>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会 	<p>[目標(H27)]</p> <p>ジオパークガイド登録者数:40人 ジオパーク関係施設来訪者:70,000人</p> <p>[H26到達点]</p> <p>ジオパークガイド登録者数:60人 ジオパーク関係施設来訪者:70,000人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>ジオパークガイド登録者数:50人 → 実績61人 ジオパーク関係施設来訪者:70,000人 → 実績79,657人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県産業振興推進ふるさと雇用事業活用 24,880千円 ・高知県観光拠点等整備事業費補助金活用 拠点施設外構工事実施設計・監理業務委託事業 4,692千円(事業費7,039千円) 拠点施設外構工事事業 30,565千円(事業費92,625千円) 拠点施設展示整備事業 124,496千円(事業費206,982千円) 行当黒耳海岸サイト整備事業実施設計 1,215千円(事業費2,430千円) ・日本ジオパーク再審査(12/2～12/3)⇒再認定(12/22) ・室戸世界ジオパークセンター完成(4/29オープン)

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 イルカのふれあい体験による交流人口の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸市 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 拠点施設を発着地としたジオツアーの検討 ⇒ ジオツアーに対応できるガイド、スタッフの確保 ・拠点施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 拠点施設内の店舗内容についての検討 ・ジオパーク認定 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 世界ジオパーク再認定審査に対する準備 <p>[目標(H27)]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数: 27,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数: 27,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数: 27,000人 → 実績 31,626人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海の駅とろむ クーポン iRUCA」を2,500部作成し、GW期間中の来訪者に集中的に配布しながら、アンケート調査を行い、今後の営業活動に生かすための情報収集を行った。 ・城西館限定プラン「キンメ井とドルフィン体験プログラム付き宿泊パックプラン」の販売開始(7/12~) ・産振アドバイザーの導入 ・緊急雇用基金事業の導入 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク等地域の観光素材を組み合わせた情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ より多くの集客を図るための広報・営業の検討 周辺施設等との連携による集客
<p>■No. 24 岩崎弥太郎生家を核とした観光振興(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 ・安芸市観光協会 ・「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会 ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・民間事業者 	<p>[目標(H27)]</p> <p>—</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「商い甲子園」実行委員会(7回) <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 台風11号の影響により中止 ・安芸市ボランティアガイドの会総会(1回)

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 26 藤村製糸を活用した観光振興(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤村製糸 ・ なはり浦の会 ・ 奈半利町 ・ なはり観光文化協会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「はばたけ弥太郎」推進委員会総会(1回) ・ 高知県観光拠点等整備事業費補助金の申請準備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 補助金交付決定(11/25) ⇒ 設計打ち合わせ(2回) ・ 廊中ふるさと館支援チーム会(7回) ・ 安芸市観光ボランティアガイド養成講座(全7回)の開催 ・ 安芸市観光ボランティアガイド実践・実習講座の開催(3回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東部博の拠点施設(パビリオン)の整備に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 廊中ふるさと館のリニューアル、観光情報センターのインフォメーション機能の強化、岩崎弥太郎生家周辺の整備 <p>[目標(H27)]</p> <p>町並みガイド実績: 800人/年</p> <p>[H26到達点]</p> <p>記念館の整備</p> <p>[H25到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記念館建設に関して藤村製糸株式会社との協議: 13回 ・ 「なはり浦の会」の活動拠点の確認及び活動支援: 12回 ・ 観光拠点等整備事業補助金の調整: 2回 ・ 展示内容について学芸専門員等への相談等: 5回 ・ 藤村製糸記念館の整備完了(1/31) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備後の効果的な運営(活用)策 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 魅力ある展示内容の検討 地元ガイド組織の「なはり浦の会」との連携
<p>■No. 30 世界に2つの「モネの庭」の誘客強化による交流人口の拡大(北川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北川村 ・ (株)きたがわジャルダン 	<p>[目標(H27)]</p> <p>入園者数: 65,000人</p> <p>[H26到達点]</p> <p>入園者数: 60,000人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>入園者数: 60,000人 → 56,281人(H25.2~H26.1)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シェフ配置 ・ 講師との直接契約による接客マナー研修の実施

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 32 安田中山地区の活性化プロジェクト (安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部 	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ改善協議 ・月替わりランチメニューの提供 ・イベントの開催：27回 ・東部博中芸地区のパビリオンとなる ・東部博中芸食フェアに向けた新メニュー開発への取組 ・「接客マナー向上事業」の実施 ・花の庭リニューアル(花壇の増加) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者の増、経営収支改善の取組 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 観光協会や宿泊施設などの関係機関との連携強化 飲食部門(カフェメニュー、セルフ形式)の検討 <p>[目標(H27)]</p> <p>—</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田ふるさと応援隊の増員(2名、4/1・12/1) ・高知くらしフェア出展 (平成27年度安田町ふるさと応援隊募集)(12/6、12/14) ・中山を元気にする会開催(12回)、交流会開催(1回)、大新年会開催(1/16) ・集落活動センター整備工事開始 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 集落活動センター完成(12/1)、落成式(12/14) ・シェアオフィス仮入居(東京映画社、3/12移転) ・東京映画社連携事業(子供による映像制作)開始(8/4) ・自然薯試験栽培開始(5月) <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 自然薯試験栽培収穫作業(12/7) ・なかやま山芋まつり(12/14) ・地域づくり(小さなビジネス)補助金実施計画書の提出 ・高知大学UBC赤池特任講師と連携開始 ・高知大・安田町連携協定事業の整理(8/1) ・高知大学SUIJI安田町中山サイト設置(8/23~9/3) ・温泉湧出調査(電磁探査)完了 ・地域防災に関する地元協議(間下地区、7回) <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 防災マップ完成(間下地区) ・町有バスを活用した買い物支援事業試行(毎月第3木曜)

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 34 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト(馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬路村 ・魚梁瀬地区住民団体(自治会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化(獅子舞)の保存・継承に関する協議 (小川地区、5/27) ・地域文化(獅子舞)体験事業(2回) ・認知症対策に関する啓発活動(4回) ・「なかやま守り隊」の結成(7/17) ・高知県中小企業団体中央会による個別アドバイス(2/2) ・日高村住民団体視察受け入れ(2/16) ・高知大学地域協働ネットワーク会議(2/27) ・地域住民による先進地視察(本山町汗見川)(3/2) ・シェアオフィスなかやま落成に伴うお披露目・交流会(3/25 予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官が連携した拠点づくりを目指し、国の「まち・ひと・しごと創生本部」の動向を注視していく <p>[目標(H27)]</p> <p>—</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による協議会等(5回) ・ふるさと応援隊募集要項、設置要綱等整備、役場内協議 ・ふるさと応援隊 <ul style="list-style-type: none"> 第一次選考(書類選考)(7/31) 第二次選考(面接)(9/6) 2名採用(委嘱式10/1) ・「高知暮らしフェア」においてふるさと応援隊募集説明 (2回) ・丸山公園現状調査(樹木医による桜診断)(4/15) ・野生鳥獣に強い集落づくり事業 <ul style="list-style-type: none"> チーム会(3回) 集落全体会(2回) ・魚梁瀬地区総会(1/13) ・魚梁瀬地区役員会(4回) ・馬路村産業振興座談会(10/15) ・馬路村都市農村交流会議(2回) ・龍馬バスポートへの魚梁瀬丸山公園森林鉄道の参画 ・魚梁瀬バスポートの応援隊による発案・実施

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部地区ふるさと応援隊ネットワーク会議・魚梁瀬観光研修の受け入れ(1/20) ・ 魚梁瀬ひな祭りイベントの応援隊発案・実施(3/3~4月上旬まで) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部からの人材(ふるさと応援隊)活用 ⇒ 地域住民による検討と移住相談会(説明会)への参加 ・ 応援隊導入後の地元住民との協議体制の確立

2 平成26年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No.17 キラメッセ室戸「楽市」の機能強化(室戸市)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加工販売所の建設 ・ 駐車場の拡張 ・ 合併浄化槽の交換・移設 ・ 公衆トイレの改修 	93,505 (47,064)
■No.2 ユズを中心とした中山間振興(馬路村)	・ アルミ缶対応ドリンク充填ラインの導入	214,920 (33,166)
■No.14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進(奈半利町)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 味噌加工施設の増床 ・ 製造機器等の導入 	9,090 (4,135)

3 県民参画に向けた取組

- ・ 中部地区集落活動協議会(北川村)の場で「第2期産業振興計画 ver.3」の概要について説明(4月17日)
- ・ 5月23日開催のシンポジウムへの参加要請を個別に管内企業に行った際「第2期産業振興計画 ver.3」の概要について説明

4 相談案件：10件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/8	農業	「黒糖」の製造・販売について
2	5/19	農業	「ミョウガ」を使った加工品の製造・販売について
	6/4		
	6/26		
	7/1		
7/3			
3	5/20	水産加工業	「スジアオノリ」などの養殖について 体験観光の施設の整備について 加工施設の稼働率向上対策について

NO.	相談日	事業種別	相談内容
4	5/29	農業	「イタドリ」を使った加工品の製造について
5	6/6	飲食店	「ゆず」を使った加工品の製造・販売について
6	6/6	園芸	「果物」を使った加工品の製造・販売について
7	6/18	法人	「イタドリ」を使った加工品の製造・販売について
8	7/3	法人	「シバ漬け」の殺菌処理などについて
9	7/15	農業	「ゆず」加工品の販売促進資材（食品表示入りのラベルデザイン、説明パネルなど）の制作について
10	1/21	法人	「魚」を使った加工品の製造・販売について

物部川地域アクションプランの進捗状況等

H27.3.19

物部川地域本部

1 地域アクションプランの平成26年度（第4四半期）の進捗状況等（総括）

(1) 総評

全25項目について、実行支援チームを編成し、支援及び進捗管理を行っている。

必要な情報の共有や事業進捗に向けた協議など、支援チーム員と関係者が連携して取り組んでおり、全項目において概ね計画どおり進捗している。

園芸主幹品目のうち、シシトウ、エメラルドメロン、ニラにおいては、収量増や品質向上に向けて、炭酸ガス施用効果の検証を行うなど環境制御技術の取り組みが順調に進んでいる。

青果出荷日本一のユズにおいては、担い手の高齢化が深刻であるが、JA土佐香美青壮年部の活動に4人の生産者が新たに加入し、若手の参加拡大を進めている。

また、防除作業の効率化を図るために必要なスピードスプレーヤーが、補助事業を活用して導入された。

地産地消・食育の推進においては、4月に移転開業したJA長岡の直販所「なの市」及び飲食店「なのカフェ」が、地元の豊富な農畜産物とそれらを活かしたメニューを提供しており、売上額及び来客数とも順調に推移している。農家レストラン「まほろば畑」は、平成22年秋の開業からの累計来店者数3万人を達成した。

6次産業化の推進においては、平成25年度に加工施設の整備を行った夜須の協同組合やすらぎ市が、トレフルッタ（エメラルドメロン・ルナピエナスイカ・トマト）を使った主力商品に加え、新たに開発した赤生姜のシロップやチップスの販売を始めた。

企業組合ごめんシャモ研究会は、鍋シーズン終盤の売上獲得を目指した販促活動を行うとともに、27年度の生産計画等について高知農業高校と協議している。

観光の取り組みにおいては、南国市観光協会が、県内各地に伝わる長宗我部元親ゆかりの地を巡るラリーゲームやフォトロゲイニングの開催等体験観光の推進に取り組んでいる。

香南市では、「長谷寺の座禅ツアー」に女性を中心にのべ100人近い参加があり、静かな人気となっている。10月に開催した「塩の道トレイルランニングレース」は3回目の開催となりリピーターも多く、167名が健脚を競った。また、新しい体験観光の試みとして、夜須で「サンライズ・サンセット・シーカヤックモニターツアー」を実施し、本格実施に向けた検討を始めている。

香美市では、高知工科大学により龍河洞案内用多言語対応アプリが開発され、インバウンドの受け入れに向けた取り組みを行ったほか、4月29日を「シカニクの日」とした集客イベントの開催に向けた準備を進めている。

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.4 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市・香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA土佐香美 	<p>エメラルドメロン販売額：4.8億円 → 実績4.5億円 ※販売額はJAへの入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋、大阪、東京、宮城から市場や仲卸、販売店が来高して現地栽培状況の確認や商談を行った。 ・徳島、兵庫、愛知、東京及び県内で試食宣伝を行った。 ・炭酸ガス発生装置導入農家から炭酸ガス施用実態の聞き取り調査を行った。 ・栽培管理方法(品種・温度・灌水・換気管理など)について現地検討会を開催した(4/7、6/11、7/4、10/9、11/5、12/3、1/21、2/6、3/12)。 ・抑制裁培での天敵利用について、試験導入後の実証結果やアンケート調査結果の報告及び天敵活用のための勉強会を開催(6/27)するとともに、防除マニュアルを作成し全戸配布を行った(8~10月)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収量品質の向上 ⇒炭酸ガス施用について施用効果の検証と改善策の検討を行う。 ・難病虫害防除対策 ⇒抑制作型の防除マニュアルを全作型対応とし、他の作型でも必要があれば防除マニュアルの見直しを行う。 <p>[目標(H27)]</p> <p>ニラ販売額：30.0億円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>ニラ販売額：29.0億円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>ニラ販売額：29.0億円 → 実績23.6億円 ※販売額はJAへの入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウスの品種比較や露地の品種に合わせた栽植方法、遮光資材効果の実証ほを設置した(7ヵ所)。 ・ハウス栽培における緩効性肥料の実証ほを設置した(1ヵ所)。 ・露地で軟腐病対策実証ほを設置し、定期的に薬剤散布を行い、防除効果を調査した。 ・電照効果の検証と炭酸ガス施用効果の実証を行っている。 ・異物混入対策の目慣らし会を開催し、安全・安心チェック

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>シートによる点検を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作型改善案をもとに面談し、今後の栽培計画を改善した。 ・野市地区の新規就農者の支援チーム員として支援することを3戸の農家から了解を得た。 ・生産者やJAから提供を受けた経営状況や販売に関するデータの分析を行い講習会で報告した。 ・調整作業の機械化について、メーカーの視察調査や実演会の開催、処理能力の調査を行った結果、2戸が導入した。 ・平成25年12月の突風被害に遭ったハウスで、25年度災害レンタル繰越着工により、3戸32aのハウスが6月末までに完成した。 ・ニラのプロモーションについて、産地地消・外商課、産地・流通支援課と打ち合わせを行い、個包装に「高知家」のロゴを入れて出荷した(10/18～)。 ・規模の拡大や縮小等についての生産意向調査を新規栽培農家を除く全戸(224戸)対象に実施した(回答223戸)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷量の増加及び周年安定生産 ⇒産地の維持を図るため、病虫害対策及び有望品種の実証、月ごとの栽培指針の作成及び配布等を行うとともに調整作業の機械化を検討していく。 ・新規就農者等の育成・確保 ⇒部会でのバックアップ体制の検討を行い、必要な対策を講じていく。 ・部会員の経営改善の仕組み作り ⇒規模別の課題を抽出し、経営改善の指導に取り組む。 ・新たな産地ビジョンの検討 ⇒部会の新たな産地目標や生産意向調査をもとに案を作成する。
<p>ユズの総合的な産地強化</p> <p>■No.5 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市 ・JA土佐香美 	<p>[目標(H27)]</p> <p>ユズ販売額:5億円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>ユズ販売額:4.5億円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>ユズ販売額:4.5億円 → 実績4.3億円</p> <p>※販売額はJAへの入金額</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ産地協議会、委員会、座談会、若手生産者との意見交換会を開催し、出荷量維持のための方策を検討した。 ・座談会で「ユズ産地構造改革計画」を周知した。 ・ユズ生産部会三役が、「ユズ産地構造改革計画」を基に産地の将来像を検討し、委員会で提案を行った。 ・担い手として10名をリストアップし、意向を調査した。 ・地区委員が中心となり、「ゆずもり」として防除作業を受託した(5/16)。 ・新規就農者などを対象とした勉強会を開催(7/18)し、殺菌剤の使用方法などについて認識を深めた。 ・先進地視察を行い、大規模園地でのスピードスプレーヤーを利用した防除作業等の取り組みを研修した(7/14)。 ・JA土佐香美青壮年部が、若手生産者の積極的な部会活動などへの参加を促す取り組みを行った結果、新たに4名の若手生産者が加入した。 ・黄玉出荷検討会で腐敗果の発生防止、休眠期から萌芽直前の防除体系について指導した(10/22)。 ・「こうち農業確立総合支援事業」を活用し、平成26年度にスピードスプレーヤー1台を導入することを決定した(11/14)。 ・ものべゆず女性倶楽部が大宮小学校での食育授業や、雑誌「レタスクラブ」からの取材などにより消費宣伝を行った。 ・ユズ産地協議会で、小規模選果施設の有効性を確認し、事業化に向けて検討することを決定した(1/13)。 ・楮佐古集落営農組合で、ユズ園整備について合意形成を進めることになった(1/27)。 ・「こうち農業確立総合支援事業」でスピードスプレーヤーが1台導入された(2/10)。 ・ユズ産地協議会で、高齢化や大規模経営に対応した剪定方法が確認された(2/16)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大、作業受委託に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ⇒園地の基盤整備のためにせま地直しを実施し、防除作業の省力化のためにスピードスプレーヤー等の機械化の推進を図る。 園地整備のモデル地区として認定するために、楮佐古集落営農組合の合意形成をはかる。 ・担い手の育成 <ul style="list-style-type: none"> ⇒生産安定のための技術指導や定期的な学習会の開催を

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>行うとともに、担い手が部会活動などに積極的に参加できるように支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選果作業の効率化 ⇒高齢化に対応した選果方法の一環として、小規模選果施設の事業化を検討する。
<p>地産地消・食育の推進</p> <p>■No.6 直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 長岡 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>直販所等の売上額：100,000 千円 直販所等の雇用者数：8 人 ながおか温泉入場者数：19 万人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>直販所等の売上額：100,000 千円 直販所等の雇用者数：12 人 ながおか温泉入場者数：16 万人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>直販所等の売上額：33,000 千円 → 実績 31,300 千円 直販所等の雇用者数：3 人 → 実績 14 人 ながおか温泉入場者数：16 万人 → 実績 15.3 万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所「なの市」と飲食店「なのカフェ」がオープンした(4/2)。 ・運営会議を随時開催し、業務改善に努めている。 ・ながおか温泉、なの工房、西島園芸団地、南国市観光協会が連携し「あけぼの街道周辺魅力向上事業」として「ひまわりフェスタ」を開催した(11/22～12/7)。 ・「なのカフェ」の売上増加を図るためにランチメニューの充実を行った(11/25～)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な供給体制の構築 ⇒安定的な品揃えと品質維持のため生産者と直販所の連携強化に努める。 ・経営安定化に向けた取り組み。 ⇒役員会等において、売上げ向上に向けた取り組みとスタッフ配置の適正化を行っていく。

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 7 地域農産物を活用した直販所「ひかり市」の施設拡充(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA十市</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>直販所の営業日数：週6日 直販所への出店者数：100人 直販所売上額：50,000千円 直販所スタッフ雇用(新規)：3名</p> <p>[H26到達点]</p> <p>直販所の営業日数：週6日 直販所への出店者数：100人 直販所売上額：34,500千円 直販所スタッフ雇用(新規)：9名</p> <p>[H25到達点]</p> <p>直販所の営業日数：週6日 → 実績 週6日 直販所への出店者数：90人 → 実績 93人 直販所売上額：34,500千円 → 実績 22,900千円 直販所スタッフ雇用(新規)：5名 → 実績 9名</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者会議を実施した(4/23)。 ・定休日であった水曜日の営業を開始し、年始を除き基本的に週7日の営業とした(6/4～)。 ・新商品(米粉と小麦のブレンドパン(7/1～)、らっきょう漬(7/17～)、生姜シロップ(7/20～))の販売を開始した。 ・ハウス生姜及びぶどうの加工品の販売促進に向け、南国市中小企業振興事業費補助金を導入し、新たなラベルデザインを完成させた(2/24)。 ・ごとおち市の経過報告会を開催し、関係者で経営状況や課題への対応方針について協議した(10/23、3/3)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な供給体制の整備 ⇒出荷会員を確保し、直販部門の充実を図る。 ・加工品の開発及び販売 ⇒品揃えの充実と売上げ増加のため加工品の開発及び販売を行う。 ・運営状況の進捗管理 ⇒定期的に報告会を開催し、運営状況の進捗管理を行う。

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 9 地産地消・食育の推進 (南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・ J A 南国市、J A 長岡、J A 十市 ・ 南国市地産地消推進協議会 ・ 農家レストランまほろば畑 ・ 南国市 ・ (株) ナイフアンドフォークカンパニー 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：15% 業務筋への供給：15 事業体</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：16% 業務筋への供給：18 事業体</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：13% → 実績 16.3% 業務筋への供給：18 事業体 → 実績 17 事業体</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まほろば畑の各グループにヒアリングを実施し、現状における課題の聞き取りを行った(5/15～5/27)。 ・まほろば畑の総会を開催した(7/8)。 ・学校給食の配送業務について三者協議(株)南国スタイル、南国市農林水産課、南国市教育委員会学校教育課)を行った(7/28、10/6)。 ・まほろば畑の食事時間を50分から60分に変更しサービスの向上を図った(7/29～9/2 試行、9/9～本格実施)。 ・まほろば畑の累計入店者数が3万人を達成した(10/21)。 ・第8回産業振興推進総合支援事業費補助金審査会において「地域の食材をフル活用した農園レストラン&ベーカリー」事業が採択された(1/7)。 ・学校給食週間において、地産地消率100%の取り組みを行った(1/26～1/30)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配送効率の向上 ⇒配送体制や配送ルート、受注方法の検討等を行い、配送効率の向上に努める。 ・まほろば畑の運営継続に向けた検討 ⇒農家レストランまほろば畑の運営継続に向けて、後継者の育成や労務軽減を図るため、課題の洗い出し及び改善策を検討していく。 ・農園レストラン&ベーカリーの整備に向けた進捗管理 ⇒事務手続きの迅速化や工期の進捗管理により、平成27年夏の完成及び開業を目指す。

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>豊富な地域資源を活用した6次産業化の推進</p> <p>■No. 8 加工品販売による夜須地域の活性化 (香南市)</p> <p>《事業主体》 協同組合やすらぎ市</p>	<p>[目標 (H27)] 加工品販売額：1億円</p> <p>[H26 到達点] 加工品販売額：9,600万円</p> <p>[H25 到達点] 加工品販売額：8,000万円 → 実績 9,634万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度産業振興推進総合支援事業費補助金を活用して整備した加工施設が3月に完成し、4月からメロンパンを初めとする加工品の販売を開始した。 ・主力商品の生産計画及び販売額等の方針を確認した(4/27、5/25)。 ・産業振興計画シンポジウムで実践発表を行った(5/23)。 ・加工業者と連携し、新商品(ジュレ3品)の開発及び販売を開始した(7/25)。 ・主力商品のトマトソース、トマトカレーパンの販売を開始した(9/1)。また、おばちゃん漬の原料確保、試作計画を検討した(8/18、9/19)。 ・上半期の販売実績を分析し、加工部会を開催して課題を共有した(11/13)。 ・加工品開発について、理事長、加工担当者(2名)で先進事例研修を実施した(11/28~29)。 ・産業振興計画地域アクションプラン事例集の取材を行った(2/5)。 ・パンの加工技術向上のため、講習会を開催した(3/10)。 ・次年度の生産販売計画を作成した(3/19)。 <p>[課題と今後の対応] 主力商品の安定生産及び販売 ⇒原料の適期確保と商品の品質安定化を図る。</p>
<p>■No. 10 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業組合ごめんシャモ研究会 ・南国市商工会 ・南国市 	<p>[目標 (H27)] ごめんケンカシャモ提供店舗数：18店舗 シャモ目標飼育羽数：3,000羽 ごめんケンカシャモを使った加工品数：3品</p> <p>[H26 到達点] ごめんケンカシャモ提供店舗数：20店舗 シャモ目標飼育羽数：3,000羽</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>ごめんケンカシャモを使った加工品数：1品（H24年度からの累計3品）</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数：18店舗 → 実績 20 店舗 シャモ目標飼育羽数：1,500羽 → 実績 1,700羽 ごめんケンカシャモを使った加工品数：1品 → 実績 1品</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度産業振興推進総合支援事業費補助金を活用して高知農業高校に整備した貯卵及び解卵施設の運用を開始した(貯卵:4/8～、孵化：5/21)。 ・土佐の食1グランプリ(4/5～6)にシャモラーメンで出展し、2位を獲得するなど各種イベントに参加した。 ・食の旅行商品化を目指した取り組みに参加し、関係者との協議を開始した(7/11～)。 ・台風 11 号により、直営鶏舎と委託鶏舎のビニールハウス式鶏舎の屋根の約半分が損壊し、施設と初生ヒナに被害を生じたため、施設の復旧に取り組むとともに、生産計画を見直した。 ・「高知×鳥取まんが王国会議 2014in Akiba」に出展した(10/12～13)。 ・企画営業担当 1 名を配置し、販売促進体制の強化を図った(10/15)。 ・学校給食週間の取り組みとして、市内の 6 小学校で地産地消出前授業を実施した(1/29)。 ・高知農業高校が試験飼育の成果発表会を行った(2/18)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓、販売促進及び管理部門の強化 ⇒フェアやイベント、商談会等の機会を活用して知名度の向上を図るとともに、販路開拓及び販売促進に取り組む。併せて、日々の経理を適切に行い、資金管理等の管理部門の強化を図る。 ・生産計画の見直し及び生産体制の再構築 ⇒直営鶏舎及び委託鶏舎における生産計画の見直しを行い、生産体制の再構築を図る。

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 シイラ等の加工商材活用 (香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協手結支所 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700万円</p> <p>衛生管理の認証：県版HACCPの取得</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700万円</p> <p>衛生管理の認証：高度衛生管理認証の取得</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700万円 → 実績 1,300万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存取引先と定期的な情報交換を行っている(1~2回/週)。 ・昨年度実績や今年度の計画及び課題について、関係者と協議を行った(5/14)。 ・加工場担当者と現状等について協議及び意見交換を行った(8/1)。 ・福岡県及び山口県の卸売市場、漁協、道の駅を視察した(11/26~28)。 ・高知県食品高度衛生管理手法認定の申請を行い(1/26)、2月20日付けで認定を受けた。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>衛生管理の維持向上</p> <p>⇒加工体制の見直し及び自主衛生管理マニュアルの徹底を図る。</p>
<p>■No. 14 地域の特産品づくり～農産物加工への取組～ (南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんこく空の駅推進協議会、西島園芸団地など既存企業、組織、グループ ・新しい組織、グループ ・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・南国市商工会 ・南国市観光協会 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数(新規)：10組織・団体</p> <p>開発商品売上額：1,000万円(40品目)</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数(新規)：8組織・団体</p> <p>開発商品売上額：3,000万円(24品目)</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数(新規)：8組織・団体 → 実績 5組織・団体</p> <p>開発商品売上額：1,900万円(24品目)</p> <p>→ 実績 2,900万円(21品目)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特産品等研究開発事業(南国市)の募集を開始した(5/1~)。

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 香美市ブランドの確立・特産品づくり (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 香美市観光協会 ・ 食品加工グループ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ びわ葉茶ティーパックの商品化に向けて、試飲アンケートを行った(6/16～19)。 ・ 地域特産品等研究開発事業審査会を開催し、ヤギミルクの販路拡大やしょうが加工品、柿ドレッシングのパッケージデザイン改良等の事業計画が採択された(7/22、10/10)。 ・ 集落活動センター「チーム稲生」でのびわ葉茶ティーパックの販売開始に向けて、作業工程のマニュアル化等関係者で協議を開始した(8/1～)。 ・ チーム稲生が「ももアイス」をOEMにより製造し、販売を開始した(9/15)。 ・ びわ葉茶ティーパックのテストマーケティングを直販所で行っている(1月～3月)。 ・ 地域雇用創出推進協議会が開発商品公開セミナーを開催した(1/30)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>特産品づくりのプレーヤーの発掘・育成</p> <p>⇒地域特産品等研究開発事業(南国市)及び実践型地域雇用創出推進事業(厚生労働省)等を活用してプレーヤーの発掘及び育成に取り組む。</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>開発商品売上額：6,300千円(20品目)</p> <p>[H26到達点]</p> <p>開発商品売上額：7,000千円(16品目)</p> <p>[H25到達点]</p> <p>開発商品売上額：5,700千円(16品目)</p> <p>→ 実績 6,500千円(13品目)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (一社)香美市観光協会が、べふ峡温泉スプリングフェスティバルを開催し、鹿肉メニューや特産品の販売を行った(4/29)。また、香美市内外で開催されるイベントに参加し、シカ商品やユズ加工品などを販売し、特産品のPRを行った(30回)。 ・ 農業創造セミナーにコハマ農産物直販所と物部町婦人会(ポンド・エ・トッティ)が参加した(7/17～)。 ・ 「えびす昭和横丁」のイベントで地場産品の出店を行った(9/20,21)。 ・ 食品等加工グループ3団体が高知市の「はりま家」と取引を開始した(12/20～)。

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>・「南国土佐観光開き」において、鹿肉からあげの提供を行うとともに観光PRを実施した(2/1)。</p> <p>[課題と今後の対応] 商品の販売促進及び販路開拓 ⇒イベント等に参加し、特産品の販売及びPRを行っていく。</p>
<p>地域に育つ県産材の有効活用</p> <p>■No. 11 民有林における素材の増産(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各森林組合 ・林業事業体等 	<p>[目標(H27)]</p> <p>「森の工場」整備済面積：19,000ha 素材生産量(民有林のみ)：47,500 m³</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>「森の工場」整備済面積：18,500ha 素材生産量(民有林のみ)：37,600 m³</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>「森の工場」整備済面積：18,127ha → 実績 18,143 ha 素材生産量(民有林のみ)：30,600 m³ → 実績 42,000 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の素材増産のための森林整備事業について森林組合及び林業事業体への説明会を行った(4回)。 ・森林経営計画策定に向け、香南市及び香美市の3地区において、地元説明会を行った(4/26、7/12、7/29)。 ・林業事業体の森の工場1団地が新規に認定された(48ha増5/19)。 ・南国市及び香南市の広報誌並びに林業事務所のホームページを使用し間伐推進のPRを実施した(8/1、9/1)。 ・香美森林組合、物部森林組合及び林業事業体が森の工場の拡大(1,064ha)を行った(9/30、12/1、3/10予定)。 ・素材生産のための森林作業道を9路線10,655m開設した。 ・1月までの素材生産量は30,969 m³となった。 <p>[課題と今後の対応] 森林経営計画の策定 ⇒労働力の確保や機械装備などの課題に留意して、森林経営計画を策定していく。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 木質バイオマスの活用に向けての取組(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市 ・香南市 ・香美市 ・JA南国市 ・JA長岡 ・JA十市 ・JA土佐香美 	<p>[目標(H27)]</p> <p>ペレット利用量: 1,230 t 排出量取引: 1,500 t-co2</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ペレット利用量: 630 t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ペレット利用量: 517 t → 実績 575 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマスボイラー導入に向けて、森林・林業再生基盤づくり交付金を活用した木質資源利用促進事業への対応についての打合せを行った(4/17)。 ・4JA共同灰処理に向けた打合せ(4/24)、交付決定(7/18)、書類検査(9/19)、支払(10/2)を行った。 ・木質バイオマスボイラー導入審査会を開催した(5/23、8/20)。 ・木質バイオマスエネルギー利用促進協議会(6/4、2/12)、木質バイオマスエネルギーの地域利用促進のための勉強会(10/15)を開催した。 ・木質バイオマス燃焼灰の自ら利用の手引きを公表した(7/31)。 ・ボイラー導入の木質資源利用促進事業の交付決定、書類検査(3/末を予定)、支払(3/末を予定)を行った(JA長岡分、8/6、12/19 追加: JA十市分、12/11)。 ・ボイラー導入の木質資源利用促進事業の要望調査を行った(10/17)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>バイオマスボイラーの利用促進 ⇒バイオマスボイラー導入の進捗状況の確認、稼働に向けての協議及び県内の燃料供給基地についての情報収集を図る。</p>
<p>歴史と伝統ある地場産業の振興</p> <p>■No. 19 地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県土佐刃物連合協同組合 ・香美市商工会 ・フラフ製造業者 	<p>[目標(H27)]</p> <p>刃物製造業者数: 現状維持</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>刃物製造業者数: 現状維持</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>刃物製造業者数: 現状維持 → 実績 1者減少(35事業者)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・香美市観光協会</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型外国客船の高知新港への寄港に合わせて、物販ブースにてくじらナイフの展示販売を行った(4/20)。 ・積丹ソーラン味覚まつりで土佐打刃物の展示販売を行った(6/29)。 ・「えびす昭和横丁」で土佐打刃物とフラフのPRを行なった(9/20, 21)。 ・「伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業」の事業者向け説明会を開催した(9/26)。 ・「刃物まつり」を開催した(10/18, 19)。 ・香美市内の小学生を対象とした染物体験教室を開催した(10/4, 11/26)。 ・「伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業」実施に向けて、市の要綱を制定した。(3/4 公示) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>土佐打刃物後継者育成 ⇒関係者で「伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業」を活用して後継者育成を図っていく。</p>
<p>体験型観光商品の充実及び広域観光の取組の推進</p> <p>■No. 20 観光事業から観光産業へ～観光産業の振興～(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市観光協会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>観光協会の会員数：150 一般社団法人数(観光協会の法人化)：1組織 主要4観光施設※の入り込み数：500,000人 [H26 到達点]</p> <p>観光協会の会員数：85 一般社団法人数(観光協会の法人化)：1組織 主要4観光施設※の入り込み数：524,000人 [H25 到達点]</p> <p>観光協会の会員数：85人 → 実績75人 一般社団法人数(観光協会の法人化)：1組織 → 実績1組織 主要4観光施設※の入り込み数：517,000人 → 実績524,000人</p> <p>※県立歴史民俗資料館、西島園芸団地、パシフィックゴルフ(以上、来場者)、道の駅南国風良里(ショップ、直販所のレジ通過人数)</p> <p>[取組状況]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市観光協会 ・地域の体験メニュー等提供団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリを開催した(4/5, 6)。 ・第2回ごめん祭を開催した(5/11)。 ・長宗我部フェスを開催した(5/17)。 ・第2回スイーツグランプリを実施した(2/22~6/5 投票, 7/4 結果発表)。 ・西島園芸団地にドライミスト設備を設置し、「いちごカフェ」をオープンした(7/20)。 ・長宗我部元親ラリーを開催した(10/11~1/12)。 ・第5回南国フォトロゲイニングを開催した(2/8)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光の推進 ⇒コンテンツの創出、磨き上げ、育成、ネットワーク化に取り組んでいく。 ・観光協会会員の拡大 ⇒観光協会が主催するイベント等を通じて、会員の拡大を図る。 <p>[目標(H27)]</p> <p>年間プロモーション活動：年6回以上(年のべ50社以上) 主催旅行の開催：10コース・募集200人以上</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>年間プロモーション活動：年6回以上(年のべ50社以上) 主催旅行の開催：10コース・募集200人以上</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>年間プロモーション活動：年6回以上(年のべ50社以上) → 実績 年2回(年のべ31社) 主催旅行の開催：10コース・募集200人以上 → 実績 10コース・募集530人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごめん・なはり線酒蔵見学ツアーの下見及び打合せを行った(5/5)。 ・長谷寺座禅ツアーを開催。9月までに4回開催予定であったが、好評のため2回追加開催した(6/29, 7/26, 9/21 実施64名参加。8/19 荒天のため中止。10/28, 11/9 追加実施35名参加。計99名参加)。 ・「歌舞伎でまちおこし実行委員会」を開催した(6/3, 9/8, 2/9)。 ・第3回土佐塩の道トレイルランニングレースを開催し

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22「森の駅」を中心とした体験型観光の推進(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市 ・香美市観光協会 ・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体 	<p>(10/5)、167名の参加があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンライズ・サンセットシーカヤックのモニターツアーを9回開催し、90名の参加があった。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>旅行企画の多様化と催行</p> <p>⇒地域素材を活用して多様化を図るとともに、告知方法の改善を図る。</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>体験プログラム数：20プログラム 体験プログラム受け入れ人数：500人</p> <p>[H26到達点]</p> <p>体験プログラム数：18プログラム 体験プログラム受け入れ人数：2,800人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>体験プログラム数：16プログラム → 実績17プログラム 体験プログラム受け入れ人数：400人 → 実績2,700人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歌で巡る史跡うおーく」を開催した(4/20)。 ・べふ峡温泉スプリング・フェスティバルを開催し、いざなぎ流舞神楽の鑑賞、御幣切り体験、竹食器作り体験を行った(4/29)。 ・川上様夏祭りを開催した(7/27)。 ・奥物部湖水祭りを開催した(8/14)。 ・しかからまぎ〜るピアホールイベントを開催した(8/22)。 ・龍河洞祭りとそれに合わせた子ども向けイベントを企画し実施した(8/23)。 ・県観光アドバイザーを招へいし、体験型観光の研修及び講演会を実施した(8/29)。 ・県広域観光アドバイザーによる視察を行った(10/6~7、対象：ほっと平山、べふ峡温泉)。 ・香美市土佐山田町の商店街でイベント「香美バル」を開催した(10/31~11/1)。 ・龍河洞クリスマスキャンドルナイトを開催した(12/23)。 ・高知工科大の協力を得て、龍河洞案内用多言語化アプリを開発した。(3月末運用開始) ・「第7回土佐塩の道30kmうおーきんぐ」を開催(3/28(予定))

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 広域観光の取組の推進(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会</p>	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>体験メニューの充実</p> <p>⇒地域と香美市観光協会が連携し、新たな体験プログラムの造成や参加者の受け入れ体制の整備を図る。</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>観光客入り込み数：80 万人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>観光客入り込み数：65 万人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>観光客入り込み数：65 万人 → 実績 63.2 万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知中央広域観光協議会総会を開催し、平成 26 年度事業計画及び予算を決定した(5/15)。 ・実務担当者会を開催した(4/15、6/4、7/9、8/26、9/30、11/6、12/18、1/27、2/26、3/26(予定))。 ・プロモーションツールとして平成 25 年度に作成したパンフレット(高知中央じゃらん)を平成 26 年度版に改訂した。さらに、中国・四国、関西地区の道の駅や高速道路サービスエリア、量販店等での配布を 8 月から開始するとともに、圏域のポスターを作成した(11/10 納品)。 ・「高知まんなか観光物産展」を開催した(12/6～7)。 ・大分県宇佐市のNPO法人を訪問し、農家民泊先進地視察を実施した(1/20～21)。 ・中部地区旅行会社へのプロモーションを実施した(2/18～20、15 社)。 ・体験パンフレット(こい・こい・高知)を作成した。 ・福岡地区旅行会社へのプロモーションを実施した(3/11～13、22 社)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>広域観光の戦略の検討及び実施</p> <p>⇒圏域の特色を活かした戦略を検討し、県外へ向けて実施していく。</p>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 25 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市商工会 ・えびす街協同組合 ・地域活動団体 ・香美市 	<p>[目標(H27)]</p> <p>新規店舗の開業数：1店舗以上</p> <p>[H26到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会が著名な移住者を招いた移住促進の講演会を開催した(1/9)。 ・チャレンジショップを27年度中に開設するため、事業実施に係る組織設立の準備会を行った(3/25(予定))。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジャー(出店者)のサポート体制の構築と空き店舗情報の収集 <p>⇒チャレンジャー(出店者)を官民協働でサポートしていくための組織の設立と開業のための空き店舗のデータ収集を行う必要がある。</p>

2 平成26年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 9 地産地消・食育の推進(南国市)</p> <p>*H27.1.7採択</p>	<p>南国市内の生産者との連携の下、「南国土佐のイタリアン」をコンセプトにした地産地消のレストランとベーカーリーを整備する。</p>	<p>250,020(50,000)</p>

3 県民参画に向けた取組

○第2期産業振興計画 ver.3 及び産業振興計画シンポジウムのPR

- ・香南市西川地区集落活動センター推進協議会役員会(4/8)及び総会(4/14)
- ・香美・香南地区農業振興連絡協議会総会(4/23)
- ・三水会※(5/21)

※香美市の官公署、公共的団体、企業等の代表者等で構成される、親睦及び産業文化の向上発展への寄与を目的とする団体

○土佐MBAの説明及びPR

- ・南国・香美・香南各市商工会及び観光協会、JA土佐香美、JA南国市・JA長岡・JA十市、香美・物部各森林組合への訪問や会合の機会を使ったPR
- ・なんこく空の駅推進協議会、ごめんシャモ研究会等各種団体への訪問 など

4 相談案件：7件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/17	農業	山北みかんのブランド再構築に向けた高精度選果機を導入したい。
2	5/23	商工	地域食材を使ったレストランを出店したい。
3	6/9	食品加工	乾燥ケールの製造・販売を強化するため、委託農家の確保と乾燥施設・設備を整備したい。
4	7/10	農業	香美市物部町でユズの園地の防除作業の省力化等のために、スピードスプレーの導入を図りたい。
5	8/25	商工	ヤ・シィパークで、香南市の果物や野菜などを使った氷菓を商品開発し、販売していくための施設整備をしたい。
6	9/12	食品加工	香南市をはじめとする県産の果物を使ったゼリーを作るため、製造施設・整備をしたい。
7	3/2	農業	土地改良区の組合員の所得を上げるための講習会開催等に対する支援をお願いしたい。

高知市地域アクションプランの進捗状況等

H 2 7 . 3 . 1 9

高知市地域本部

1 地域アクションプランの平成 26 年度（第 4 四半期）の進捗状況等（総括）

(1) 総評

全 32 項目の地域アクションプランについて、実行支援チームをつくり、事業推進に向けた支援と進捗管理を実施することにより目標の達成を目指している。

農業分野では、県下随一のキュウリの産地である J A 高知春野が、キュウリの代表的な病気である黄化エソ病対策として、天敵利用技術の普及を図るとともに、増収のため、炭酸ガスを施用する取り組みなどを行っている。また、地域農産物の消費拡大を図るため、J A 高知市の農産品加工施設の機能強化を高知県産業振興推進総合支援事業費補助金の活用によって支援し、併せて食品加工や販売の人材育成にも積極的に取り組んでいる。

商工業分野では、高知県産の竹を使った自動車用ハンドル素材や竹シートの製造において、原材料の竹の供給も安定し、順調に取引先への納入がなされており、アウトドア用品など他分野への新たな販路拡大に向けた取り組みも始まっている。また、弘化台ブランドの創出を目指した地元鮮魚を活用した食品の製造では、新商品の開発や医療・介護施設等との商談に積極的に取り組み、徐々に販路が広がっている。

観光分野では、近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進において、城西館が行う「とさ恋ツアー」の観光商品づくりを支援することにより、県内各地で商品開発が進み、産振補助金のステップアップ事業で外国人観光客の受け入れに対応したガイドブックやホームページを作成するなど P R 活動を強化している。また、高知よさこい情報交流館は 2 年目に入り、入館者の維持・拡大に向けた取り組みを行っている。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>地域の特色を活かした多様な農業の展開</p> <p>■No. 1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 高知春野 ・ J A 高知春野キュウリ部会 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>出荷量：H27 園芸年度 11,000 t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>出荷量：H26 園芸年度 11,000 t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>出荷量：H25 園芸年度 11,000 t → 実績 10,560 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手対策(農家研修開始 3 月～1 名・4 月～1 名・8 月～2 名、指導農業士を新たに 3 名承認(計 7 名)、指導農業士・新規就農者等意見交換会の開催 [8/27]) の実施 ・ 黄化エソ病対策として天敵栽培の推進(天敵利用取り組み農家数 33 戸、実証試験ほ場調査 36 回、勉強会等 3 回、対

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 5 ナシ産地の振興とブランド強化</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 高知市 ・ 針木梨組合 	<p>策協議会 1 回、天敵温存ハウス個別巡回支援 19 回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炭酸ガス施用の促進 (炭酸ガス利用効果実証調査 19 回、管外事例調査 2 回) ・ 空きハウス貸出意向調査の実施 (1/28~30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産地維持拡大体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒担い手が利用できる農地情報の収集及び共有、就農受入体制の強化 ・ 品質向上及び増収のための技術改良 <ul style="list-style-type: none"> ⇒天敵利用及び炭酸ガス施用の普及促進 ・ 農家所得向上のための流通・販売対策 <ul style="list-style-type: none"> ⇒販売促進活動の実施 <p>[目標 (H27)]</p> <p>生産量：H27 年産 550 t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>生産量：H26 年産 440 t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>生産量：H25 年産 330 t → 実績 360 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高品質化に向けた栽培技術講習会 (1 回 29 人参加) の実施 ・ 高温対策現地試験ほ設置 ・ 市場及び産地 [千葉] 視察研修 (32 名参加) の実施 (8 月) ・ 鳥獣害対策 (検討会 5 回延べ 102 人参加、カラスの捕獲活動) の実施 ・ 目慣らし会の実施 (9/22・約 100 人参加) ・ G A P 勉強会の開催 (1/16・30 人参加) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同出荷体制整備に向けた情報共有、課題の抽出 ・ 高温対策の現地試験ほ調査・データ収集 <ul style="list-style-type: none"> ⇒情報や調査結果等の分析、及び対策の実施

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 7 新ショウガの生産振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 高知春野 ・ J A 高知春野ショウガ部会 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>販売額：H27 園芸年度 1,200,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>販売額：H26 園芸年度 950,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：H25 園芸年度 950,000 千円 → 実績 824,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品質向上対策（ハウス新ショウガ販売会議 1 回 13 人参加、出荷目慣らし会 3 回、現地検討会 4 回、生産場面へのマイクロバブルや炭酸ガス活用による生育調査）の実施 ・ 販売・消費拡大 P R（販売促進活動⇒スーパー等 [東京 1 回、兵庫 1 回、香川 1 回]・市場 [東京 1 回]、市場交流会 ⇒春野にて市場 7 社と 1 回）の実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>品質の向上</p> <p>⇒市場での腐敗事故軽減対策の実施</p>
<p>中山間地域の振興</p> <p>■No. 8 ユズを核とした中山間農業の活性化</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 高知市 ・ J A 高知市土佐山柚子生産組合 	<p>[目標 (H26)]</p> <p>販売額：190,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>販売額：190,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：180,000 千円 → 実績 164,470 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苗木育成圃場の管理指導（2 回） ・ ユズチーム会の開催（12 回） ・ ユズ栽培技術情報誌の発行（12 回） ・ 他産地（物部・徳島）動向調査（8/28・31 名参加） ・ 栽培方法現地検討会（9/25・30 名参加） ・ 収量予測調査（4 回） ・ 省防除実証圃調査（10 回） ・ ユズ園台帳等の管理・更新の検討（1 回） ・ ユズ残渣の有効活用のための畜産飼料試験実施（11 月～） ・ 剪定講習会の開催（土佐山地区 1/26・30 名参加、行川地区 2/4・10 名参加、鏡地区 3/9・15 名参加） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>加工需要に応える産地の形成</p> <p>⇒青果生産モデル生産者の重点技術指導、ユズ選果機導入の検討</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 9 四方竹のブランド化による中山間地域の振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 高知市 ・ J A 高知市特産部会（七ツ刈筍加工組合、土佐山四方竹生産組合、鏡特産部会） ・ (財) 夢産地とさやま開発公社 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>販売額：40,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>販売額：40,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：40,000 千円 → 実績 43,280 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四方竹の生態解明（地下茎等の生育調査 12 回）の取組 ・ 四方竹加工場の稼働に関する検討（3 回） ・ 自動選別機の開発及び導入の検討（業者との協議 8 回） ・ 目慣らし会（2 回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高知市四方竹振興計画の適切な進行管理 ⇒ 地下茎等の生育調査、支援体制の充実 ・ 販売促進活動の実施 ⇒ 都市圏での認知度向上、出荷ピーク時の販売先確保
<p>■No. 10 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (財) 夢産地とさやま開発公社等 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>販売額：107,200 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>販売額：98,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：118,000 千円 → 実績 74,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジンジャーエール及びジンジャーシロップの新加工場での効率的な生産体制が確立され安定供給が実現 ・ ジンジャーエールを中心にホテル・仲卸・小売店等への販路開拓 ・ 6 次産業化補助金等の活用による新たな加工品開発の検討 ・ 良質な堆肥の安定生産（とさやま土づくりセンター） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>公社及び農家の所得の向上 ⇒ 新たな加工品の開発と新加工施設の整備</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 直販店を核とした鏡地域の活性化</p> <p>《事業主体》</p> <p>・鏡村直販店組合</p>	<p>[目標 (H26)]</p> <p>販売額：170,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>販売額：170,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：160,000 千円 → 実績 156,100 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季葉菜類の収穫に向けた作付誘導(実証圃場の設置：小ネギ4作収穫) ・普及指導協力員による地元産物を使った料理講習会の開催(2回[4月・6月]17人参加、3回目[9月]8人参加、4回目[12月]6人参加) ・加工品(ショウガ・オクラ・赤ジャガイモ・カボチャの粉末、ナス・サトイモ・カキ・カブの乾燥野菜)の試作と評価の実施 ・産業振興アドバイザー制度を活用したクレーム対応研修会の開催(第1回6/26・48名参加、第2回10/17・15名参加) ・リオ店の機能強化策として、菓子・アイスクリーム類の販売を新たに始め、売り上げを伸ばしている。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>消費者ニーズに基づく直販所と生産体制づくり ⇒料理講習会、加工品の試作と評価の実施</p>
<p>■No. 14 森の工場を核とする素材生産量の拡大</p> <p>《事業主体》</p> <p>・高知市森林組合</p>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>森の工場面積：1,500ha</p> <p>素材生産量：4,000 m³</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>森の工場面積：1,400ha</p> <p>素材生産量：3,400 m³</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>森の工場面積：1,174ha → 実績 1,188ha</p> <p>素材生産量：3,270 m³ → 実績 3,044 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材増産に係る関係機関への森林整備事業説明会等の開催(7回) ・横矢地区を新たに森の工場として認定[264.51ha](4~5月) ・高知市広報紙(7/1)、県のホームページ(10/10)により、間

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>伐の推進と活用できる補助制度等を紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備である作業道開設(5路線・2,449m)が完了したことにより、本格的な素材生産を行うことが可能となった ・森の工場は、3団地で1,453haとなり、H26年度到達点を達成 ・素材生産量は、1月末時点で2,453 m³ <p>[課題と今後の対応]</p> <p>施業の集約化</p> <p>⇒森の工場の拡大と施業合意率の向上を図るため、ホームページや県市広報紙などによる間伐推進等のPR</p>
<p>一次産品(地域資源)を活用した6次産業化の推進</p> <p>■No.16 春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)スタジオ・オカムラ ・連携農家 	<p>[目標(H27)]</p> <p>販売額:94,000千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>販売額:60,000千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額:60,000千円 → 実績 43,590千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百貨店等(高島屋・大丸松坂屋・小田急・イオン・イトーヨーカドーなど)でのお中元ギフトカタログ等による販売 ・飲料やソース類のOEM受注生産の拡大を目指し、ホテル、惣菜製造、食材取扱企業等に向けた販路開拓の取り組み ・ピカンテペッパー契約栽培農家への育苗指導(4/16)及び栽培巡回指導(5/23、8/12、9/26、10/6、11/4)の実施 ・マーケットイン型商品づくり支援事業を活用した首都圏・関西圏でのテスト販売の実施 ・ジンジャーエール用の生姜乾燥などのための低温乾燥設備を導入(12月) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>小口配送に伴う物流等のコスト対策</p> <p>⇒OEM製品の受注など量のまとまりを目指した販路開拓</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 「食」の提供による地域農産物の消費拡大</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A高知市 ・ J A高知市女性部 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>販売額：25,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>販売額：24,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：19,350 千円 → 22,030 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農産加工施設「婦人の家」の改修工事完了 (6月20日) ・ 実行支援チーム会の開催 (4回) ・ フライヤーが増えたため、既存の機器と揚げる食材を使い分けることで、1日のメニューが増加した。 ・ 販売強化計画の見直しに係るチェックリストによる自主点検の改善。 ・ 蒸し器の導入により新商品づくりに着手。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>加工施設の機能強化</p> <p>⇒新施設の活用状況の確認、新たな加工品開発への支援</p>
<p>■No. 13 生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高知市酪農農業協同組合 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>店舗の販売額：16,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>店舗の販売額：14,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>店舗の販売額：14,000 千円 → 実績 12,520 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 城西館「とき恋ツアー」の着地型観光商品づくりに係る協議 (4/4)、モニターツアー (7/5) ・ 高知大学との連携による顧客開拓等についての支援に係る打ち合わせ (6/12)、えんむすび隊による作業体験 (7/13) ・ 商談会への参加による販路開拓活動の実施 (6/6) ・ 店舗での販売額 (4~11月)：7,791,639 円 (対前年比 90%) ・ 店舗の認知度向上のためのオープンファーム (8回)の実施 ・ 龍馬パスポート参加施設[観光施設]への参加 (9/8~) ・ 牧場内のイベント等で活用するピザ釜を整備 (12月) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>新規顧客の開拓とリピーターの確保</p> <p>⇒イベントの継続的な実施とブログ等での情報発信、店舗外 (県庁生協、ネット販売等)での販促活動の充実</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 20 「弘化台ブランドの創出」地元鮮魚を活用した食品の製造・販売</p> <p>《事業主体》 ・(株) 永邦水産</p>	<p>[目標 (H27)] 食品加工品の売上額：250,000 千円</p> <p>[H26 到達点] 食品加工品の売上額：150,000 千円</p> <p>[H25 到達点] 食品加工品の売上額：150,000 千円 → 実績 50,000 千円</p> <p>[取組状況] ・高知放送テレビ「おはようこうち」で取り組みを紹介 (5/4) ・高知県業務用商品開発プロジェクトの個別相談会に参加 (5/15) ・介護事業所との商談・試食会の実施 (5/16) ・全国展開のスーパーや飲食店との商談及び試作品づくり ・まるごと高知のお取り寄せ・贈り物カタログに「魚の宝箱」が採用された (9/1) ・医療機関や介護施設との取引開始 (2月) ・高知大丸地下食品売り場への出店 (12/19 開店)</p> <p>[課題と今後の対応] 新商品づくりと販路の確保 ⇒大手量販店等との商談のための支援</p>
<p>■No. 21 地域の農産物を使った菓子類等の外商の推進</p> <p>《事業主体》 ・(有) マンジェ・ササ</p>	<p>[目標 (H27)] 首都圏での売上額：170,000 千円</p> <p>[H26 到達点] —</p> <p>[H25 到達点] 首都圏での売上額：70,000 千円 → 実績：—</p> <p>[取組状況] ・自由が丘店及びKITTE店で、旬の県産農産物や高知の地酒・牛乳などの特産品を使ったスイーツを販売 ・東京ソラマチ[スカイツリー]及び銀座三越高知フェア(4月)、東急東横店(6月)で期間限定出店 ・テレビや雑誌での情報発信による消費者へのアピール ・名古屋高島屋の催事「四国瀬戸内味めぐり」に出展(7月) ・キッテグランシェのテナント配置換えを機にKITTE店を閉店(9/30) ・自由が丘店を閉店(2/28)し、今後の販売戦略を再構築中</p> <p>[課題と今後の対応] 高知県産の野菜とスイーツの組み合わせなど意外性のある商品の消費者への浸透 ⇒テレビや雑誌などのグルメレポートやホームページ</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	による商品と活用した特産農産物の情報発信
<p>新分野への挑戦</p> <p>■No. 18 県産竹材を用いた新規分野への製品展開</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)コスモ工房</p> <p>■No. 19 防災食の開発・製造・販売</p> <p>《事業主体》</p> <p>・高知県食品工業団地事業協同組合の企業など</p>	<p>【目標(H27)】</p> <p>売上額：120,000千円</p> <p>【H26到達点】</p> <p>売上額：110,000千円</p> <p>【H25到達点】</p> <p>売上額：90,000千円 → 実績100,000千円</p> <p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹製ハンドルの材料となるラミナの安定出荷 ・高幡地域本部と連携した竹材の確保。(須崎地区森林組合) ・平成26年度こうち産業振興基金[高知県産業振興センター]の経営革新支援事業の助成決定(4月) ・フランスにおける竹製品の需要や展示会・ショールームの状況などについて現地調査を実施(7月) ・県外の手アアウトドア用品メーカーとの商談及び試作品作成(10月～) <p>【課題と今後の対応】</p> <p>竹シートなどの国内外への販路拡大に向けた支援 ⇒高知市と連携し事業拡大や雇用に対する支援強化</p> <p>【目標(H27)】</p> <p>アイテム数：50アイテム</p> <p>【H26到達点】</p> <p>アイテム数：11アイテム</p> <p>【H25到達点】</p> <p>アイテム数：6アイテム → 実績6アイテム</p> <p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産品を原材料とする防災食の開発及び改良 ・保存用ミレービスケット・土佐のミリメシが、こうちふるさと寄附金の記念品及び高知県庁カフェテリアプランの商品に採用(6月) ・第8回オフィス防災エキスポ(東京ビッグサイト)に保存用ミレービスケットを出展(7/16～18) ・高知市教育環境支援課が備蓄用として保存用ミレービスケットを公的調達実施(8月5,015缶) ・高知市防災展に土佐のミリメシを出展(10/26) ・ものづくり総合技術展に保存用ミレービスケットを出展(11/20～22)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>・スーパーマーケット・トレードショー2015(2/10~12)、国際PB・OEM開発展(2/17~20)、FOODEX JAPAN2015(3/3~6)に保存用ミレービスケットを出展</p> <p>[課題と今後の対応] 新商品の開発、販路の確保、商品の改良 ⇒量販店等への販路開拓</p>
<p>中心市街地の活性化</p> <p>■No. 23 中心商店街でのアンテナショップの運営</p> <p>《事業主体》 ・(株)まこと</p>	<p>[目標(H26)] 販売額：184,300千円 [H26到達点] 販売額：184,300千円 [H25到達点] 販売額：153,600千円 → 実績 150,155千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある県産品の掘り起こし →登録アイテム累計4,972点、うち約2,000点を陳列・販売 ・H26年度新規取扱商品383品目(2/28時点) ・クルーズ客船新港入港時の出張販売(4回) ・県外(高松市)での地場産品販売(5/10~11) ・よさこい・お盆時の売り場強化、てんこす秋祭り(8~9月) ・てんこす5周年イベント(2/7~19) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「てんこす」の販売額アップ ⇒商店街関係者・NPO・学生等との連携による地域産品のPRや集客イベントの開催 ・インターネット販売の強化 ⇒ホームページの魅力向上、販売展開計画の作成

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 多彩なイベントや演出等によるおま ちのにぎわいづくり</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街振興組合など 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>—</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じたフラフ等を飾り、商店街のにぎわいを演出 【4～5月：南国土佐の春】フラフ 10 枚、ペナント 134 枚 【7～8月：よさこい祭り】フラフ 16 枚 【9月：土佐の偉人】フラフ 8 枚 【12～2月：おまちの笑店街】フラフ 9 枚 ・第2回「高知まちゼミ」開催・36店 43講座・475人参加 (5/1～5/31) ・まちなか・よさこい実施(5/11～7/20の毎週日曜日) ・土曜夜市開催(6/28～7/26の毎週土曜日) ・大橋通り商店街で「お城下市」、ワンコイン商店街を実施 ・高知オクトーバーフェスト2014開催(8/22～31) ・はりまや橋商店街で「絵金生誕祭」実施(10月) ・第3回「高知まちゼミ」開催・45店 50講座・541人参加 (11/1～11/30) ・土佐のおきゃく2015開催(3/7～15) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>集客力の向上、リピーターの創出 ⇒商店街での多彩な集客イベントの実施</p>
<p>魅力ある観光戦略の展開</p> <p>■No. 27 近隣地域等との連携による滞在型・体 験型観光の推進</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)城西館等 ・高知市 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数：112万人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数：114万人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数：114万人→実績 113.6 万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知中央広域観光協議会の設立による観光資源の広域ネット ワーク化、及び各種情報誌等への観光広告の掲載 ・城西館による県内各地での着地型観光ツアーの展開 ・城西館の「とさ恋ツアー」の新商品開発に係る協議及び現 地視察、モニターツアーの実施(3箇所)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 28 本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市 ・(社) 高知市観光協会ほか関係団体等 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済新聞による「とさ恋ツアー」の情報発信(5/30) ・産振補助金(ステップアップ事業)の活用による「とさ恋ツアー」の外国人観光客にも対応した新パンフレット・ホームページ製作(1月完成) ・高知中央広域観光協議会による中部地区(2/18~20)、福岡地区(3/11~13) エージェント向けプロモーション実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな着地型旅行商品の開発、及び既存の商品を併せた宿泊客へのPR ・近隣地域との連携の強化 ⇒高知中央広域観光協議会、仁淀川地域観光協議会等との連携 <p>[目標(H27)]</p> <p>よさこい祭り来場者数：近年の最高来場者数(1,200千人)の維持</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>よさこい祭り来場者数：1,200千人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>よさこい祭り来場者数：1,200千人 → 実績1,200千人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知よさこい情報交流館開館1周年記念セレモニー(4/27) ・高知よさこい情報交流館事業の実施(入館者2/28現在・115,425人[管内での鳴子づくり体験参加者542人、よさこい踊り体験参加者6,276人]) ・はりまや橋商店街と連携したイベント(よさこい鳴子踊り等)の実施 ・こうち春花まつり(5/3~5)での演舞 ・駅前よさこい鳴子踊り、まちなかよさこい等の実施(通年) ・よさこい祭り(8/10~12)観客動員100万人[花火大会8/13含む] ・原宿表参道元氣祭スーパーよさこいでの観光PR(8/23~25) ・よさこいアンコール(8/18~31) ・龍馬生誕祭や龍馬まつりにおけるよさこい演舞(11月) ・土佐のおきゃく「よさこい春の舞」(3/13~14) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>高知よさこい情報交流館開館2年目の入館者の維持・拡大 ⇒各地のよさこいイベントとの連携と魅力ある施設づくり</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む) 課題と今後の対応
<p>■No. 31 土佐の偉人を活かした観光の振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市 ・(社) 高知市観光協会 ・特定非営利活動法人土佐観光ガイドボランティア協会 ・長宗我部連絡協議会等関係団体 	<p>年間を通して「よさこい」で集客できる企画づくり ⇒駅前や商店街等での定期的なよさこい鳴子踊りや 県外イベント参加の拡大によるファンの獲得</p> <p>[目標 (H27)] 「龍馬の生まれた町歩き～土佐っ歩～」等への参加人数： 3,800 人</p> <p>[H26 到達点] 「龍馬の生まれた町歩き～土佐っ歩～」等への参加人数： 2,695 人</p> <p>[H25 到達点] 「龍馬の生まれた町歩き～土佐っ歩～」等への参加人数： 2,695 人 → 実績 2,226 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「龍馬に大接近」の実施 (4/12～5/18) 28,327 人参加 ・土佐っ歩の実績 4～2 月：1,302 人 ・第 3 回長宗我部まつりに向けた高知大学 KICS との連携によるイベントの検討 ・第 3 回長宗我部まつり開催 (5/18)：約 8,000 人集客 ・武市半平太例祭 [仁井田] (5/11) ・龍馬生誕 180 年記念事業第 5 回推進委員会の開催 (11/20) ・第 27 回全国龍馬ファンの集い高知大会第 5 回実行委員会の開催 (11/20) ・第 3 回全国龍馬ファンの集い関東大会 in 横浜開催 (10/18～19) ・「龍馬に大接近」の実施 (10/11～11/24) 29,951 人参加 <p>[課題と今後の対応] 更なる集客力の向上 ⇒偉人関連施設及びイベントの充実強化、団体客の確保</p>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 30 浦戸湾を活用した観光の振興</p> <p>《事業主体》</p> <p>・特定非営利活動法人きらりこうち都市づくり</p>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>—</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <p>・観光遊覧船事業に参入してくれる事業者の掘り起こし</p> <p>・新規参入事業者の事業を軌道に乗せるための支援として、</p> <p>①着地型観光を実施する城西館との協議(9/8)、及び県内宿泊施設へのPR</p> <p>②県市観光部局及び旅行会社による試乗会(10/9)・個別協議を実施</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>観光遊覧船事業の継続</p> <p>⇒運航体制の再構築</p>

2 平成26年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 27 近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進(株城西館)</p>	<p>(株城西館が旅行業第2種免許を取得したことにより、販売する着地型観光商品「とさ恋ツアー」を県内全域を網羅するものにステップアップし、外国人観光客の受け入れに対応したガイドブックやホームページを作成するとともに、PR活動を実施する。</p>	<p>3,407(1,577)</p>
<p>■首都圏における高知県産食品販売促進事業(有)高知パレスホテル)</p>	<p>(有)高知パレスホテルが東京スカイツリー・ソラマチに出店する県産食材を使った商品を販売する店舗を活用し、地域色を前面に出した店舗づくりと共に、高知県を積極的にPRすることにより、知名度のアップや観光客の誘致につなげる。</p>	<p>3,752(1,737)</p>

3 県民参画に向けた取組

- ・高知大学と連携した取り組みの際に参加学生に対して産業振興計画の詳細説明
- ・企業訪問時に土佐の産業おこし参加プラン、産業振興計画シンポジウムのPR
- ・地域団体（春野地域ほか）の行事の際に産業振興計画のPR
- ・工業会、発明協会に対して産業振興計画シンポジウム、土佐MBAのPR
- ・高知市主催のイベントで、産業振興計画シンポジウム、土佐MBAのチラシの配布

4 相談案件：27件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/10	商業	中古自動車の海外輸出事業について
2	4/29	商業	廃校になる中学校の活用について
3	5/8	商業	観光遊覧船運航に係る支援について
4	5/9	商業	ジビエ料理を提供する飲食店の新規開店に係る支援について
5	5/12	工業	柑橘類の搾汁機の開発について
6	5/16	文化	野中兼山の生誕400年記念行事について
7	6/8	商業	鮮魚の加工品に係る知的財産権制度の適用について
8	6/9	商業	伝統製法の味噌製造業者の事業拡大について
9	6/11	工業	木製の球を作る機械について
10	6/16	商業	廃校になった学校を活用した野菜工場の開設について
11	6/17	商業	温泉施設に併設した飲食店舗の活性化について
12	6/29	商業	竹を使ったコップや皿等の販路拡大について
13	7/9	商業	高知の海産物を提供する大規模飲食店舗の開設について
14	8/1	商業	異業種（食品加工）への参入に関する支援について
15	8/14	商業	合鴨の飼育及び精肉販売に関する支援について
16	8/18	商業	トレーニングジム開設に係る支援について
17	9/24	観光	土佐観光ガイドボランティアのガイドブック作成支援について
18	10/14	商業	にんにくの栽培及び加工等に関する支援について
19	10/28	農業	いちごの販路拡大について
20	10/29	商業	土産物販売店の出店に関する支援について
21	11/14	観光	外国人旅行者受入のための環境整備に関する支援について
22	12/12	漁業	御昼瀬地区の漁獲物を使った加工品の製造・販売について
23	1/20	商業	県産食材を使った総菜類販売店舗の首都圏への出店について
24	1/30	商業	柑橘類を中心とした県産果物等を提供する飲食店の出店について

NO.	相談日	事業種別	相談内容
25	2/18	商業	土産物販売店のネットショップにおける野菜果物等の販売について
26	2/20	商業	孟宗竹・四方竹の筍の加工品開発について
27	3/2	商業	魚の加工品製造に係る障害者雇用への助成金について

嶺北地域アクションプランの進捗状況等

H27. 3. 19

嶺北地域本部

1 地域アクションプランの平成26年度（第4四半期）の進捗状況等（総括）

(1) 総評

嶺北地域では、核となるプレイヤーが複数の取組を行っている現状に大きな変化は無く、各分野で新しい担い手やリーダーの人材育成が喫緊の課題である。

そのため、各分野ごとの担い手育成の取組に加えて、4町村が連携した観光・交流人口の拡大や移住促進の取組の中で、U・Iターンによる地域外からの担い手確保の取組にも力を入れている。一方で、地域内の人材育成として嶺北高校と連携して将来の担い手の育成にも取り組み、大学進学した卒業生も大学内での活動を通じて、嶺北地域の活性化に繋がっているなど一定の成果も見えてきている。

本年度の嶺北地域の28項目のアクションプランについても、概ね各計画に沿った取組を進めており、各アクションプランとの連携を視野に入れた取組も見られている。

県外の大学等との連携による取組では、交流人口の拡大から地域産品を活用した新たな商品開発・販売に具体的に取り組むなど、所期の目的に向かって進みつつある。また、大阪圏都市部（行政、民間団体）との連携によるインターンシップ研修生の受け入れが定例化し、研修終了後の移住にも繋がりはじめるとともに、この事業で連携してきた企業がシェアオフィスに入居するなど、外部人材を活用した取組も本格化し、人的・物的交流のさらなる広がりも期待を抱かせるものとなっている。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>“れいほく”ブランドの園芸産地の確立及びユズ加工品の販売促進</p> <p>■No.1 れいほくブランドの園芸産地の維持（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA土佐れいほく（園芸部会、花卉部会） ・直販生産部会土佐町支部 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>れいほく八菜 販売額：1.6億円 れいほく八菜 生産者数：136人 研修による新規就農者数：8人（累計）</p> <p>れいほく八花 販売額：1.1億円 直販売上額：9.5千万円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>れいほく八菜 販売額：1.6億円 れいほく八菜 生産者数：155人 研修による新規就農者数：12人（累計）</p> <p>れいほく八花 販売額：1.1億円 直販売上額：8.5千万円</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H25 到達点]</p> <p>れいほく八菜 販売額：1.6億円→実績2.1億円 れいほく八菜 生産者数：170人→実績169人 研修による新規就農者数：8人(累計)→実績11人(累計) れいほく八花 販売額：1.2億円→実績1.1億円 直販売上額：8.5千万円→実績7.8千万円</p> <p>[取組状況]</p> <p>(担い手育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営実態調査 (三色ピーマン、シシトウ部会、モデル農家2戸) ・新規就農者等勉強会(4回、39名) ・担い手合同研修会(1回) <p>(れいほく八菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA各生産部会の現地検討会(26回) ・天敵の推進：研究会(1回)、天敵リレー(4回)、 天敵利用促進ハウス設置(2カ所) ・栽培管理指導(土壌溶液分析)(14回) ・ISO環境点検(2回) ・販売促進企画会議(4回)、圃場見学(2回)・出前授業 (3回)・試食PR(6回)、店頭販促活動(4回) <p>(れいほく八花)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培管理巡回指導(35回) ・土壌分析による施肥指導(15回) ・ノーブルを中心とした販売促進活動の検討(9回) <p>(直販)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培講習会(7回) ・現地検討会(1回) ・直販所視察研修(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(担い手育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な担い手確保 ⇒関係機関、農業者が一体となった取組の推進 <p>(れいほく八菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹品目(米ナス、シシトウ、三色ピーマン)の栽培管理技術の徹底 ⇒生産技術の向上、病害虫対策の向上 ・販売促進活動などによる販売拡充 ⇒販売拠点(コープかがわ)の充実と消費宣伝 県内市場及び大阪市場の販売強化

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 2 ユズ産地の確立と加工・販売の促進 (本山町、大豊町、土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺北地域果樹(ゆず)産地協議会 ・J A土佐れいほく 	<p>(れいほく八花)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーブルの高品質・安定生産技術の確立 ⇒ノーブルの球根供給システムの確立と生産技術向上の体制づくり ・市場への販売促進活動 ⇒県内外の市場商談会等への参加 <p>(直販)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販生産者の生産量の増 ⇒栽培管理指導による出荷量の増加及び品質向上 <p>[目標 (H27)]</p> <p>加工品販売額：6 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>加工品販売額：4.5 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>加工品販売額：4.5 億円→実績 4.0 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術講習会 (2 回) ・商談会への参加 (8 回) ・個別巡回指導 (12 回) ・生態(着花状況等)調査 (14 回) ・輸出出荷 ・国外での販促活動 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ加工品の販路拡大 ⇒国外への販促活動の強化
<p>J A 出資型法人を核とする地域活性化の取組</p> <p>■No. 6 J A 出資型法人を核とする地域活性化の取組 (嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J A土佐れいほく ・(株)れいほく未来 ・米米ハート 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>農業経営事業(園芸)売上高：3,000 万円</p> <p>研修による新規就農者数：3 人(累計)</p> <p>事業主体への新規雇用数：2 人(累計)</p> <p>米粉等の販売額：1.1 億円</p> <p>内訳 4,000 万円(米粉等) 7,000 万円(ブランド米等)</p> <p>米粉の使用量(米粉パン等)：7,000kg</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>農業経営事業(園芸)売上高：2,450 万円</p> <p>研修による新規就農者数：1 人(累計)</p> <p>事業主体への新規雇用数：7 人(累計)</p> <p>米粉等の販売額：1.05 億円</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>内訳 2,500万円(米粉等) 8,000万円(ブランド米等) 米粉の使用量(米粉パン等):7,000kg</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>農業経営事業(園芸)売上高:1,207万円→実績1,612万円 研修による新規就農者数:0人(累計)→実績0人(累計) 事業主体への新規雇用数:1人(累計)→実績5人(累計) 米粉等の販売額:1.55億円→実績1.10億円</p> <p>内訳 2,500万円(米粉等)→実績2,234万円 5,000万円(米粉パン等) 8,000万円(ブランド米等)→実績8,732万円</p> <p>[取組状況]</p> <p>(農業経営事業、米関連事業、農作業受託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作付実績:園芸作物133a、水田(主食・飼料用)250a ・農作業受託:水稻1,000a、ハウス40a ・栽培研修会への参加(9回) ・ほ場巡回による栽培管理の助言指導(27回) ・インターンシップ事業の実施(7回) <p>(米粉事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうち農商工連携基金事業の採択(事業費:4,376千円) れいほく未来、とさ千里の連携による新商品、米粉加工品の販路拡大の取組 ・商品開発、販路開拓に関する委託契約の締結 (大阪圏2者) ・既存取引先(大阪)との販売促進協議(2回) ・取引先との交流イベント(1回) ・イベント出店による販売、PR活動(51回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業体(JA出資型法人)の経営の安定化 ⇒地元金融機関の協力のもと、中期経営事業計画(5ヶ年)の策定・実行支援 ・米粉・米粉加工品の販売拡大 ⇒農商工連携基金事業の効果的な活用 (県外料理研究家等の協力のもと、販売促進活動等への実践支援)
<p>肉用牛産業の再興及び土佐はちきん地鶏の振興による畜産業の展開</p> <p>■No.8 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興(本山町、土佐町、大豊町)</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>土佐あかうしの販売額:2.1億円</p> <p>[H26 到達点]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A土佐れいほく ・ (株)れいほく未来 ・ 飼養者 ・ 本山町 ・ 大豊町 ・ 土佐町 <p>■No. 9 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化(大川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)むらびと本舗 ・ 大川村 	<p>土佐あかうしの販売額：2億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>土佐あかうしの販売額：2億円→実績1.8億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肥育畜舎、育成畜舎、繁殖畜舎、堆肥舎等完成 ・ 繁殖雌牛35頭導入(累計64頭) ・ 分娩12頭(累計16頭) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼育担当者の飼養管理技術の向上 ⇒飼養管理技術の向上支援(現地指導等) ・ 加工場の整備検討 ⇒付加価値の構築 <p>[目標(H27)]</p> <p>黒牛の販売額：8.2千万円 はちきん地鶏出荷羽数：10万羽</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>黒牛の販売額：4.3千万円 はちきん地鶏出荷羽数：7万羽</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>黒牛の販売額：7.0千万円→実績3.3千万円 はちきん地鶏出荷羽数：7万羽→実績5.9万羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鶏舎の改築(換気・結露対策) ・ 飼養管理技術向上の取り組み ・ 増頭、増羽に向けた検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の飼養管理技術の向上 ⇒職員の飼養管理技術の向上支援(現場指導等) ・ 繁殖雌牛の増頭及び高齢牛の更新と肥育牛の増頭 ⇒計画的な繁殖雌牛の保留と肥育畜舎の整備
<p>嶺北材の増産及び販路拡大</p> <p>■No. 10 間伐の推進と素材生産の拡大(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林所有者 ・ 森林組合 ・ 素材生産事業体 ・ 自伐林家 	<p>[目標(H27)]</p> <p>素材生産量：150,000 m³</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>素材生産量：100,000 m³</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>素材生産量：100,000 m³→実績78,943 m³(本山、大豊の共販所)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森の工場新規認定申請(6箇所)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) SUN SHOW ・レイホク木材工業(協) ・吉野川リビング(協) ・土佐町 	<ul style="list-style-type: none"> ・森の工場新規設定に向けた協議(1箇所) ・素材生産事業体との増産に向けた協議(10事業体) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木増産体制の整備 ⇒搬出間伐の補助を受けるための計画作成支援 皆伐、再造林への支援 <p>[目標(H27)]</p> <p>木材の出荷量: 900 m³</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>木材の出荷量: 720 m³</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>木材の出荷量: 540 m³→実績 908 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納材実績: 40棟、703.72 m³(2月末現在) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した受注に向け新たな取引先の開拓 ⇒関係者と連携し検討実施
<p>大型製材工場の設置・稼働による加工体制の強化</p> <p>■No. 15 大型製材工場の設置による地域材の利用の促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知おおとよ製材(株) ・大豊町 	<p>[目標(H27)]</p> <p>製材品の生産量: 55,000 m³</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>製材品の生産量: 28,781 m³</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>製材品の生産量: 12,772 m³→実績 13,100 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高知おおとよ製材」採用者の就業(8名:合計42名) (2月末現在) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木供給体制の整備 ⇒関係機関と連携し、原木市場を中心とした供給体制の整備検討
<p>地産外商の促進</p> <p>■No. 18 土佐産直サテライトセンター(とさ千里(大阪))の活性化による地産外商の促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)とさ千里 	<p>[目標(H27)]</p> <p>土佐産直サテライトセンター(とさ千里)の販売額: 1.2億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>土佐産直サテライトセンター(とさ千里)の販売額: 0.85億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>土佐産直サテライトセンター(とさ千里)の販売額: 0.85億円</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)、課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ J A土佐れいほく ・ 土佐町 	<p>→実績 0.86 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県大阪事務所での木曜市 (12 回) ・ イベント会場での物販 (3 回) ・ 店頭でのイベント開催 (11 回) ・ 商談会への参加 (1 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年 2 月 5 日臨時株主総会において大阪からの撤退が決定。同 2 月 24 日店舗閉店。 <p style="padding-left: 40px;">⇒施設の事業継承先の確保(県産品販売コーナー併設を条件とし小売企業と交渉を進めていく)</p>
<p>嶺北地域の連携による交流人口の拡大</p> <p>■No. 19 嶺北地域の連携による交流人口の拡大 (嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嶺北地域観光・交流推進協議会 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数：12,000 人 新たに旅行商品となる体験メニュー数：5 件 (累計)</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数：一人 新たに旅行商品となる体験メニュー数：4 件 (累計)</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数：一人 新たに旅行商品となる体験メニュー数：3 件 (累計)</p> <p style="text-align: right;">→実績 3 件 (累計)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嶺北地域の旅行商品化の動き <ul style="list-style-type: none"> 商品化：1 社・13 本 催行：1 社・11 本 387 名 ・ 民泊研修の実施 (4 回) ・ エージェントへのプロモーション活動 (3 回) ・ 大学と連携した旅行商品磨き上げ <ul style="list-style-type: none"> モニターツアー実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域観光のコーディネート組織 (人) の機能強化 ・ 次年度以降の協議会の事務局体制の検討 <p style="padding-left: 40px;">⇒嶺北地域観光・交流推進協議会で検討</p>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 4 米のブランド化による稲作農業の展開 (本山町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本山町ブランド化推進協議会 ・(財)本山町農業公社 ・本山町酒づくり協議会 ・ばうむ合同会社 ・本山町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>ブランド米の販売額：1億円 焼酎販売本数：17,800本</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ブランド米の販売額：5,000万円 焼酎販売本数：15,800本</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ブランド米の販売額：5,000万円→実績4,336万円 焼酎販売本数：12,600本→実績1,419本</p> <p>[取組状況]</p> <p>(ブランド米)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培管理指導(18回) ・田んぼアート、棚田コンサートの実施 ・「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」受賞 ・販売促進活動(21回) ・米食味分析鑑定コンクールで「水田環境特A部門特別優秀賞」受賞 <p>(焼酎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まるごとこうちでの試飲、販売 ・イベント・展示会等への出展(13回延べ58日) ・新規取引開始：15件 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(ブランド米)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者価格の向上 ⇒直接販売増の取組の実施 <p>(焼酎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品(焼酎等)の安定的な生産と販路拡大 ⇒卸業者等へのPR活動の実施 大阪圏飲食店への販促実施
<p>■No. 5 (株)大豊ゆとりファームを核として 地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)大豊ゆとりファーム ・大豊町碁石茶協同組合 ・大豊町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額：0.5億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額：0.2億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額：0.2億円→実績0.13億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・碁石茶の販促活動(33回延べ63日) ・クールベジタブルの販促活動(22回延べ29日)

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 7 直販所「本山さくら市」を核とした地域活性化の取組(本山町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本山さくら市運営委員会 ・(財)本山町農業公社 ・本山町 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基石茶の茶葉、加工品の販路拡大 ⇒商談会への出展等による新たな取引先の開拓 <p>[目標(H27)]</p> <p>販売額：1.8億円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>販売額：1.36億円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>販売額：1.42億円→実績1.33億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理加工施設の整備 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品、情報発信機能の充実 ⇒栽培講習会、PR活動等の継続実施
<p>■No. 24 滞在型市民農園の推進による地域の活性化(本山町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本山町 	<p>[目標(H27)]</p> <p>町内移住者：30人(累計)</p> <p>[H26到達点]</p> <p>町内移住者：30人(累計)</p> <p>[H25到達点]</p> <p>町内移住者：15人(累計)→実績24人(累計)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者(4組9人) ・町内移住者(3組3人) ・県外相談会等への参加(13回、相談者64名) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞在後の移住への移行 ⇒施設利用者と地域の交流機会の拡大
<p>■No. 25 嶺北地域の連携による移住促進の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・れいほく田舎暮らしネットワーク ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標(H27)]</p> <p>移住者数：100人(累計)</p> <p>[H26到達点]</p> <p>移住者数：一人(累計)</p> <p>[H25到達点]</p> <p>移住者数：50人(累計)→実績142人(累計)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住促進連絡会の開催(12回) ・県外での移住相談会への参加(6回) ・田舎暮らしカフェの開催(2回：東京、大阪)

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 27 地域内高校と連携した将来の担い手育成に関する取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) れいほく未来 ・嶺北高校 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住相談受付件数：386件 ・空き家調査件数：153件 ・移住実績：42件53名 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局体制の整備(役割分担) <ul style="list-style-type: none"> ⇒町村、れいほく田舎暮らしネットワーク、県により協議 ・空き家不足 <ul style="list-style-type: none"> ⇒空き家調査の実施等 <p>[目標(H27)]</p> <p>商品提案数：5件(累計)</p> <p>[H26到達点]</p> <p>商品提案数：13件(累計)</p> <p>[H25到達点]</p> <p>商品提案数：3件(累計) →実績11件(累計)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米粉等を利用した新商品の開発及び販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> こうち農商工連携基金事業を活用し、(株)れいほく未来・(株)とさ千里・嶺北高校による6次産業化の取組を展開中 ・連携事業者等による指導(5回) ・試食アンケート(2回) ・試作品の完成(9品目) ・(株)れいほく未来への提案(8品目) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生が主体的に動き出すキッカケづくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒高校生を主体とした模擬会社化の体制づくり ・卒業生との連携 <ul style="list-style-type: none"> ⇒在籍大学との連携

2 平成26年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 8 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興(土佐町)</p>	<p>土佐あかうしの生産基地整備による生産体制の強化に向けた取組(繁殖畜舎、堆肥舎等の整備)</p>	<p>81,000(12,500)</p>

3 県民参画に向けた取組

- ・土佐町部落長会での第2期計画 Ver3 の説明 (4/18)
- ・大豊町区長会での第2期計画 Ver3 の説明 (5/1)
- ・本山町商工会総会での第2期計画 Ver3 の説明 (5/22)
- ・土佐地区商工会総会での第2期計画 Ver3 の説明 (5/23)
- ・大豊町商工会総会での第2期計画 Ver3 の説明 (5/26)

4 相談案件：3件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	H26. 10. 2	観光交流	地場産品を活用したイベントについて
2	H26. 10. 7	水産物加工	淡水魚を活用した6次産業化
3	H26. 10. 29	商業	事業計画作成について（銀行との連携）

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等

H27. 3. 19

仁淀川地域本部

1 地域アクションプランの平成26年度（第4四半期）の進捗状況等（総括）

(1) 総評

全37のプランについて、実行支援チームを編成、事業推進に向けた協議と進捗管理を実施し、それぞれの地域アクションプランに掲げた本年度到達点の達成を目指して取り組みを進めている。

事業のさらなるステップアップや課題を抱えている案件について、人材育成の講座への誘導、アドバイザーの派遣、各種補助金の活用など、場面に応じた支援事業を導入し、関係機関と連携した具体のサポートを実施している。

特に、昨年11月に産振総合補助金を活用してリニューアルオープンした日高村の直販所「村の駅ひだか」については、開店以降集客、売上ともに好調な滑り出しで、集荷体制の整備、商品の品揃えや加工品の開発など、売上目標の達成を目指した取り組みを進めている。

農事組合法人ヒューマンライフ土佐の薬用作物栽培の事業では、県内での産地拡大や設備整備に向けて、事業主体、越知町や農業振興部が連携した取り組みを進めている。

今年度、新たに地域アクションプランの位置付けを行った、いの町の生姜等加工品製造施設整備事業については、産振総合補助金事業審査会において承認されたことから、現在、事業実施計画に基づき設備整備に取り組んでいる。

また、平成22年度に設立し、旅行会社によるツアーの実績を大幅に伸ばしてきた仁淀川地域観光協議会の取り組みは、今年度も順調に入込客数を増やしており、引き続き、仁淀川地域の観光資源の掘り起こしを図り、県の観光施策とも連携してセールス活動を進めるとともに、今後の広域観光組織の機能強化を目指し、会員市町村や観光協会、県など関係者のサポートのもとで中長期計画の策定に取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
地域の特色を活かした多様な農業の展開 ■No.3 薬用作物の産地拡大による所得の向上 (仁淀川町、佐川町、越知町、日高村) 《事業主体》 ・農事組合法人ヒューマンライフ土佐	[目標 (H27)] ミヤマサコ作付面積：70ha サンショウ作付面積：80ha ダダイ作付面積：30ha [H26 到達点] ミヤマサコ作付面積：60ha サンショウ作付面積：80ha ダダイ作付面積：30ha [H25 到達点] ミヤマサコ作付面積：52ha → 実績 52.1ha サンショウ作付面積：65ha → 実績 50.8ha

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>ダイダイ作付面積：23ha → 実績 25.3ha</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンライフ土佐の通常総会開催(6/10)に向け、産振アドバイザー制度を活用して、財務諸表の分析、課題の抽出や総会資料作成を支援 ・越知町長の(株)ツムラ訪問に同行し、ヒューマンライフ土佐との関係強化や薬用作物の栽培促進について協議(5/22) ・(株)ツムラを訪問し、今後の設備整備について協議(8/8) ・ミシマサイコ H25 年度実証圃成績の生産者への周知(1回) ・ミシマサイコの実証圃での生育調査(継続、3ヶ所で実施) 実証内容：堆肥施用による収量への影響(2ヶ所) ショウガとの輪作による収量への影響(1ヶ所) (実証箇所数は、上記3ヶ所+被覆資材を用いた発芽促進(1ヶ所)の計4ヶ所) ・ミシマサイコ発芽状況・根収穫・根褐変萎凋症状実態調査 ・(株)ツムラとの情報交換会の開催(環境農業推進課、中央西農業振興センター) ・薬用作物現地検討会の開催(6/23、6/24、7/3、7/4 生産者、(株)ツムラ、ヒューマンライフ土佐、農業振興センター) ・(株)ツムラ、ヒューマンライフ土佐、越知町の良好な関係を維持するため、ツムラのCSR活動の企画・実施に参加 ・生育状況及び栽培管理の聞き取り調査(6/23(越知町)、6/24(大豊町、本山町)、7/4(宿毛市、大月町)) ・(株)ツムラ、ヒューマンライフ土佐、越知町の協議の場に農業振興部とともに出席(10/2)。新加工場の整備等について(株)ツムラから提案があり、支援メニューの導入を検討中 ・こうち農業確立総合支援事業の活用により新たな設備導入を行うため、産振アドバイザー制度を活用して事業計画策定を行った。 ・組織体制を農業生産法人に変更する方向での協議がスタート ・(株)ツムラとの新加工場等の整備に関する協議(3/13 農業振興部、地域本部、越知町) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬用作物の産地の育成 ⇒生産状況等の聞き取り調査 ⇒現地巡回、現地検討会による生産者指導と生産者拡大のための取組の周知 ・安定生産技術の確立 産地・生産者間の収量格差、発芽率が低いことによる欠株原因・栽培技術に関する知識の不足。特に新規産地では収量が低い傾向

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 4 力強い高糖度トマト産地の確立(仁淀川町、佐川町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A コスモス ・ J A コスモストマト生産部会 	<p>⇒農業振興センター・山間試験室での実証試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越知町、農業振興センターと連携した支援メニューの導入、(株)ツムラとの関係強化、ヒューマンライフ土佐の体制強化 ⇒産振アドバイザー事業を導入し、財務状況の把握、設備投資の可否、体制強化の検討 <p>[目標 (H27)]</p> <p>販売高: 5.1 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>販売高: 4.3 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売高: 4.5 億円 → 実績 3.9 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善、経営目標の策定指導(個別カウンセリングの実施、個別経営目標の作成支援) ・新規就農者の営農定着支援 ・栽培技術の向上及び病害虫防除の徹底(促成トマト・夏秋トマト栽培指導) ・8月の台風12号、11号により浸水被災したJAコスモス日高集出荷場の機械設備について、「攻めの農業実践緊急対策事業」を活用した整備が完成し、12/3～稼働。トマト選果ラインの高度化(軟化果実・芯腐れ果実の選別)が図られた。(事業費約2億6千万円) ・夏秋トマト出荷量: 95.4t (集計期間: 5/19～12/31 前年同期比: 119%) ・促成トマト出荷量: 143t (集計期間: 10/1～2/13 前年同期比: 109%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地コンセプトを理解し、実践できる農業者の育成 ・他産地商品との差別化した販売戦略の展開(夏秋トマトの規格外品「ふぞろいトマト」の系統販売)
<p>「森の工場」などによる木材の増産体制の確立</p> <p>■No. 13 仁淀川流域における木材産業の振興(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合 ・林業事業体 ・素材生産業者 ・製材業者等 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>素材生産量: 6.3 万³m</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>素材生産量: 6.0 万³m</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>素材生産量: 5.5 万³m → 実績 5.9 万³m</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材増産推進ワーキンググループ(林業事務所内に新設)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>による管内 24 事業体への聞き取り調査実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業説明会を開催し、新たな補助事業等の周知を徹底 ・仁淀川森林組合製材工場の集約化に向けた支援(6/9 完成) ・森の工場新規認定 1 団地。既設森の工場 9 団地の事業計画ヒアリング(6月) ・森林経営計画作成指導(4~9月:7事業体)を行い、3事業体(124ha)が新規認定された。 ・韓国建設企業団の産地商談会のサポート(4/17、5/27、7/3)。住宅用構造材及び内装材 1 棟分(ソウル市)を受注(6月)→住宅用構造材 1 棟分を高知新港より輸出(8/14)。現在、新たに 1 棟を受注見込み。 ・仁淀川町産木材や土佐漆喰等、県内の建築資材を使ったデザイン建築物の開発・販売促進の取組について、農商工連携基金助成事業の活用に向けた企業への支援を行い、採択となった(9/29)。 ・増産及び安定経営に向けた森林組合との定期協議(7/11、10/8、2/25) ・管内市町村の情報(意見)交換会(8/26、3/13) ・佐川町自伐型林業推進準備会への参加(8/5、9/2、10/30、1/8、2/6) ・人材育成(技術力向上)支援のため視察研修を開催(7/29 香美森林組合:2森林組合作業員 13名、9/17 とされいほく:2森林組合作業員 4名、4事業体 13名) ・次年度補助事業に向けた事業体との協議(10月~)の結果、池川木材工業にCLT向け製材工場を新設することとなった。 ・木質バイオマス勉強会の開催(11/27 市町村等 27名) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増産に向けた体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒林業事業体の増産能力、体制づくりの具体的な進捗状況や課題を把握するなど、事業体等との情報共有を図りながら、技術力向上を始めとする人材育成支援や、関係事業体が連携した施業体制づくり支援の強化等の取組を進める。 ・韓国での高知県産木材による住宅建築の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒産地商談会への同行支援など県の信用力を活用した取組を進める。 ・新たな製材工場を拠点とした木材加工力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒原木の安定供給を進めるため、事業体の出材体制及び仁淀川林産協同組合の集材体制を確立する。

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>「宇佐のうるめ」の消費拡大</p> <p>■No. 15 うるめのブランド化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・企業組合宇佐もん工房</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>うるめ商品の販売額：1億円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>うるめ商品の販売額：6,500万円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>うるめ商品の販売額：5,000万円 → 実績5,109万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25年度の売上：51,094千円(前年比140%) ・H26年度の売上(2月末)：56,746千円(前年比111.0%) ・土佐市内の飲食店が参加し、うるめを活用したメニューを提供する「一本釣りうるめ祭り」を開催(4月) ・各種イベント、商談会へ参加 ・観光振興部と地域本部が進める「食の旅行商品化」事業にアドバイザーを導入してWGを開催し、新商品開発に向けた協議と試作品づくりを実施 (7/17, 8/26, 9/18, 11/6, 11/20, 12/10) ・宇佐もん工房、土佐市、中央漁業指導所、地域本部で一本釣りうるめいわし漁師など漁業者の育成・確保等について協議(9/29, 12/5) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26年度売上目標6,500万円の達成に向けて、さらなる販路拡大が課題 ⇒積極的に見本市等に出展を行うとともに、新商品開発等に取り組み、販路拡大を目指す。 ⇒「一本釣りうるめ祭り」の参加飲食店等関係者の組織化(「一本釣りうるめいわし推進委員会(仮称)」設立3/10) ⇒「食の旅行商品化」事業による新商品のPR(お披露目会の開催3/25) ・売上の増加に伴い原材料であるうるめの確保が必要 ⇒漁業者との良好な関係を継続し、増産に対応する。また、漁業者の後継者確保に取り組む。 ⇒中央漁業指導所と一本釣りの仕掛けを噛み切るフグ対策に取り組む。
<p>「土佐和紙」の販売の促進</p> <p>■No. 16 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承(土佐市、いの町)</p> <p>《事業主体》</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>土佐和紙の販売額：6.6億円(現状の確保)</p> <p>[H26到達点]</p> <p>土佐和紙の販売額：6.6億円(現状の確保)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・手すき和紙協同組合 ・高知県製紙工業会 ・いの町商工会 ・i-nos.net 他 	<p>[H25 到達点]</p> <p>土佐和紙の販売額：6.6億円 → 実績 5.9億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手すき和紙職人の販路拡大を支援（伝統的工芸品等支援事業が採択される 8/1） ・いの町、紙の博物館、手すき和紙協同組合、製紙工業会、工業振興課、高知家プロモーション推進室、地域本部で土佐和紙のプロモーション、販路拡大等に関する協議を実施（8/12, 10/20, 2/16） ・「高知国際版画トリエンナーレ展（10/11～11/30 来場者数：7,985人（前回は：106.9%）」及び関連イベントの「土佐和紙職人市（トリエンナーレ展会期中の土日祝日 出展者数：10社（延べ33社）、売上：約278千円）」やいの町商工会が策定した中心市街地活性化プランと連携した「紙のまち博覧会（10/11～12/14 イベント数：13本、来場者数：延べ7,462人）」を実施 ・トリエンナーレ展は目標1万人は達成できなかったものの、関連イベントの開催など商工会や観光協会との連携により前回は上回る集客があった。協力体制が築けたことで紙の博物館と商店街を結ぶ一体的な取り組みの必要性や方向が見えてきた。 ・土佐和紙職人市は出展者、来館者ともに好評であった。事業者が消費者と直接触れ合い、消費者ニーズを把握する良い機会となり、事業者の商品づくりや接客等に対する意欲向上につながった。 ・「高知家統一セールスキャンペーン」(H26年度重点プロモーション品目「土佐和紙」)のプロモーション事業と連携 <ul style="list-style-type: none"> ※「ものづくり総合技術展（11/20～22）」における「2014 土佐和紙商談会 in 高知」を開催 参加企業：(株)東京鳩居堂、伊東屋、アイズカンパニー、デザイナー2名、東京都美術館学芸員（計6社） 参加県内事業者数：8社（土佐市・いの町） 商談結果：試作依頼5件、見積依頼3件 ※美術芸術関係誌への掲載、首都圏メディアへの情報配信、まるごと高知での版画展示などを実施 ・紙の博物館リニューアル準備会の開催 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手すき和紙職人の高齢化が進み、販路拡大のための営業活動が不十分となっている。 <p>⇒手すき和紙協同組合等と連携し、首都圏の美術大学や高級雑貨店等をターゲットに、版画・日本画の用紙や文房</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>具等としてPR やセールス活動を行う。</p> <p>⇒アドバイザーを導入し、現状の手すき和紙の流通の仕組みを把握、新たに販売戦略を検討する。</p> <p>⇒土佐和紙の知名度アップ及び産地をPR するイベント・企画展の開催を検討する。</p> <p>・H27 年に 30 周年を迎える紙の博物館の記念事業を契機とした館への集客と土佐和紙商品の販路拡大の取組強化</p> <p>⇒紙の博物館(展示物、販売コーナーなど)の魅力ある施設づくりを検討</p>
<p>仁淀川流域の広域観光の推進</p> <p>■No. 26「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川地域観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 ・いの町観光協会 ・越知町観光協会 ・さかわ観光協会 	<p>[目標(H27)]</p> <p>仁淀川地域観光協議会関連のツアー客数：730人 公共関連宿泊施設での宿泊者数：56,000人 主要観光施設の入込数：140,000人</p> <p>[H26到達点]</p> <p>仁淀川地域観光協議会関連のツアー客数：3,500人 公共関連宿泊施設での宿泊者数：54,000人 主要観光施設の入込数：138,000人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>仁淀川地域観光協議会関連のツアー客数：2,500人→実績3,660人 公共関連宿泊施設での宿泊者数：54,000人→実績46,703人 主要観光施設の入込数：138,000人→実績138,021人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26. 4/1～H27. 2/28の仁淀川地域観光協議会関連のツアー客数が3,752人(前年比115.7%)と引き続き数字を伸ばしている。 ・協議会主催の観光物産PR(岡山市「京橋朝市」に出展10/5) ・「仁淀川ひな回廊(H27. 2月中旬～3月中旬)」を実施中 ・ホームページ(7/15リニューアル)やツイッター等のインターネットツール、デジタルサイネージ(電子版サイン ※JR松山駅・JR高松駅・エミフルMASAKIにて写真家高橋宣之氏の動画放映)、パンフレット・マップ(個人・エージェント向け)による情報発信を実施 ・仁淀川地域観光協議会の直面している課題や今後の展開、広域観光組織の機能強化に向けた地域観光課との意見交換会を開催(9/17) ・広域観光組織の機能強化に向けた中長期計画のH26年度中

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>の策定を目指し、仁淀川地域観光協議会幹事会による WG を実施中 (2/17, 2/26, 3/5, 3/18)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県版ふるさと雇用事業を活用しているが、現行のプロパー職員の体制を維持するための H27 年度からの財源確保が課題 ⇒観光振興部による広域観光協議会に向けた新たな補助事業(広域観光推進事業費補助金)の補助要件となる中長期計画を H26 年度中に策定予定 ・ツアーの造成が進むことによって、オペレーション業務、現地でのアテンドや営業に向ける仁淀川地域観光協議会の人役が不足してきており、新規の旅行会社の開拓、ツアーの造成が困難になってきている。 ⇒H26. 12 月臨時総会にて、H27 に企画員を 1 名増とする予算案が承認 ・ツアーの造成数は順調に推移しているが、長期的に安定して誘客を行うためには、常に旅行会社やお客様に注目してもらえる楽しみ方の提案が欠かせない。 ・モニターツアーにおけるアンケートを活用し、観光客のニーズを的確に把握・分析する必要がある。 ⇒研修会等を通じて市町村や観光施設の担当者の意識の醸成を図る。また、定例の担当者会で素材の持ち寄りを行う。※「観光担当者研修会」(H27. 2. 19)開催

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 本川きじの販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品開発 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本川きじ生産組合 ・庭先農家 ・いの町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>本川きじの生産羽数 : 6,800 羽</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>本川きじの生産羽数 : 6,800 羽</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>本川きじの生産羽数 : 6,375 羽 → 実績 4,365 羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試作品開発、商談会出展、市場開拓調査、販売戦略策定に取り組むため、高知県中小企業団体中央会の「連携組織活性化支援事業(経営革新支援)」に申請し、交付決定される (H26. 10. 29)。 ・本川きじ生産組合の法人化に向けた協議を重ね、「本川手箱きじ生産企業組合」を設立 (H26. 12. 5)

取組	取組状況(結果、成果を含む)、課題と今後の対応
<p>■No. 17 集客施設を核にした高岡地区の活性化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 土佐市商店街活性化推進協議会等 	<ul style="list-style-type: none"> 法人化の第1弾企画として「きじ重」のお披露目会(27.1.20)を開催 新商品「きじ重」の販売に向けて準備中。委託販売先として、道の駅「木の香」に加え、「ドラゴン広場」、「村の駅ひだか」で販売中。 法人化の第2弾企画「きじ飯」を開発中 貯卵庫、脱毛器、液体型急速冷凍機などの生産設備の整備を町単独事業で実施(施設は町有。2/15工事完了) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上を伸ばすための新たな販路の開拓及び商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ⇒法人化に向けた経営計画の策定の中で、販売戦略を構築 ⇒東京都近郊の量販店、ホテル、飲食店バイヤー等への市場調査を実施(H27.2月) ⇒販売ツール(商品チラシ・パッケージ等)を制作(H27.2月) 安定した生産体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ⇒昨年の夏期の暑さによるダメージを踏まえ、孵卵率・飼育状況の把握と改善のため、中央家畜保健衛生所と連携して指導を行う。 <p>[目標(H27)]</p> <p>施設直販市での販売額:79,000千円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>施設直販市での販売額:62,000千円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>直販市の売上:62,000千円 → 実績42,581千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 土佐市、商工会、J A、地域本部のメンバーでドラゴン広場運営協議会(チームドラゴン会)を立ち上げ、運営改善に向けた協議を継続して実施 6月から産振アドバイザーを導入し、施設の管理、運営方法の改善に向けて助言を受けた(6~10月) 魅せる直販所アドバイザー事業(地域農業推進課)を活用し、POP作成の研修を実施(12/22,2/6) 来場者数:H26年度(4~2月)95,560人(前年比96.0%) 直販市の売上:H26年度(4~2月)37,418千円(前年比100.0%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ドラゴン広場は、地域の産品販売、観光情報発信、地域住民のコミュニティーの場といった役割を果たしているが、集客のための仕掛けづくりや、安定した施設運営のノウハウ

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 18 いの町商店街(仁淀川七色商店街)の活性化(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いの町 ・いの町商工会 	<p>ウ獲得が課題</p> <p>⇒ドラゴン広場運営協議会(チームドラゴン会)及びテナント会を定期的を開催して、集客と売上増の検討と実践を続ける。</p> <p>⇒魅力ある直販所とするため、レジ・陳列等の売り場全体のレイアウトの変更(7/16)、POP やのぼり旗等でさらに魅力ある売り場づくりを行った。</p> <p>⇒直販所の商品、出荷者を増やすため、集荷の仕組みづくりや出展者募集チラシを作成し、生産者等へ出展を呼び掛けた(8~9月)。今後も継続して取り組む。</p> <p>⇒JA とさし女性部や他のグループと連携し、惣菜・弁当などの加工品づくり及び販売に向け協議中</p> <p>⇒観光客等の満足度を高め売上増につなげるため、仁淀川流域の産品等による「お土産コーナー」を設置したが、設置目的や消費者目線の視点に立った品揃え等の改善が必要</p> <p>⇒イベント企画・開催によって集客を進めるとともに、今後も課題等に応じ、積極的に産振アドバイザー制度を活用して、店舗の魅力づくりや情報発信を行う。</p> <p>⇒商店街関係者を巻き込んだ取組(高岡商店街を舞台にした新イベント等)の開催</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>いの町商店街の空き店舗率:20%未満(H23 25.3%)</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>いの町商店街の空き店舗率:21%未満</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>いの町商店街の空き店舗率:21%未満 → 実績 21%</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度は、日本商工会議所の小規模事業者地域力活用新事業全国展開事業の実践の年であり、いの町中心市街地の再生に向け策定したプランをもとに取り組みを進める。 ・商工会、観光協会、紙の博物館、手すき職人、製紙会社、生産農家、飲食店等の実践者による協議を経て、「紙」、「職人」、「食」、「仁淀川」の4つをテーマにそれぞれの部会で商品開発やイベント企画を行い、「紙のまち博覧会」(H26.10/11~12/14 イベント数:13本、来場者数:延べ7,462人)を開催 ・いの町商店街を含む町内の飲食店(17店舗)が共通ルール(いの町産生姜を使用する、生姜を焼く、おもてなしを

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 地域産品を活用した冷菓等の製造販売 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(有)高知アイス</p>	<p>する)に基づいた生姜料理を提供する「～いのは生姜やき～なないろ生姜焼き街道スタンプラリー」を実施(11/22～12/20 ※来客者数:約950人、売上:約1,500千円)この取り組みが飲食店のやる気を引き出し、今後も同時期に継続して開催することが決定した。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国展開事業の最終(27)年度となるプランの実践に当たっては、プレーヤーとなる事業者や住民の参加が重要となる。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒中心市街地の活性化の実現のため、「紙のまち博覧会」を検証し、土佐和紙のPRと絡めたイベント・企画展の開催を検討する。 ⇒紙の博物館の30周年記念事業と連携し、商店街への誘客につなげるよう相互の協力体制の強化を図る。 <p>[目標(H27)]</p> <p>冷菓等の販売額:4.37億円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>冷菓等の販売額:4.31億円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>冷菓等の販売額:4.12億円→実績3.92億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直営売店でのH25年度売上12,238千円(前年比312%) ・販路拡大を目指し、海外(シンガポール、香港、アメリカ、マレーシア)の商談会等に積極的に参加 ・取得したハラール認証を生かしてマレーシアでの販路拡大の取組を実施 ・ジャパンケルヒース(H26.11/26～27)への出展を通して国内での取引先が増(5社)。シンガポールの問屋からの打アもあり交渉を継続していく。 ・ドバイガルフフードショー(H27.2.8～12)へ出展し、バイヤー10人、一般客約200人にセールスした。 ・売店がリニューアルオープン(H27.3/1)し、店長候補を募集中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外での販路開拓やハラール認証を生かした需要拡大に対応した生産設備の整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒冷凍保管庫を工場敷地内へ設置し、ストック容量の増と出荷作業の効率化、コスト削減を図る。(※) ・新たな海外販路の開拓 <ul style="list-style-type: none"> ⇒中東ドバイでの商談会に参加(※) ・冷菓等はシーズン商品のため、四季を問わず販売できるス

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 20(株)フードプランを中心とした農山村 6次産業化の推進(仁淀川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)フードプラン ・仁淀川町 	<p>イーツ等の販路拡大</p> <p>⇒新商品のパッケージと持ち帰り商品用手提げ袋のデザイン制作 (※)</p> <p>⇒新商品「いもパ(冷凍大学芋)」の販売戦略を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場視察、直営売店への来客者の増加に伴い、既存施設では来客者の満足度を十分満たすことができなくなっている。 <p>⇒売店の飲食スペース及び物販コーナーの増築 (※)</p> <p>⇒工場視察用の窓の設置 (※)</p> <p>(※) 産振総合補助金を活用して実施</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>販売額: 4.0 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>販売額: 5.2 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額: 4.9 億円 → 実績 4.8 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ事業(6/13 交付決定)の活用により、経営分析、経営計画づくりを行った。(第1回協議 7/23、経営分析のための基本調査・データ分析 7~8 月、経営分析中間報告 9/30、工場改築に係る課題の検討及び工場視察 11/14、成果報告 3/11) ・本格的な施設整備に先がけて、プロパー資金による改修工事を3月末を工期に行っている。 ・四国中小機構アドバイザーの支援によりブランド開発に取り組み、「TABLE*VEGI」シリーズの各種カット野菜を量販店で販売(H26.9月~) ・農商工等連携事業計画の認定を受けて(H26.10.15)ドレッシング(2種類)を開発 ・しょうが焼きのタレを開発し、野菜とのセット商品として量販店での販売を進めている。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現施設での生産能力が限界に達しており、需要に対する対応が不十分。経営計画に基づく会社運営がなされておらず、人材育成、組織体制の弱さも課題 <p>⇒経営コンサルタントの参画により作成した経営方針、経営計画に基づいて、カット野菜事業を継続しつつ利益率の高い商品の製造販売にチャレンジし、内部留保の確保に努める。また、町の活性化計画の内容と歩調を合わせて施設整備の内容を詰めていく。</p>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 売れる商品づくりによる地産外商の推進(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・JAコスモス ・佐川町商工会 ・企画本舗さかわ屋 ・地元酒造会社 ・地元乳業者 ・地元加工業者 ・黒岩じるし ・地元酪農家 など 	<p>⇒農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用した施設整備のため、仁淀川町が活性化計画策定を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カット野菜事業との2本柱となる商品の開発、販売 <p>⇒端野菜を活用した新商品の開発を進める。</p> <p>⇒中小企業庁の事業を活用したマーケティング調査や、スーパーマーケットトレードショー、FOODEX JAPAN 2016に出展し、販路開拓に取り組む。</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>生乳出荷量: 480t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>生乳出荷量: 380t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>生乳出荷量: 270t → 実績 326t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地乳プロジェクト会を定期開催し、新商品開発や販売促進の取り組み等を検討している。また、これまで課題だった地乳の商標管理のため9月11日に地乳商品認定要綱を策定し、25品目の商品を「ぢちちブランド」に認定した。企画本舗さかわ屋が作成したシールをこれらの認定商品に貼付することと合わせ、販促資材を作成して量販店での販促活動に活用するなど、PRの強化に努めた。 ・地元農産物を使用した加工品の開発等の検討 ・地元事業者が「佐川ものづくり支援事業補助金」を活用し、地乳や農産物等を使用した新商品(地乳アイス新製品、ニラ佃煮、紅茶を使った焼菓子等)の開発を進め、5商品が販売開始。 ・地元乳業者が「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」の活用により、牛乳の安定的な製造のための設備整備を昨年9月に行った。 ・乳業者を中心とした酪農家との関係強化や生産基盤の強化を進めるため、4軒の酪農家を訪問し、今後の取り組みへの意向確認等を行った。(12/1, 2) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高を伸ばすために地乳のブランド力を高めることが必要 <p>⇒乳業者を中心とした酪農家との関係強化や生産基盤の強化に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地乳を使った新たな商品開発や、地乳に対する消費者の認知度を再び上げることが必要 <p>⇒企画本舗さかわ屋から各事業者に配付された「さかわの</p>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 企業進出による雇用の増(ペット用木質系排泄物処理剤製造施設整備事業)(日高村)</p> <p>《事業主体》 ・(株)エスエス</p>	<p>地乳認定シール」の活用や、販促イベントでの販促資材の活用等により、地乳の認知度向上に取り組む。 ⇒佐川町や佐川町商工会、事業者等と連携し、地乳プロジェクト会等において新商品開発の検討を進める。 ⇒さかわの地乳をテーマにした販促イベントの企画を行う。</p> <p>[目標 (H27)] 販売額：9,000万円</p> <p>[H26 到達点] 販売額：4,000万円</p> <p>[H25 到達点] 販売額：4,000万円 → 実績 2,226万円</p> <p>[取組状況] ・日産 400 ケースを目指した生産体制の調整 ・OEM 先と連携した販路の拡大 ・OEM 先であるアース・バイオケミカル(株)から要望のあった原料・製品をストックする倉庫を、工場に隣接した場所に日高村が確保 (H26. 6 月から供用開始)</p> <p>[課題と今後の対応] ・OEM 先の販促による製品の売上向上や製造コスト削減の取り組みが重要 ⇒OEM 先の情報を得ながら、フル操業に向けた協議を進める。 ⇒現在、日産 320 ケース前後を供給している状況。今後も、海外への輸出拡大を含む OEM 先の販売促進の取り組みに合わせ、安定的な製造に取り組む。 ⇒生産量の安定に向け、従業員 1 名増を検討中 ⇒原材料(おがこ)の生産量の減や利用者の増により材料の調達が不安定となっているため、新たな供給先を検討中である。</p>
<p>■No. 25 直販市の機能強化(生産・出荷の拡大及び観光情報発信等)による地域の活性化(日高村)</p> <p>《事業主体》 ・日高村</p>	<p>[目標 (H27)] 施設での販売額等：103,200千円</p> <p>[H26 到達点] 施設での販売額等：65,170千円</p> <p>[H25 到達点] 体験型観光入込客数：15,700人 → 実績 12,500人</p> <p>[取組状況] ・産振アドバイザー制度で派遣したアドバイザーを村単独事業で確保し、運営体制の整備、PRやイメージ戦略の策定</p>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 33 歴史的風致維持向上計画の推進(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐川町 ・ さかわ観光協会 ・ 佐川町内の地域づくり関連団体 	<p>等、リニューアルオープンに向け準備を進めてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮店舗での営業開始 (H26. 5/29～) ・ 出荷部会設立 (H26. 6 月) ・ 公募により「駅長 (支配人)」を採用 (H26. 7 月) ・ 運営組織となる「株式会社村の駅ひだか」設立 (H26. 7/10) ・ 7 月から産振アドバイザーを導入し、直販所に隣接する農産物加工施設の改修計画及び H26. 11 月から販売する特産品 (トマトスープ 3 種、ソフトクリーム 3 種、乾燥野菜、鶏のから揚げトマトピューレ添え、芋スティック、お茶のスムージー、イタドリおにぎり、トマトようかん) が完成した。 ・ 産振総合補助金を活用した直販所「さんさん市 (新名称: 村の駅ひだか)」が H27. 11. 16 にリニューアルオープン (11. 1～プレオープン) し、新たな施設はこれまでの直販所の機能のほか、新たに観光情報発信コーナー、喫茶店、イトインコーナーを備えている。 ・ 「村の駅ひだか」の駐車スペースの拡大を検討中 ・ 来場者数 (レジ通過人数): H26. 11～H27. 2 月 58, 017 人 ※H27. 2/15 には来場者 (レジ通過人数) 5 万人達成 ・ 直販市の売上: H26. 11～H27. 2 月 57, 175 千円 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商品の品揃えと販売の仕組みの磨き上げ ⇒ 売上、来客数、売上ランキング、イベントなどを分析して品揃えを決定 ⇒ 商品確保に向けた生産者への周知、出荷者の増、集荷体制の整備を進める。 ⇒ 特色ある商品づくりやお客様がわざわざ来店する魅力的な加工品の開発や生活改善グループの高齢化に伴う日高みそ・のし餅等の特産品づくりの後継者育成に取り組む。 <p>[目標 (H27)]</p> <p>歴史的風致地区への入込客数: 10, 000 人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>歴史的風致地区への入込客数: 10, 000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>歴史的風致地区への入込客数: 10, 000 人 → 実績 9, 699 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐川町歴史的風致維持向上計画が H30 年度までの 5 年間延長となり、竹村家分家旧竹村呉服店の修復・保存事業や、

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 34 越知町の総合的な観光推進と地場産品の販売促進(越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おち駅運営協議会 ・越知町観光協会 ・JAコスモス ・越知町 など 	<p>司牡丹酒造(株)1号蔵他酒蔵群修復・保存事業が新規メニューとして追加された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち歩き観光ガイド(NPO法人 佐川くろがねの会)利用者数が大幅に増加(H24年度:1,339人→H25年度:2,986人→H26年度4月~27年2月:4,314人)(前年同期比163.2%) ・多くの観光客をご案内しているNPO法人 佐川くろがねの会が、産振アドバイザー制度を活用して観光ガイド養成研修を実施し、ガイドの増員やガイド台本基本編2種(携帯版、詳細版)の作成等、くろがねの会の基盤強化につながった。 ・佐川町観光振興を推進するために必要となっている関係機関の役割分担や連携等を進めるため、産振アドバイザー事業を活用して、さかわ観光協会及び佐川町役場の研修を実施した。(観光協会9/8、29、10/27)(佐川町役場10/4) ・事務局体制の強化を図るため、さかわ観光協会が事務局長を全国公募により採用することとなった(H27年度~)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さかわ観光協会を中心とした佐川町の物産販売や情報発信、地域発の観光メニューづくりの強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒浜口邸での物産販売、観光情報発信機能の整備 ⇒住民参加による牧野公園植栽計画の推進 ⇒さかわ観光協会が中心となって、佐川くろがねの会との連携により、歴史的町並みを活用した体験観光づくりを進める。 ⇒佐川町上町地区でのにぎわいを、町内に広げるための戦略づくり ・佐川町の観光振興に向けた関係機関の役割分担と機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒産振アドバイザー制度の活用による、佐川町のリーダーシップ、さかわ観光協会のおもてなしの質の向上 <p>[目標(H27)]</p> <p>施設での販売額:6,000万円 体験メニューの造成:6メニュー 案内人養成数:6人 ラッピングインストラクター数:8人</p> <p>[H26到達点] 施設での販売額:6,300万円</p> <p>[H25到達点] 施設での販売額:6,000万円 → 実績 6,278万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おち駅物販経営協議会(毎月1回開催)による販売体制の

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>強化に向けた協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カヌー、ラフティング 救命救急講習 5 名 (4/12) ・カヌー、ラフティング インストラクター養成講座 7 名 (7/1、2) ・カヌー、ラフティング の利用者 (H24 年度: カヌー 282 人、ラフティング 530 人→H25 年度: カヌー 840 人、ラフティング 998 人→H26 年度 4 月～10 月: カヌー 439 人、ラフティング 711 人) <p>※台風 12 号、11 号等夏場の天候不順が影響し、カヌー・ラフティングの利用者は前年比 63%と大幅にダウン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザー制度を活用した情報発信力向上講座 (Facebook を活用した情報発信) の開催 5 名 (6/2、25) ・横倉山案内人養成講座の開催 20 名 (6/26、7/15、8/19、9/17、10/22、11/19、12/16、1/11、2/10、24) ・カヌー・ラフティング 拠点施設の整備に向けて適地調査を実施し候補地の絞り込みを行った。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒おち駅物販経営協議会において月次単位で販売動向の分析等を行い、販売現場の状況を反映したタイムリーな売上向上に取り組む。 ⇒産振アドバイザーの指導を活かし、POS システムデータを活用した商品別・生産者別の売り上げ状況の分析や出荷者へのフィードバックの取り組みを進める。併せて、POP の活用や商品の並べ方等による客単価の向上など、顧客目線のサービス提供に取り組む。 ⇒年間の売上状況を出荷者に提供することで計画的な栽培・出荷を促進していく。 ⇒会員の加入促進により商品の確保に取り組む。 ⇒近隣市町村の直販所オープンに伴う影響への対策について、関係者で検討を進める。 ・体験観光メニューの充実等 <ul style="list-style-type: none"> ⇒横倉山案内人養成講座を開催することにより、地域資源を活かした体験型観光のメニューを充実させる。三嶽古道コースは花の時期等にお試し案内を実施し、H27 年度中の商品化を目指していく。 ⇒カヌー・ラフティング 拠点施設の整備に向け、観光拠点等整備事業費補助金を活用して施設整備計画を策定する。

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 35 屋形船を活用した拠点施設の整備による交流人口の増と地域の活性化(日高村)</p> <p>《事業主体》 ・日高村</p>	<p>[目標 (H27)] 体験型観光入込客数：23,500人</p> <p>[H26 到達点] 体験型観光入込客数：16,200人</p> <p>[H25 到達点] 体験型観光入込客数：15,700人 → 実績 12,500人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在3隻運航を行っているが、仁淀川漁協総会にて5隻運航が承認され、船舶確保等の準備中 ・乗船者数：H24年度1,785人(5/6～)、H25年度3,277人、H26年度(4～2月)3,082人(前年同期比：98.4%) ※台風12号、11号の影響により8月の乗船者数は大幅に減少(8/24まで運休、予約キャンセル286人) ・仁淀川地域観光協議会による旅行会社へのセールス ・発着場に近接した河原への遊歩道整備工事(村単独事業)を発注(H27.3.20完成予定) ・屋形船の発着場敷地内への公衆トイレ整備工事(村単独事業)が完了 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光の視点だけでなく、地域コミュニティの場づくりを含めた拠点施設の整備が必要 ⇒役場内でのプロジェクト会議での検討や、地域住民との合意形成による施設整備を進める。 ・ツアー客に対応できる集客力の向上と情報発信 ⇒5隻(うち予備1隻)運航での利用人員の増 ⇒冬期の利用客増に向けた対策を検討する。 ⇒産振アドバイザーを導入し、発着場及び船内等でのおもてなしや案内ガイド等の充実を図る ⇒他の観光資源と連携したパッケージでのセールスやイベントの開催 ⇒村内の観光資源PRのためのツールの作成や「村の駅ひだか」での情報発信 ⇒屋形船のホームページやブログを再構築して情報発信の強化を検討する。
<p>■No. 37 生姜等加工品製造施設整備事業(いの町)</p> <p>《事業主体》 西村青果(株)</p>	<p>[目標 (H27)] 生姜等加工品の販売額：276百万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川地域本部会議(9/1)及び仁淀川地域アクションプランフォローアップ会議(9/3)を経て、産業振興計画フォ

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>ローアップ委員会(9/12)において地域アクションプランへの位置づけについて承認される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 産振総合補助金事業採択申請にかかる事前ヒアリング(西村青果、町、計画推進課、地域本部)(10/28) 産振総合補助金事業採択申請書類の提出(11/19) 産振総合補助金事業審査会(12/19)において承認、事業採択(1/7) 産振総合補助金事業交付決定(10/8) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工期、完成期限を踏まえた工程管理を行う。

2 平成26年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 20(株)フードプランを中心とした農山村6次産業化の推進(仁淀川町)</p> <p>※交付決定 6/13</p>	<p>仁淀川町のカット野菜事業については、カット野菜の需要の増加により現施設での生産能力が限界に達し、受注できない状況が生じている。この課題解決のため、施設整備に向けた事業計画書の作成や投資可能な財務環境づくりを目指して専門家に経営分析等を委託し、指導・助言を得ることにより、課題を明確にし、その解決を図る。</p>	<p>3,527 (1,633)</p>
<p>■No. 19 地域産品を活用した冷蔵等の製造販売(いの町)</p> <p>※交付決定 10/8</p>	<p>販路拡大に向けた冷凍庫等の生産設備の整備や海外の商談会に出展するとともに、ツアー客など観光客の満足度の向上のため、売店及び工場施設を観光拠点施設として整備することで、新たな雇用の創出や地域産品(原材料)を供給する生産者の所得向上につなげる。</p>	<p>39,373 (18,208)</p>
<p>■No. 37 生姜等加工品製造施設整備事業(いの町)</p> <p>※交付決定 1/26</p>	<p>生姜・ユズ皮の保冷施設及び生姜の塩蔵タンクの新設により、生姜等の増産及び加工品の生産性を図り、顧客からの受注に対応できる安定的な生産体制を確立することで、いの町内の生姜生産者等の所得向上及び、地域の雇用拡大につなげる。</p>	<p>140,119 (50,000)</p>

3 県民参画に向けた取組

- ・いの町商工会総会で土佐MBAの紹介 (5/20)
- ・日高村商工会総会で土佐MBAの紹介 (5/21)
- ・土佐市商工会総会、越知町商工会総会で土佐MBAの紹介 (5/23)
- ・いの町観光協会総会で県の観光動向、仁淀川流域への入込等について説明 (5/26)
- ・いの町商工会賀詞交換会で地域アクションプランの事例紹介 (1/9)
- ・商品開発や経営改善を目指す事業者等への土佐MBAの紹介 (4件)

4 相談案件：17件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/9	建築・木材販売加工	仁淀川町産木材や土佐漆喰等、県内の建築資材を使ったデザイン住宅の開発及び販売促進
2	5/28	農産物等販売	農産物直販所の拡充整備
3	6/3	食品加工	ケールの生産者確保及び乾燥機器の導入
4	6/6	食品加工	ブラックベリーの加工・販売体制の確立
5	6/18	食品加工	お茶のスイーツの加工施設や経営体制の充実強化
6	6/24	食品加工	生姜加工施設の建設
7	6/26	食品加工	カット野菜の洗浄施設の整備
8	7/9	畳縁加工販売	畳縁を使った製品の販売促進
9	7/15	食品加工	ブルーベリーを活用した菓子の製造開発
10	8/21	水産加工	水産加工品の流通・販売促進
11	9/24	農業	パプリカ生産拡大による新規就農者育成
12	9/26	水産	天然アサリ再生にかかる垂下式養殖の事業化
13	10/23	水産加工	水産一次処理加工場の建設
14	10/24	紙製品販売	農産物・加工品等の和紙包装資材の販売促進
15	12/24	農産物販売	ミネラルメロンの知名度向上及び販売促進
16	1/5	食品加工	和ハーブ等地域農産物を活用した商品の開発販売
17	2/27	農業	薬用作物栽培の取り組みへの参画

高幡地域アクションプランの進捗状況等

H27. 3. 19
高幡地域本部

1 地域アクションプランの平成26年度（第4四半期）の進捗状況等（総括）

(1) 総評

全47項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うことにより、それぞれのプランの目標の達成を目指して取り組みを進めている。

昨年4月にオープンした（株）四万十ドラマの「おちゃくりカフェ」とJA四万十の農家レストランを併設した直販所「みどり市」の2つの施設については、夏場の天候不順等により一時的な売上の落ち込みが見られたが、9月以降は回復傾向にあり、運営に関してさらなるブラッシュアップや、広報や誘客等の工夫を図りながら目標達成に向けて健闘している。

また、12月に産業振興推進総合補助金審査会で採択された野見湾の養殖カンパチの販路拡大のための水産加工施設の整備については、年度内の完成に向けて順調に工事が進んでいる。

JA土佐くろしおによる地域農業活性化の取組では、県内で5番目となるJA出資型法人「みのり」が今年4月に設立される予定であり、水稻の作業受託による耕作放棄地対策等に取り組むための体制づくりを進めているほか、他のアクションプランにおいても、産業振興アドバイザーや各関係機関の支援策を活用しながら、商品開発や販路拡大等に挑む動きが活発化している。

観光分野では、「2016奥四万十博」（平成28年4月10日～12月25日）の開催に向けて、昨年12月3日に「奥四万十博推進協議会」を立ち上げ、博覧会の基本計画や予算等が承認された。5市町をモチーフにしたポスターが完成し、県外へのセールス活動も積極的に行うなか、久礼大正町市場の食べ歩きクーポンが大手旅行会社の商品に掲載されるなど、博覧会本番を見据えて着々と準備が進められている。

また、須崎市で検討が進められている「須崎市産業振興計画」については、関係事業者からのヒアリングや市民からの意見募集等を経て、今年度内の策定に向けて取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

①地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
まとまりのある産地づくり ■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上（須崎市、中土佐町、津野町） 《事業主体》 ・JA土佐くろしお ・JA四万十	[目標 (H27)] 主要農産物販売額（ミョウガ）：H27 園芸年度 56.8 億円 [H26 到達点] 主要農産物販売額（ミョウガ）：H26 園芸年度 56 億円 [H25 到達点] 主要農産物販売額（ミョウガ）：H25 園芸年度 53.8 億円 →実績 55.9 億円 [取組状況] ・現地検討会、目慣らし会等（60回開催）

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 2 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立(梶原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA津野山</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培及び低コスト現地実証圃の調査・検討(34カ所) ・IPM技術実証圃の調査・検討(11カ所) ・排液及び循環型処理装置の実証・検討(11カ所) ・H26園芸年度ミョウガ販売実績 58.6億円 →H27目標値を上方修正予定 60億円 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>栽培技術の定着化 ⇒実証圃の調査・検討の継続実施、技術マニュアル等の作成</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>農協取扱主要品目売上:5.9億円 所得400万円以上の農家数:5戸</p> <p>[H26到達点]</p> <p>農協取扱主要品目売上:5.6億円 所得400万円以上の農家数:5戸</p> <p>[H25到達点]</p> <p>農協取扱主要品目売上:5.3億円→実績5.0億円 所得400万円以上の農家数:4戸→実績5戸</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培指導等 栽培講習会13回、現地検討会8回、実証圃・モデル園設置5カ所、個別巡回指導等96回 ・所得400万円以上の農家数 6戸 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>平坦地なみの所得をあげるための進捗管理 ⇒個別巡回指導等の継続実施</p>
<p>■No. 3 基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA四万十</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>ニラ販売金額:10億円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>ニラ販売金額:9.3億円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>ニラ販売金額:9.3億円→実績8.1億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地検討会等の開催 ミョウガ 11回、ピーマン12回、ニラ32回、露地ショウガ 12回、露地シシト 3回 ・JAと連携した品目別経営分析説明会(ミョウガ、ピーマン、ニラ、キュウリ、水耕レタ、ショウガ、アスパラ)の開催 参加率52%

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 6 大野見米のブランド化(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中土佐町 ・JA 四万十 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザーの導入(7/4、2/6) ・米ブランド化アドバイザーによる現地検討会の開催(9/22) → 「にこまる」首都圏米穀店への販売: 9t ・ニラ販売実績(参考) H26 園芸年度 8.4 億円 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>収量・品質の向上</p> <p>⇒こうち新園芸システムと連携した取り組みにより、現行栽培技術の検証と新たな技術組立による更なる収量・品質向上</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>エコ米販売量: 20t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>エコ米販売量: 10t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>エコ米販売量: 3t → 実績 4.5t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おおのみエコロジーファーマーズ」総会(2回)及び執行委員会(4回)の開催 ・教育現場との交流活動(3回) ・イベント、企業(社員食堂等)等への販促活動(10回) ・ネット販売の実施 ・ホームページの更新(2/25 現在) 116回 アクセス 4,783回 ・真空パック機及び色彩選別機等の導入 ・H26 年産エコ米販売量 約 12.5t <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者グループの組織強化及びエコ米販売数量の確保 ⇒生産者及び作付面積の拡大、栽培技術の向上 ・ブランド化戦略の構築 ⇒安定的な販路の確保・拡大、地域資源(どぶろく等)の商品化や地域での交流活動の推進(飲食店開業の検討等)
<p>■No. 8 つの茶販売戦略(津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA 津野山 ・津野町 	<p>[目標(H27)]</p> <p>茶販売額: 69,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>茶販売額: 62,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>茶販売額: 57,800 千円 → 実績 44,792 千円</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産組合総会(2回) ・JA津野山の茶生産組合と葉山茶生産組合の統合再編にかかわる関係者協議(10回) ・茶工場改修計画の策定及び補助金協議(10回) ・ボトルティー開発協議(工業技術センター)(1回) ・販売促進イベント(48回) ・かぶせ茶の試験栽培及び商品開発 かぶせ茶パウダー、かぶせ茶みるく豆、茶ビール等 ・新規顧客の開拓 66件(商談中12件) ・H26茶販売額見込み 51,986千円 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番茶の消費拡大と高付加価値化 ⇒加工品の商品開発による新たな需要の開拓 ・次世代担い手対策 ⇒生産面積維持のため地域作業受委託の仕組みづくり
<p>森を活かす取組</p> <p>■No.17「四万十ヒノキ」のブランド化を主体とした地域森林資源の有効活用(中土佐町、四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町森林組合 ・須崎地区森林組合 ・四万十町内製材業者 	<p>[目標(H27)]</p> <p>四万十ヒノキのブランド品販売 :原木9,000m³、製品売上高2.7億円 FSC等認証森林面積:5,700ha FSC認証材製品売上高:20百万円 JAS認定工場:1社増設</p> <p>[H26到達点]</p> <p>四万十ヒノキのブランド品販売 :原木9,000m³、製品売上高2.7億円 FSC等認証森林面積:5,700ha FSC認証材製品売上高:12百万円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>四万十ヒノキのブランド品販売 :原木7,000m³、製品売上高2.5億円 →実績 原木8,486m³、製品売上高3.8億円 FSC等認証森林面積:5,644ha→実績5,650ha FSC認証材製品売上高:10百万円→実績10百万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外商活動(1月末)261回(県内148回、県外113回) ・四万十ヒノキブランド化協議会等の開催(4回) ・四万十ヒノキロゴマークの作成 ・製品売上高(1月末)2.3億円 前年同期比109%

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 18 「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進 (栲原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A津野山 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客のニーズに応じた商品の開発・改良 ⇒販売力の高い商品の開発、販売方法の検討 ・ ブランド化の推進による付加価値の向上 ⇒四万十キノキログマークの積極的な活用 <p>[目標 (H27)]</p> <p>乾燥シイタケの販売量：11t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>乾燥シイタケの販売量：10t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>乾燥シイタケの販売量：8.9t→実績 6.6 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県椎茸品評会、全農全国椎茸品評会への出展 ・ 産業振興アドバイザーによる講演、助言指導の実施(1回) ・ ほだ場現地検討会、講習会等(6回) ・ 生産者部会による販売戦略の検討(1回) ・ 乾燥シイタケの販売量見込み 5.9 t <p>[課題と今後の対応]</p> <p>1億円産業に向けた戦略の策定 ⇒ J A担当者や生産者部会と協議</p>
<p>■No. 21 循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用(栲原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栲原町森林組合 ・ 栲原町 ・ ゆすはらペレット(株) 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>木材生産量：5,000 m³</p> <p>認証材の販売量：1,600 m³</p> <p>ペレット原材料の調達：3,900t</p> <p>ペレット生産量：1,700t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>木材生産量：3,000 m³</p> <p>認証材の販売量：1,500 m³</p> <p>ペレット原材料の調達：3,900t</p> <p>ペレット生産量：1,700t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>木材生産量：2,800 m³→実績 2,013 m³</p> <p>認証材の販売量：1,400 m³→実績 1,486 m³</p> <p>ペレット原材料の調達：3,900t→実績 2,854 t</p> <p>ペレット生産量：1,700t→実績 1,411 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業活動(1月末)90回(県内44回、県外46回) ・ ペレット生産に関する協議(10回)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 30 シイラ加工の生産体制の強化 (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・興津漁協四万十マヒマヒ丸企業組合 ・興津漁協 	<p>社7回)、タウン誌等(10回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おちゃくりカフェ」(4/26~1/31) 売上高:28,363千円 来店者数:9,365名 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>生産者部会の組織強化と集荷体制の確立</p> <p>⇒・特選栗の認定基準見直しによる買取価格の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集荷事業の導入 <p>[目標(H27)]</p> <p>加工品販売金額:15,000千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>加工品販売金額:15,000千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>加工品販売金額:15,000千円→実績12,690千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常総会開催(6/4) ・水産加工業者との意見交換(2社) ・加工業者との商談(1回) ・イベントへの出店(1回) ・従業員の常勤雇用(2名) ・加工品販売金額(2月末):15,029千円(前年比123%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な原魚の確保及び経営管理、生産体制の強化 ・新規取引先の確保 <p>⇒原魚の不足時における他所からの購入、 水産加工業者等と連携した販路拡大の取り組み</p>
<p>■NO. 31 シイラ加工食品の生産拡大 (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)けんかま 	<p>[目標(H27)]</p> <p>フィレ取扱数量:34t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>フィレ取扱数量:25t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>フィレ取扱数量:25t→実績17t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうち農商工連携事業によるアドバイザーの招聘(12回) ・フィレ取扱数量:8.06t(前年同期比47%) ・シイラを使った竹輪(1月末) <p>本数:2,125,915本(前年同期比100.0%)</p> <p>売上:33,786千円(前年同期比73.1%)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■NO. 34 「中土佐のうまいもん食わしちやお」 商品開発プロジェクト（中土佐町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画・ど久礼もん企業組合 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 競合他社製品との差別化を図る仕掛け ⇒量販店との商談など営業力の強化 新たなマーケットへの展開 ⇒新商品の開発に向けた検討 <p>[目標 (H27)]</p> <p>開発する商品数：5 商品 売上高：28,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>開発する商品数：2 商品 売上高：28,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>開発する商品数：2 商品→実績 3 商品 売上高：28,000 千円→実績 34,801 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工商品の開発（2 商品） 「鯉のおかずしょうが」「おじゃこラー油（仮称）」 売上（1 月末）店舗：7,353 千円（前年比 120.2%） 全体：28,469 千円（前年比 91.7%） 商談会及び営業活動（17 回） イベント等への出店（16 回） 取材、視察対応（11 回） ホームページのリニューアル（8/1～） 産業振興アドバイザーの導入（5 回） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>マーケティングによる経営強化と販路開拓 ⇒新たな商品づくり（店舗前販売）と販促活動の強化</p>
<p>6 次産業化への取組等による拠点ビジネス</p> <p>■No. 36 津野町地産地消・外商販売戦略 （津野町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさとセンター 津野町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>高知店販売額：90 百万円 総販売額：162 百万円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>高知店販売額：90 百万円 総販売額：160 百万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>高知店販売額：90 百万円→実績 87 百万円 総販売額：156 百万円→実績 154 百万円</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 37 四万十町拠点ビジネス体制の強化 (四万十町) 《事業主体》 ・(株)あぐり窪川 ・四万十町</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知店販売額(十津店、瀬戸店、満天の星マルシェ) 売上高(2月末): 80,220千円(対前年比103.7%) ・総販売額(上記高知店3カ所及び町内3カ所) 売上高(2月末): 136,708千円(対前年比98.8%) ・直販所連絡会(2回)、関係者経営会議等(6回)での売上高の分析、改善強化などを実施 ・生産者直販システム改修検討会(5回) ・イベントの実施(9回) <p>※(株)満天の星 売上高(2月末): 171,760千円(対前年比: 96.5%) 新商品の開発: 茶茶、茶ぼたん、白星大福</p> <p>[課題と今後の対応] 高知店、直販全般の戦略見直し ⇒外部専門家への委託による販売戦略の再構築 生産者直販システムの機能向上</p> <p>[目標(H27)] 地域産品・土産品等の磨き上げ及び新商品開発 : 5品目以上 道の駅あぐり窪川販売金額: 4.2億円 アンテナショップ販売金額: 4.5千万円 常勤雇用者数: 3名</p> <p>[H26 到達点] 地域産品・土産品等の磨き上げ及び新商品開発 : 5品目以上 道の駅あぐり窪川販売金額: 3.5億円 アンテナショップ販売金額: 4.4千万円 常勤雇用者数: 3名</p> <p>[H25 到達点] 地域産品・土産品等の磨き上げ及び新商品開発 : 5品目以上→実績5品目以上 道の駅あぐり窪川販売金額: 3.5億円→実績3.2億円 アンテナショップ販売金額: 4.3千万円→実績4.1千万円 常勤雇用者数: 3名→3名</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅あぐり窪川(12月末)売上高: 229,807千円 (前年同期比86.9%) ・アンテナショップ しまんとマルシェ「四万十の蔵」 売上高(2月末): 38,833千円(前年同期比106.7%)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤雇用者数：4名 ・拠点ビジネス運営協議会総会、臨時総会（3回） ・販促イベントの実施（8回） ・生産者向け「蔵ニュース」の発行（30回） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>情報発信機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒産地とアンテナショップとの定期的な交流・アンテナショップ等の運営体制の検討 ⇒アンテナショップ機能の再構築
<p>中心市街地の賑わいづくり</p> <p>■No. 32 大正町市場商店街活性化事業(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正町市場組合 ・中土佐町商工会 ・中土佐町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>大正町入込客の増加 (浜ちゃん食堂) : 28,000 人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>26,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>26,000 人→実績 24,118 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜ちゃん食堂入込み客数 (1月末) : 18,217 人 (前年比 87.4%) ※6月、1~2月に臨時休業有り ・大正町市場組合に地域おこし協力隊を導入 ・百円市イベント開催による地元客による賑わいづくり (毎月第4金曜日) ・空き店舗の活用 : 新たに2店舗出店 ・アドバイザーを招聘し商店街活性化に向けたワークショップ等の実施 (3回) ・第5回地域再生大賞優秀賞受賞 (全国の新聞社等主催) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地元住民の参画による商店街活性化と情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒関係機関と連携した仕組みづくりとフェイスブックの活用
<p>滞在型、体験型観光の推進</p> <p>■No. 38 高幡地域における広域観光の推進(高幡地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高幡広域市町村圏事務組合 (高幡広域観光推進本部) 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>主要観光施設入込客数 : 372,000 人</p> <p>宿泊者数 : 40,000 人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>主要観光施設入込客数 : 367,370 人</p> <p>宿泊者数 : 39,421 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 39 須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市観光協会 ・NPOすさきスポーツクラブ 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要観光施設入込客数 (1月末) : 266,293人 (前年度比 : 73.5%) ・宿泊者数 (1月末) : 31,810人 (前年度比 : 85.0%) ・高幡広域観光推進本部会の開催 (5回) ・奥四万十博推進協議会の設置 (12/3) ・博覧会本部会の開催 (2回)、講演会の開催 (1回) ・県外へのセールス活動 (20回) ・関東圏等の旅行会社を招いたモニターツアーの実施 (9/4, 5) ・ブランド化アドバイザーによる旅行商品の磨きあげ (9/10, 11) を行い、大手旅行会社パンフレットに久礼大正町市場食べ歩きクーポンが掲載 (H27.4~10月) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>博覧会インフォメーションセンター及び各市町サテライト設置による情報発信機能の強化 ⇒各市町観光担当課との連携強化</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>民泊受入世帯数 : 100世帯 教育旅行受入数 : 10,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>民泊受入世帯数 : 100世帯 教育旅行受入数 : 5,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>民泊受入世帯数 : 100世帯→実績 61世帯 教育旅行受入数 : 5,000人→実績 5,176人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民泊受入世帯の新規開拓訪問件数 : 40軒 ・民泊受入世帯数 : 12軒増加 (合計 72軒) ・教育旅行等受入数 : 32件 2,412人 (2月末) うち民泊受入 : 1校 115人 ・観光アドバイザーによる民泊研修会の開催 (4回) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>民泊受入世帯の増加 ⇒受入世帯 100世帯に向けた営業活動の実施</p>
<p>■NO. 43 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり (四万十町)</p>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>ホビー館の1年間入場者数 : 50,000人 常勤雇用者数 : 3人</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十町 ・ (株)海洋堂 ・ (株)奇想天外 	<p>[H26 到達点]</p> <p>ホビー館の1年間入場者数：50,000人 常勤雇用者数：3人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ホビー館の1年間入場者数：50,000人→実績 65,395人 常勤雇用者数：3人→実績 3人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入館者数 2月末 41,311人 (対前年比 66.3%) のべ入館者数 256,548人 (H23.7.9～H27.2.28) ・ 常勤雇用者数 5人 ・ 団体客誘致のための営業専属スタッフの雇用 (1名) ・ 企画展開催 (6回) <ul style="list-style-type: none"> 「昭和の面白コレクション 高橋俊和 ぼくのタイムスリップ展」H26.3.21～H26.6.16 「漫画コーナー」H26.3.21～H27.3.31 「松村しのぶ ネイチャーワールド」H26.7.5～H26.9.1 「友永詔三展」H26.9.13～H27.1.12 「まん喫、まんが王国・土佐展」H27.1.21～2.25 「海洋堂ジオラマ大作戦」H27.3.21～6.1 (予定) ・ イベントの開催 (13回) ・ 広報活動 (10回) <ul style="list-style-type: none"> ※海洋堂かっぱ館入場者数 20,768人 (5.20～7.19 臨時休館) のべ入場者数 106,020人 (H24.7.7～H27.2.28) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり ⇒ 観光協会や地元団体等との連携強化

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 直売所・農家レストランを核とした 「地消地産」の推進 (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 四万十 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>産直コーナーの販売金額：180 百万円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>産直コーナーの販売金額：165 百万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>産直コーナーの販売金額：160 百万円→実績 141 百万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みどり市リニューアルオープン (4/3～) ・ 産直コーナーの販売額 (1月末) 126.1 百万円 (前年比 104%) ・ 手づくりキッチン販売額 (1月末) 24.5 百万円

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・営農支援センター四万十(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ・レジ通過客数 184,737人(前年比125%) ・「みどり市」運営に係る検討会(6回) ・「手づくりキッチン」運営検討会(34回) ・加工研修会(8回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のJAと連携した直販部門の品揃えの充実 ・手づくりキッチンの商品の磨きあげと収益性の向上 ⇒直販所アドバイザーの活用と経営分析の実施 <p>[目標(H27)]</p> <p>施設稼働率:90%</p> <p>移住者数:15組</p> <p>[H26到達点]</p> <p>施設稼働率:90%</p> <p>移住者数:15組</p> <p>[H25到達点]</p> <p>施設稼働率:90%→実績97.4%</p> <p>移住者数:8組→実績17組</p> <p>[取組状況](2月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラインガルテン四万十の入居状況 滞在型22棟 うち利用:全棟 日帰型16区画 うち利用:15区画 ・お試し滞在住宅運営状況 大正中津川:5組、広井:4組 ・移住相談窓口の増設(土日、祝日対応) 相談件数 本庁:378件 サテライト:97件 計475件 空家調査(33回) ・日帰り移住ツアーの実施(1回) ・空家中間管理制度の導入及び町内募集:改修決定3軒 ・移住実績 16組26人 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>入居者の移住に繋がる仕組みづくり ⇒地域住民との交流促進、サポート体制の整備</p>
<p>■No. 26 浦ノ内湾産養殖マダいの販路拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協深浦支所 ・土佐鯛工房 	<p>[目標(H27)]</p> <p>販売数量 土佐鯛工房:約8万尾 乙女会:約5.5万尾</p> <p>[H26到達点]</p> <p>販売数量 土佐鯛工房:7.5万尾 乙女会:5万尾</p>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・乙女会</p> <p>・(株)大東冷蔵</p> <p>・(有)小島水産</p> <p>■NO. 29 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・中土佐町</p>	<p>[H25 到達点]</p> <p>販売数量 土佐鯛工房： 7万尾→実績 7.5万尾</p> <p>乙女会 : 4.5万尾→実績 4.5万尾</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループによる県内・外各地への販促活動 <ul style="list-style-type: none"> 商談会への参加(3回:高知県内、東京、広島) 県外量販店で直売会開催(5回:山口、奈良、大阪) ・養殖協業化に関する関係者協議(5回) ・販売数量(1月末)土佐鯛工房約6.9万尾(前年比116%) 乙女会 約4.4万尾(前年比126%) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>ブランド魚(海援鯛、乙女鯛)の安定した販売先の確保 ⇒積極的な営業活動の実施</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>商品販売高 25,000千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>商品販売高 14,962千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「びんび鯉のタタキ」予約販売(1月末) <ul style="list-style-type: none"> 216セット 1,723千円(前年比:113.3%) ・「びんび鯉のタタキ」をイベントでPR(9回) <ul style="list-style-type: none"> 東京、大阪、岡山、高知龍馬空港、各県人会 ・「びんびめじか」販売実績 14店舗 443千円(前年比:78.3%) <ul style="list-style-type: none"> 県外飲食店(東京)に新規納入 ・三越特招会、トドクック通信販売で新規取扱(期間限定) <ul style="list-style-type: none"> 189セット 1,987千円 ・商談:3回(神戸、東京、大阪) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販路拡大と商品開発 ⇒商談会への参加とアドバイザーの活用</p>

2 平成26年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 26 浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大 (須崎市) ※ステップアップ事業(水産振興部対応)	・販促資材作成、販路開拓のための 営業活動の実施	952(442)
■No. 22 津野町森林・林業再生プロジェクト (津野町) ※ステップアップ事業	・AB材搬出の未利用材(CD材や林地 残材等)を有効利用した木質バイオ マスの製造及びボイラー施設の導入 の可能性調査	3,984(1,992)
■No. 25 野見湾産養殖カンパチの販路拡大 (須崎市)	・水産加工施設、設備等の整備	18,371(8,487)

3 県民参画に向けた取組

○産業振興計画シンポジウムのPR、案内(5月)

- ・須崎市広報誌への掲載
- ・地域アクションプラン事業者、地域団体(JA、森林組合、商工会議所、観光協会等)、
金融機関、民間事業所等への案内

○JA津野山での第2期計画Ver3の説明(4/28)

○土佐MBAへの参加の働きかけ

(株)アースエイド、桐島畑、(株)十和おかみさん市 など

4 相談案件：12件

NO	相談日	事業種別	相談内容
1	4/12	食品加工	地域原材料を活用した商品開発
2	4/28	水産業	陸上養殖について
3	5/8	食品加工	豚肉の加工事業について
4	5/17	食品加工	桜酒について
5	6/6	農業	直販所の整備について
6	6/14	食品加工	栗の葉の活用について
7	9/9	農業	大豆等の地域資源の活用について
8	9/11	農業	直販所及び調理室の改修について
9	12/10	食品加工	有機野菜の集荷、加工施設の整備について
10	12/24	食品加工	からすみの製造拡大について
11	1/26	食品加工	有機野菜の加工商品の表示について
12	2/24	食品加工	靴商品の販売戦略、ブランド化について

幡多地域アクションプランの進捗状況等

H27. 3. 19

幡多地域本部

1 地域アクションプランの平成26年度（第4四半期）の進捗状況等（総括）

(1) 総評

アクションプラン47案件は、アドバイザー制度の活用や農林水産物加工分野の販路拡大等、事業者の地産外商に向けた意識が一層高まっており、また、産業振興推進総合支援事業費補助金を活用して事業規模の拡大などに着手する案件があるなど、全体的に順調に進捗してきた。

農業分野では、三原村のユズの産地化の取組が6年目を迎え、栽培面積の拡大が進むとともに果実生産も増加し、移住促進施設を利用した新規就農者の育成やU・Iターンの受入にも取り組んでいる。宿毛市では、集出荷場整備による洋ラン製品の集積効果が出始め、販売促進が順調に進んだ。

林業分野では、大月町の製炭事業において、本年度に大月町単独事業で窯3基が整備され、計10基がH27年3月から稼働し始めた。これにより、生産量・販売量の増大が見込まれ、大月町の新たな産業としての基盤が、一定確立された。

水産業分野では、土佐清水市や黒潮町の民間事業者が、加工場新設による衛生管理面の強化や生産効率を向上させる取組を進め、産業振興推進総合支援事業費補助金の導入により事業拡大を図った。

商工業分野では、「道の駅なぶら土佐佐賀」が昨年4月にオープンして以来、目標を上回る入客数、売上を記録しており、幡多地域の東の玄関口として、観光情報発信基地の役割も担いつつ、適宜の改善を図りながら拠点ビジネスを展開していく。

観光分野では、幡多広域観光協議会が実施する広域観光ブランド化事業により、地域団体の連携効果を更に強化しながら、民間事業者と協力して新たな観光メニューの検討や体験プログラムの磨き上げを進めており、幡多広域観光の魅力アップを一層推進していく。

(2) 具体的な動き

①地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
安定した農業経営体づくりと地域に根ざした有望品目づくり ■No.1 水稲と露地野菜を基幹とした水田農業の担い手育成（幡多地域全域） 《事業主体》 ・JA高知はた	[目標(H27)] ・販売額1,500万円以上の農業経営体数 10経営体 [H26到達点] ・5経営体 [H25到達点] ・3経営体 → 実績4経営体 [取組状況] ・大規模志向農家ネットワークの拡大16名→18名 ・ネットワークメンバーのうち栽培面積拡大4名、省力化機械の導入1名

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 2 洋ランのブランド確立・流通促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蘭遊六志会 ・ 石田蘭園 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブロッコリー大規模経営に向けた研修会の開催 9 回 ・ 生産者交流会の開催 1 回 (10/23) ・ 販売額 1,500 万円以上の農業経営体数：5 経営体 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>ネットワークを活かした大規模農家の育成 ⇒品目別経営モデル、農家作業管理システムの周知 農地集積と雇用確保</p> <p>[目標 (H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高 128,300 千円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高 105,900 千円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高 108,600 千円 → 実績 69,194 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蘭遊六志会 (6 名) <ul style="list-style-type: none"> →石田蘭園が提案した商品を日比谷花壇が採用 →第 11 回国際フラワーEXPO (IFEX) に参加 (10/15~17) →高知県洋蘭生産組合トレードフェア 2014in 大阪を開催 (11/4)：取引市場や小売店 74 社 109 人が来場し、9,479 鉢、30,725 千円売上 (1/28 時点) →JPEC フラワーショー 2014in 香港に出展 (12/5~7) し、香港 (50 鉢、切花 30 本)、シドニー (切花 750 本)、ベルギー (切花 50 本) へ出荷 →蘭遊六志会として、正月用の蘭商品の共同販売 ・ 石田蘭園 <ul style="list-style-type: none"> →石田蘭園の取組み記事を高知新聞が掲載 (8/10) →石田蘭園のHP公開 (9/26) →「高知の花展示商談会 in 東京 2015」(1/26) に出展 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販売促進 ⇒市場や消費者のニーズに応じた新商品の開発 ⇒集出荷施設での出荷可能量の検討及び体制づくり ⇒効率的な配送体制の構築</p>
<p>■No. 5 三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (公財) 三原村農業公社 	<p>[目標 (H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培面積 50ha、果実生産量 400t、販売金額 (農家手取額) 27,500 千円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培面積 37ha、果実生産量 120t、

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・三原村 ・J A高知はた 	<p>販売金額(農家手取額) 18,000千円</p> <p>[H25到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培面積 37ha → 実績 32.5ha、 果実生産量 120t → 実績 115.8t、 販売金額(農家手取額) - → 実績 17,363千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業 6名、起業支援型事業 3名、地域人づくり事業 10名雇用 (公社職員 H25:14名→H26:21名) ・ユズの青果出荷率向上対策にかかる共同選果施設(建物)の建築 →産振総合補助金(事業採択 9/4、交付決定 10/2) →選果機テスト調査の実施(愛媛県、12/5) ・研修施設整備で後継者育成 →県立農業大学校、農業振興センターと連携開始 →県農業担い手育成センターと農業公社研修希望者との面談(11/20、12/8) →受入れ実績(12月末現在):2名 ・販路開拓 →九州の清涼飲料水メーカーへの継続出荷の契約 ・ユズ加工品(新商品「ユズゆべし」)のPR活動(県内・東京・大阪・名古屋)(5/31、6/11、27) →26年度商品化に向けたパッケージ等の製作 ・ユズの青果率向上に向けた栽培技術講習 (4/28、5/28、6/27、7/15、7/30、8/28、9/26、10/28、11/28、1/28、2/18、2/27) ・ユズの共同選果体制の推進(品質向上) →青玉果の目慣らし会の開催(8/28、11/4) →ユズこしょう用果実の目慣らし会の開催(9/4) ・栽培面積 36.5ha、果実生産量 102t、販売金額(農家手取額) 16,665千円(3月末見込) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>ユズ産地拡大と後継者育成 ⇒青果率向上(現状:15.4%→目標:農業公社出荷30%)</p> <p>獣害(シカ、ウサギ等)対策の規模拡大</p> <p>共同選果機、搾汁機等の導入(H27整備予定)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 直七の生産、加工、販売の促進(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産組合 ・直七の里(株) ・直七酒販(株) 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量 200t <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量 150t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量 70t → 実績 103t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で1名を雇用 ・販売促進 <ul style="list-style-type: none"> →CGC東海、北陸、関西、中国での販売決定(ポン酢) →大手物流会社との取引決定(イトーヨーカドー全店。他にフジ、マルナカ、ドラッグストアーなど) →セブンアイホールディングスの冬ギフト(ポン酢(500ml)4本セット) →551蓬萊(豚まん)でのポン酢(通年) →高知県出店予定のセブンイレブンへの出品(お惣菜、デザート) →バナソニック店舗の年末景品(ポン酢10,000本) →高島屋、三越にてポン酢及びごまドレッシング →セブンイレブン新店舗(四国内)での惣菜のタレへの活用決定(果汁) →日進オイリオの夏のギフトへの採用決定 →カゴメの野菜生活(8/25~10/31販売)への採用が確定(果汁) →坂田信夫商店との取引開始(果実) ・H26 収穫量: 130t ・生産組合の法人化 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>新商品の開発や他社とのコラボレーション企画の検討 直七果実生産量の拡大</p>
<p>■No. 28 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)しまんと美野里 ・四万十川を良くする会 ・四万十市 ・西土佐商工会 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量 8t ・原材料(生栗)の仕入量 12t <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量 6t ・原材料(生栗)の仕入量 10t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量 6t → 実績 3.1t ・原材料(生栗)の仕入量 10t → 実績 7.1t

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者持続化補助事業を導入(全国商工会連合会事業) <ul style="list-style-type: none"> →インターネット活用による販路開拓(eコマース) →HPリニューアル(9/1)、オンラインショップ開設(9/16) ・焼栗の実演販売開始(9月～西土佐ふるさと市、あぐり窪川等) ・商談会への参加(県内3回、東京2回) ・起業支援型地域雇用創造事業(～11/30)により雇用した1名の継続雇用及びふるさと雇用による1名の雇用継続 ・外商販売に関するアドバイザー招聘(全国商工会連合会専門家派遣事業)2回 ・自社栗園への植樹300本(3月) ・原材料(生栗)仕入量:6.5t(H25:7.1t) <ul style="list-style-type: none"> →加工内訳(原材料ベース):焼栗2,150kg、ペースト2,000kg、パウダー50kg、剥き栗700kg、蒸し栗100kg 来年度用ストック:1,500kg <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原材料の確保 ⇒集荷の継続実施</p> <p>出荷まで至っていない栗の発掘(契約農家の新規開拓、栽培管理収穫支援等)</p> <p>商品ラインナップの見直し ⇒利益率の高い商品の絞り込み</p>
<p>森林資源の活用促進</p> <p>■No.9 森の工場・間伐の推進(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の認定を受けた事業体 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の木材生産量20,000m³ <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の木材生産量18,000m³ <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の木材生産量20,000m³ → 実績11,850m³ <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場を新たに3工場設立(11月末現在:23地区) ・木材生産性の高い(株)とされいほくへの視察研修(9/29) ・高性能林業機械(ラジコン式自走搬機)1台導入 ・木材生産量(4月～12月) <ul style="list-style-type: none"> A, B材:6,538m³、C材:2,019t

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 「四万十の家」と地域産ヒノキの販売の推進（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>基盤整備推進による木材生産性の向上 ⇒作業道路整備、高性能機械の導入</p> <p>[目標 (H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四万十の家」着工戸数 30 戸 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四万十の家」着工戸数 25 戸 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四万十の家」着工戸数 25 戸 → 実績 38 戸 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市産材利用促進事業の継続実施（受付件数 28 件） ・四万十市広報誌で「四万十の家」を掲載 ・四万十ヒノキブランド化推進協議会総会開催（8/19） ・もくもくランド（10/25～26）、幡多山もりフェス（11/9）へ出展 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>四万十ヒノキのPR強化 ⇒四万十ヒノキブランド化推進協議会会員市町村間の連携の推進及び各種イベントへの参加</p>
<p>■No. 11 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業（大月町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月町備長炭生産組合 	<p>[目標 (H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備長炭販売量 240t、生産窯 20 基、生産者 20 人 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備長炭販売量 129t、生産窯 7 基、生産者 8 人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備長炭販売量 107t → 実績 79.8t 生産窯 9 基 → 実績 7 基 生産者 9 人 → 実績 8 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量 (H26. 4～H27. 3 月) : 75. 7t (見込) (去年同期 : 81. 5t) →新規窯 3 基の増設工事のため ・販売額 (H26. 4～H27. 3 月) : 26, 792 千円 (見込) (去年同期 : 27, 126 千円) ・山主及び山師への還元 (H26. 4～H27. 3 月) : 10, 512 千円 (見込) ・ふるさと雇用事業で 1 名を雇用 ・四国、関西にて直売等セールス活動 (6 月, 10 月, 2 月) ・大月町臨時議会 (7/10) にて窯 3 基分の補助決定 (町単) →窯 3 基の建設 (7 月着工、3 月完成) <p>計 10 基</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>組織体制の強化 ⇒大月町備長炭生産組合の法人化</p> <p>販路拡大 ⇒セールス活動日数の増加</p> <p>窯増設による原木確保 ⇒地元伐採業者との安定した原木供給の契約</p>
<p>安定した漁業生産を目指す取組</p> <p>■No. 15 宿毛近海の水産資源を活用した地域 ブランド確立・推進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》 ・(株) 沖の島水産</p>	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 68,670 千円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 60,060 千円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 50,000 千円 → 実績 71,580 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高(H25.7~H26.6): 71,580 千円(対前年 170%) ・月別売上高 <ul style="list-style-type: none"> →H26.10: 10,410 千円(前年同月比 396%) →H26.11: 12,770 千円(前年同月比 301%) →H26.12: 20,830 千円(前年同月比 260%) ・「目指せ! 弥太郎商人塾」で H26 受講済 ・産振総合補助金導入による加工施設の建築(6/2 完成) ・県外催事等への出展による販促活動 <ul style="list-style-type: none"> →居酒屋産業展(7/29~31)(東京) 6 件成約 →東京シーフードショー(8/20~22)(東京) 10 件成約 →ファベックス関西(10/8~10)(大阪) 3 件成約 →スーパーマーケットトレードショー(2/10~12)(東京) 5 件成約 →ジャパン・インターナショナル・シーフードショー大阪(2/19~20) 5 件商談中 ・取引開始件数(H26.4~H27.2月): 44 件 ・総従業員数が 14 名に増加(来年度 4 名採用予定) ・関連会社との連携により加工作業マニュアル策定中 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>人材育成 ⇒「目指せ! 弥太郎商人塾」への従業員の受講</p> <p>商品開発 ⇒市場、消費者ニーズの調査</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 35 カツオ文化のまちづくり事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町商工会 ・黒潮町 ・高知県漁協 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口 18,000 人 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口 17,000 人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口 18,000 人 → 実績 22,000 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮一番館の休館日(火曜日)を利用した「びりびり市」の開催継続(1月末 28回、451人來場) ・土佐さがのもどりカツオ祭開催(10/18 10,000人) ・道の駅「なぶら土佐佐賀」との連携協議(月1回開催) ・タタキの実演販売PR:15回 ・新メニュー(カツオカレー)の開発・販売開始(2/18~) ・黒潮一番館入込客数(1月末):9,471人(前年同期:11,636人 81%) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>カツオ文化のまち佐賀の周知 ⇒メディアを活用したPRや町内外イベントでのPR活動</p> <p>道の駅との連携 ⇒道の駅と定期的に協議を行い、小鉢商品の提供やタタキの実演販売等を実施</p>
<p>地域産物を活用した6次産業の振興</p> <p>■No. 4 6次産業化推進による地域農業振興事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)大月農園 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高:35,000千円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高:30,000千円 <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25 売上高(H25.6月~H26.5月)18,204千円 ・緊急雇用事業で2名を雇用 ・ケール:冬の収穫用として苗を随時植付(9~10月) ・コガネセンガン:作付準備作業(2.0ha) ・紅はるか(紅芋):作付準備作業(2反) ・生姜(大生姜+サンゴ生姜)の植付(2反弱)(4~5月) →収穫(12月)→12月から随時出荷(6t) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>複合経営の確立</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 地域活性化のための魚加工・販売体制の強化・推進(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・すくも湾漁業協同組合</p>	<p>⇒母体事業である建設業とバランスの取れた経営</p> <p>⇒農作物の生産量の安定と品質向上</p> <p>⇒加工品(生姜ドレッシング等)の販売促進</p> <p>出荷先との連携強化</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍フィレ 30t、冷凍キピナゴ 15t <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍フィレ 36.6t、冷凍キピナゴ 10t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍フィレ 19t → 実績 20t ・冷凍キピナゴ 10t → 実績 1.7t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量 <ul style="list-style-type: none"> 冷凍フィレ 12t (H26. 4~1月) 冷凍キピナゴ 0.8t (H26. 4~1月) ・ふるさと雇用事業で4名を雇用(加工3名、輸送1名) ・取引先 46社(東京の学校給食含む) <ul style="list-style-type: none"> →横須賀の学校給食用に22千食(1.3t)のブリ切身を納入 ・高知県内外の病院、学校給食用に継続して営業を実施 ・経営改善 <ul style="list-style-type: none"> 日々の「生産高-仕入額」について漁協の関係職員が情報共有できるように改善(目標60千円/日)(6月~) →6~1月(操業日数159日) →「生産高-仕入額」7,728千円(目標の81%) ・東京シーフードショー(8/20~22)にて、冷凍キピナゴ等を出品 ・大阪シーフードショー(2/19~20)にて、スモークさばのオリーブオイル漬け等を出品 ・真空包装機を導入 <ul style="list-style-type: none"> →漁業生産基盤維持向上事業補助金(12/2) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>収益性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒主力商品であるキピナゴバラ凍結の安定的な生産と作業効率の向上 ⇒利益率の高い商品の開発及び販路開拓

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ピアサーティー 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 2.7 億円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 2.2 億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 2.0 億円 → 実績 2.02 億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 <ul style="list-style-type: none"> →H26.4月～1月: 218,346 千円(前年比: 140%) ・宿毛湾産の魚使用量 <ul style="list-style-type: none"> →H26.4月～1月: 50,364 kg(前年比: 67%) ・鮮魚加工商品(冷凍フィレ等)を「五穀」系列チェーン店に出荷 ・産振アドバイザーの導入(1回目: 10/16、2回目: 2/28) <ul style="list-style-type: none"> →齋藤章雄氏(日本料理「しち十二候」代表・総料理長) ・中国輸出に向けた現地視察(大連: 8/2～4) <ul style="list-style-type: none"> →商談会: 青島「2014 中国国際漁業博覧会」(11/5～7) ・ピアサーティーグループ新店舗「沖の島龍神丸」の1号店オープン(11月: 福岡県) ・自社レストランで「春の鯛祭 高知県宿毛湾産」開催(3月～4月) ・大阪シーフードショー出展(2/19～20) ・工場名称の変更: 五穀さかな工房→宿毛さかな工房 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 新商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ⇒アドバイザーの継続導入 衛生面管理の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒HACCPの取得等 生産及び販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒冷蔵庫の確保及び新施設整備の検討 中国輸出に向けた輸送検証及び販売可能性調査
<p>■No. 14 民間企業との連携による水産物の販路拡大(宿毛市・大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくも湾漁業協同組合 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚供給高 1.19 億円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚供給高 1.19 億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚供給高 1.03 億円 → 実績 0.21 億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚供給高(4～3月(見込)): 15,590 千円(前年比 77%)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 直七の生産、加工、販売の促進(宿毛市)(再掲)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産組合 ・直七の里(株) ・直七酒販(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出(職員2名、パート5名):2月末現在 ・鮮魚を使用した加工(惣菜)商品の製造出荷が順調 ・水産物地産外商推進事業費補助金活用 <ul style="list-style-type: none"> →養殖ブリフィレ加工に関する先進地視察(熊本県天草:4/25~26) →養殖ブリフィレ試験加工開始(5月) <ul style="list-style-type: none"> (菌検査、残留抗生剤、放射能検査等も実施) ・ブリフィレ加工品の出荷(5~10月:40,232尾、157.2t) ・高知県食品高度衛生管理手法認定申請(1商品) <ul style="list-style-type: none"> →26年1月取得 ・漁業生産基盤維持向上事業の導入 <ul style="list-style-type: none"> →真空包装機及びヘッドカッターを整備 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原魚の安定確保</p> <p>⇒すくも湾漁協の冷凍施設を活用し、適宜冷凍保管</p> <p>養殖ブリフィレ加工の体制強化</p> <p>⇒機器整備による加工能力の向上(水産基盤整備事業で対応予定)</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量200t <p>[H26到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量150t <p>[H25到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量70t →実績103t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で1名を雇用 ・販売促進 <ul style="list-style-type: none"> →CGC東海、北陸、関西、中国での販売決定(ポン酢) →大手物流会社との取引決定(イトーヨーカドー全店。他にフジ、マルナカ、ドラッグストアーなど) →セブンアイホールディングスの冬ギフト(ポン酢(500ml)4本セット) →551蓬萊(豚まん)でのポン酢(通年) →高知県出店予定のセブンイレブンへの出品(お惣菜、デザート) →パナソニック店舗の年末景品(ポン酢10,000本) →高島屋、三越にてポン酢及びごまドレッシング →セブンイレブン新店舗(四国内)での惣菜のタレへの活用決定(果汁)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 地域の素材を活用した「おいしいもの」づくり(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幡多美味工房、地域事業者等 	<ul style="list-style-type: none"> →日進オイリオの夏のギフトへの採用決定 →カゴメの野菜生活(8/25~10/31販売)への採用が確定(果汁) →坂田信夫商店との取引開始(果実) ・H26収穫量:130t ・生産組合の法人化 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>新商品の開発や他社とのコラボレーション企画の検討 直七果実生産量の拡大</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発8アイテム、取引先数5社 <p>[H26到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発17アイテム、取引先数4社 <p>[H25到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発10アイテム → 実績 17アイテム <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出 <ul style="list-style-type: none"> →自社雇用2名 ・宿毛まるごと産業祭&B級グルメフェスタに参加(11/16) ・新商品の開発(H26.4月~H27.3月):4アイテム <ul style="list-style-type: none"> →イカ飯串(土佐清水市から仕入れたイカを使用) ・東京の取引先へのスイーツ納品 <ul style="list-style-type: none"> →ゲームイベントで販売する、プリンの上に乗せるキャラクタービスケットの作製(1万枚) ・オリジナルの商品(野菜ジャム:なす、かぼちゃ、トマト、キビナゴの燻製)を自社販売ルートで販売中 ・OEM生産 <ul style="list-style-type: none"> →ゆずの塩だれ(JA高知はた):月1,000本以上 ・幡多地域の生産者と連携した新商品 <ul style="list-style-type: none"> →プリン(国産百花ハチミツを使用) →土佐ジローミンチ肉 ・ペットショップからの商品開発依頼 <ul style="list-style-type: none"> →ペットフード(はちきん地鶏を使用) ・開発商品アイテム数 19アイテム、取引先数 7社 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>加工施設の新設と加工機械の導入・増設 きびなごバラ凍結の販売 ⇒宿毛市が推進する「きびなご丼」事業との連携による販売促進</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)土佐清水元気プロジェクト ・土佐清水市 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む)70人 ・地元農産物等の活用100t ・売上額2.5億円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む)56人 ・地元農産物等の活用85t ・売上額2億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む)56人 → 実績56人 ・地元農産物等の活用120t → 実績75t ・売上額1.8億円 → 実績1.28億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事等での販促PR活動(東京2回、大阪1回、県内25回) ・商談会等への参加(東京5回、大阪2回、愛知1回、埼玉1回、兵庫1回、高知1回) → スーパーマーケットトレードショーで「宗田ダシ小夏ノンオイルドレッシング」がフード30選に選出 ・OEM生産の継続(1月末現在) → 11社、12アイテム 売上3,600千円(前年同期比173%) ・下ノ加江冷凍施設での一次加工開始(事業主体:県漁協、運営主体:元気プロジェクト) → 2月中旬以降の約半月間で、商品ベース1.2t(原魚ベース4t)、800千円の納品 ・新商品リキュール2種(小夏・芳香パイン)販売(7/26~) ・雇用者(臨時・パートを含む)(2月末実績)57人 ・地元農産物等の活用(1月末実績)76t ・売上額(1月末実績)0.98億円 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>業務用(一次加工)商品の販売拡大 ⇒ 一次加工処理施設の整備による作業効率の向上、生産量の拡大 水産事業者との連携</p>
<p>■No. 25 土佐清水発!宗田節が良くでる加工施設整備・販路拡大事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ウェルカムジョン万カンパニー 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高36,000千円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高30,000千円 <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 26 地元農産物を使った商品開発事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略及び衛生管理面の強化に向けて、産業振興アドバイザーを招聘(5/14、5/23、7/18、10/31) ・商談会等への参加(県内4回) ・催事等での販促PR活動(東京4回、徳島1回、県内3回) ・産振補助金の事業採択(加工施設の新設等)(8/7付)、交付決定(11/7) ・売上高(1~12月末実績)47,600千円(前年同期比約84%、前々年同期比:214%) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>1 アイテムに頼りきった商品構成 ⇒新商品の開発</p> <p>生産量の拡大及び衛生管理面の強化 ⇒加工施設の規模拡大(産振補助金を導入)</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発15アイテム <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発13アイテム <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発13アイテム → 実績12アイテム <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ商品(JA高知はた)、ぶしゅかん商品(チームぶしゅかん)、かりんとう(LLPしまんと)、ギョーザ(土佐四万十本舗)の4プロジェクトを推進 ・各種イベントでの販促活動(47回) ・商談会への出展(14回) ・検討チーム会の開催(チームぶしゅかん、LLPしまんと) ・四万十市農商工等連携プロジェクト事業報告会(7/24) ・市単産振補助金を活用してぶしゅかんの皮むき機を導入 ・新商品の開発8アイテム 計20アイテム ・農業創造セミナーへの参加(LLPしまんと) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販路の拡大 ⇒新商品の開発、各種イベント等でのPR</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 28 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト(四万十市)(再掲)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)しまんと美野里 ・四万十川を良くする会 ・四万十市 ・西土佐商工会 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量 8t ・原材料(生栗)の仕入量 12t <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量 6t ・原材料(生栗)の仕入量 10t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量 6t → 実績 3.1t ・原材料(生栗)の仕入量 10t → 実績 7.1t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者持続化補助事業を導入(全国商工会連合会事業) <ul style="list-style-type: none"> →インターネット活用による販路開拓(eコマース) →HPリニューアル(9/1)、オンラインショップ開設(9/16) ・焼栗の実演販売開始(9月～西土佐ふるさと市、あぐり窪川等) ・商談会への参加(県内3回、東京2回) ・起業支援型地域雇用創造事業(～11/30)により雇用した1名の継続雇用及びふるさと雇用による1名の雇用継続 ・外商販売に関するアドバイザー招聘(全国商工会連合会専門家派遣事業)2回 ・自社栗園への植樹300本(3月) ・原材料(生栗)仕入量:6.5t(H25:7.1t) <ul style="list-style-type: none"> →加工内訳(原材料ベース):焼栗2,150kg、ペースト2,000kg、パウダー50kg、剥き栗700kg、蒸し栗100kg 来年度用ストック:1,500kg <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原材料の確保 ⇒集荷の継続実施</p> <p>出荷まで至っていない栗の発掘(契約農家の新規開拓、栽培管理収穫支援等)</p> <p>商品ラインナップの見直し ⇒利益率の高い商品の絞り込み</p>
<p>■No. 37 水産物加工施設整備事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)土佐佐賀産直出荷組合 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用5名 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用1名

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 38 防災関連新産業創造事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町 ・(株)黒潮町缶詰製作所 	<p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用3名 → 実績 新規雇用1名 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略及び衛生管理面の強化に向けて産業振興アドバイザーを招聘(5/8、5/29、7/17) ・「きびなごフィレ」がテレビ番組(6月放送旅サラダ)で取り上げられたことにより注文が殺到(約1,200個) ・こうち生協でのカタログ販売(昨年からの毎月2~3アイテム掲載) ・良品工房・オカッテ(都内)にて産直フェアの開催(7/2~7/9):自社商品を使用したランチを提供しながら、販促活動の実施 ・(株)五味商店開催商談会へ参加し、商談成立2件(7/24) ・産振総合補助金の事業採択(加工施設の新設)(8/7付)、交付決定(10/2)による建築着手 ・売上額(3月~2月)83,000千円(前年同期:73,085千円) ・「むらおこし特産品コンテスト(全国商工会連合会)」できびなご魚醤が審査員特別賞を受賞(きびなごフィレ、きびなごペーストに続き3年連続の受賞) ・取引業者数75社(2月末)(H25:70社) ・雇用者数:常勤7名、パート3名(新規雇用0) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>生産量の拡大及び衛生管理面の強化 ⇒加工施設の規模拡大(産振補助金を導入)</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高74,000千円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高32,400千円 <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災関連産業交流会に加入(5/1) ・缶詰工場の作業手順書、管理シートを作成し運営 ・10社と商談中 ・日本缶詰協会主催の基礎技術講習を2名受講 ・食物アレルギーコントロールプログラム研修の実施(4/10~11) ・缶詰新商品が5アイテム完成し、町内の道の駅2ヶ所で販

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>売開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練用(8/31)に缶詰5,000個を町に納品 ・町から備蓄用に缶詰20,000個を受注 ・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業交付決定(12/1)→シーマー整備(順次、充填機等を整備予定) ・高知ビジネスチャレンジ基金優良賞受賞(支援金200万円) ・H27.4月から予定していた(株)良品計画との取引を延期(新たに導入した機械への対応や新規雇用が増えたことから、習熟期間が必要との判断による。) ・東京駅内の「ニコリーナ」で缶詰4アイテムの販売開始(3/4～) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>商品の完成及び人材育成 ⇒レシピが確定している商品から順次、ラベルデザインや賞味期限、商品価格を決定 ⇒研修の充実</p> <p>防災関連製品の認定及び販路開拓</p>
<p>地域再生への総合的な取組</p> <p>■No.23 土佐清水市地域再生計画(大岐地区等の開発計画)(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐食(株) ・土佐清水市 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む)200人 ・地元水産物の活用2,800t ・売上額15億円 <p>[H26到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む)195人 ・地元水産物の活用3,500t ・売上額17億円 <p>[H25到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む)200人 → 実績195人 ・地元水産物の活用3,300t → 実績3,500t ・売上額17億円 → 実績16.8億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会等への参加(台湾1回、東京2回、千葉1回、兵庫1回、広島1回、仙台1回、県内1回) ・5/16に道の駅「めじかの里 土佐清水」の指定管理者となり、7/19リニューアルオープン ・雇用者(臨時・パートを含む)(2月末実績)197人 ・地元水産物の活用(1月末実績)3,000t ・売上額:14.1億円(1月末実績)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 30 西土佐拠点ビジネス推進事業(売り出せ西土佐プロジェクト)(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 ・西土佐商工会 ・地域事業者等 	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>食品の更なる販路拡大 ⇒新商品の開発及び販促活動</p> <p>原魚の確保 ⇒漁協、加工組合、加工業者、行政が一体となった対策の検討</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品数 14 商品 ・雇用者数 正規 2 人 + α <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品数 21 商品 ・雇用者数 正規 2 人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品数 15 商品 → 実績 18 商品 ・雇用者数 正規 2 人 → 実績 2 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で 2 名の雇用継続(既存直販市)、地域人づくり事業を導入し 1 名雇用 → 雇用者数 3 名 ・岐阜県多治見市、埼玉県熊谷市とのアツイまち対決(7月～9月)の実施(1位 多治見市、2位 熊谷市、3位 四万十市) ・新商品の開発: 4 商品 計 22 商品 ・西土佐ふるさと市組合(道の駅の指定管理予定団体)の総会で法人化を承認 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>道の駅の整備及び運営体制の構築 ⇒林業関連(木材活用)補助金の協議 ⇒道の駅整備検討会、幹事会で検討 ⇒地域をマネージメントできる人材の育成</p>
<p>■No. 31 拠点ビジネスの推進(大月町まるごと販売事業)(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一財)大月町ふるさと振興公社 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上額 2.5 億円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上額 2.05 億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上額 2.0 億円 → 実績 1.82 億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出(移住関連 1 名、情報発信 1 名の計 2 名) ・道の駅の販売金額

重点的な取組

取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応

■No. 36 佐賀地区の地域資源を活用した拠点
ビジネスの推進(黒潮町)

《事業主体》

- ・(株)なぶら土佐佐賀
- ・黒潮町

- 売上額：H26.4～2月末；154,729千円(対前年比102%)
- 入客数：H26.4～2月末；161,256人(対前年比99%)
- ・高知暮らしフェアへの参加(6/21 東京、6/29 大阪、12/14 東京)
- ・地方創生先行型交付金に道の駅の活性化事業と調査事業を計上
- ・産振アドバイザーを導入し新商品開発の検討
 - 3回実施(7/17～18、8/29、9/22)
 - 導入数を5回に変更(9/30承認済)にして、商品開発継続：アドバイザー4回目実施(11/9)
 - プリのへらずしテスト販売実施中(10月～)
 - アドバイザー5回目実施(1/9)
- ・移住体験ツアーの実施(7/5～6：6名、9/13～14：4名、11/8～9：6名)
- ・売店及び2階レストランにWifi設置(7/28)

[課題と今後の対応]

経営の改善

⇒産振アドバイザー(社員教育、店舗運営)の指導を受け、経営の改善を図る

情報発信の強化と販路開拓

⇒大月町出身者など、大月町にゆかりがある方々へのアプローチを図る

[目標(H27)]

- ・雇用者数 正規5名、フル・パート14名
- ・売上額 160,000千円

[H26 到達点]

- ・雇用者数 正規5名、パート14名
- ・売上額 120,000千円

[H25 到達点]

- ・雇用者数 パート10名 → 実績 正規5名、パート14名

[取組状況]

- ・道の駅オープン(4/14)
- ・オープンからのレジ通過者数(2月末)：177,290人
- ・オープンからの売上実績(2月末)：161,385千円
- ・商工会事業活用によるアドバイザーの導入
- ・黒潮一番館との連携協議(月1回開催)
- ・レストランメニューに日替わりメニュー(650円、20食限定)を導入(7月～)
- ・町の産振補助金を活用し、全国どんぶり選手権にエントリー

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>リー(エントリーメニュー(くろしおカツオ丼)は改良のうえ12月からレストランメニューに追加、「るるぶ」6月号に掲載予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> サービス向上に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> →ポイントカードの発行(フードコートのみ、500円以上で1ポイント、30ポイントでタタキ定食サービス) フードコートメニュー表の工夫、修正 直販部門のレジ位置の変更 JAFカード提示により、「くろしおカツオ丼」を値引き(3月末まで) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>直販スペースの改善、フードコートメニューの充実 ⇒アドバイザーの導入により改善</p> <p>観光情報発信機能の強化充実</p>
<p>滞在型・体験型観光の推進</p> <p>■No. 39 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> (一社) 幡多広域観光協議会 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行受入数4,000人 ・一般旅行受入数30,000人 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行受入数1,000人 ・一般旅行受入数5,000人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行受入数1,000人 → 実績972人 ・一般旅行受入数5,000人 → 実績5,948人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入(15校1,111人) ・一般旅行(体験プログラム利用者)受入数(81メニュー、9,232人) ・楽しまんと!はた旅のPR <ul style="list-style-type: none"> →ガイドブック70,000部を作成し、道の駅やSA等約350箇所配布(下期ガイドも作成し配布) →はた旅フェイスブック7/1スタート(1月末925いいね) ・観光商品のブランド化に向けて、JTB職員をアドバイザーとして招へいし、現地視察、市町村プレゼンを実施(6/9~10、9/8~9、10/16~17) <ul style="list-style-type: none"> →観光商品の洗い出し、商品化(海洋館、海底館、食事の3点セットを商品化) ・食のブランド化(塩タタキ(四万十市)、清水サバ(土佐清水市)、キビナゴ丼(宿毛市))に向けた関係機関協議

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 40 竜串観光再発見事業 (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・土佐清水市観光協会 ・NPO竜串観光振興会 ・竜串地区 ・竜串自然再生協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢アドバイザーによる民泊研修を開催し(6/9~10)、新たに19件が登録 ・広域観光推進部会設置(7/16) <ul style="list-style-type: none"> →5 専門チーム会(四万十川流域、マリンレジャー、グルメ、教育旅行受入、スポーツ合宿等誘致)によるブラッシュアップの検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>幡多広域観光協議会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒民間団体、事業者が参画する仕組みの構築 ⇒運営資金を確保するために、法人化後の総括、今後の事業計画を策定し、市町村へ協力依頼 ⇒27年度~29年度の支援継続について、市町村が了承 <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 12.5 万人 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 11.5 万人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 11 万人 → 実績 10.2 万人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアガイドによる竜串・見残し観光実施中 ・足摺海洋館あり方検討委員会の最終とりまとめを受け、基本計画検討委員会を設立(第1回 12/21、第2回 2/12) ・観光施設の快適性向上に向けたトイレ等の改修工事完成(9/2)(県補助金活用) ・環境省事業導入による海城公園内の清掃活動(12/2) ・ふるさと雇用事業で1名雇用 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地域資源を活かした具体的な戦略展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒地区全体の将来ビジョン創造、受入体制の充実 <p>はた博で造成した体験プログラムの磨き上げ</p> <p>足摺海洋館改築の方向性</p>
<p>■No. 42 足摺・竜串を中心としたジオパークへの取り組みによる交流人口の拡大(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・(仮称)足摺・竜串ジオパーク推進協議会 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークガイド登録者数 10 人 <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 43 四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光の推進 (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市観光振興連絡会議 ・奥四万十楽しまんプロジェクトチーム ・四万十市 ・41℃プロジェクト 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市産業振興課内にジオパーク推進係設置 (4/1) ・土佐清水市内にてジオパーク講演会開催 (4/17、11/20) ・日本ジオパークネットワーク準会員加盟 (5/1) ・ジオパーク専門員による出前講座 (11/19 市連合婦人会) ・ジオガイド研修会 (11/21) ・日本ジオパークネットワーク研修会及び総会への参 (5/28～5/29) ・市広報誌を活用した住民向け周知活動 (7月号から連載) ・先進地(認証地)視察(室戸、四国西予) ・市職員等を対象とした庁内連携研修会開催 (8/26) ・9/1付けで専門員1名を雇用 ・産振アドバイザーを活用し、足摺地区、竜串地区でワークショップ形式による「地域の宝探し」を実施 ・土佐清水ジオパーク推進協議会設立 (2/27) →今後、「計画・保全」、「教育・啓発」、「観光・ビジネス」、「地域コミュニティ」の4部会で活動予定 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>推進体制の構築、受入体制の整備 ⇒ジオパークの素材(ジオサイト)の選択、地域での勉強会の開催</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 120万人 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 120万人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 → 実績 126万人 (指標及び目標の変更) <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十花絵巻の開催(桜、藤、つつじ、菖蒲、紫陽花) ・サイクルトレイン四万十号の運行(江川崎～窪川) 4/19～5/25の土、日、祝 132人 9/20～11/3の土、日、祝 123人 ・JR予土線サイクルトレイン混乗試験(1/24～3/15土日祝日17回) ・四万十川周遊川バス運行(199人) ・周遊観光バスしまんと・あしずり号運行(金、土、日、祝) ・予土県境地域連携実行委員会(H26.3.27設立)主催のサイクルイベント「2リバービューライド」開催(9/14、参

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 45 黒潮町の地域資源を活かした体験型観光の推進(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO砂浜美術館 ・黒潮町 	<p>加者数 183 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無限大チャレンジライド (2/28~3/1 497 人) ・第 2 回四万十映画祭 (2/7、8、14、15 8,000 人) ・岐阜県多治見市、埼玉県熊谷市とのアツイまち対決の実施 (1 位 多治見市、2 位 熊谷市、3 位 四万十市) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>通年・滞在型観光に向けた観光商品の開発・ブラッシュアップ</p> <p>⇒体験メニューのブラッシュアップ</p> <p>愛媛県との県境連携(予土県境地域連携実行委員会)の強化による周遊の促進</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 60 万人 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 69 万人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 69 万人 → 実績 62.9 万人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tシャツアート展開催 (5/3~5/7 20,217 人) ・大方シーサイドはだしマラソン (5/3 1,148 人) ・いごっそうアクアスロン大会 (7/27 227 人) ・シーサイドギャラリー (8/15 12,000 人) ・土佐さがのもどりガツオ祭開催 (10/18 10,000 人) ・黒潮町観光ネットワーク総会 (7/1 21 人) ・民泊受入衛生講習会 (5/20 6 人) ・防災プログラムの磨き上げに向けて観光アドバイザーを招聘 (6/21) <ul style="list-style-type: none"> →防災モニターツアー4 回実施 →岡山の中学生を受入 (9/29 260 人)、3 月に 2 校受入 ・スポーツ合宿、大会の招致 (11 回 2,545 人泊) ・スポーツ合宿等誘致活動 (50 団体) <ul style="list-style-type: none"> →H27 ミズノカップの開催内定 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>宿泊観光客の増</p> <p>⇒スポーツ大会、合宿の誘致活動の強化</p>

②上記以外で特記すべき取組 特になし

2 平成 26 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況 (交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 25 土佐清水発! 宗田節が良くでる加工施設整備・販路拡大事業 (土佐清水市)	衛生管理面の強化、製造量の拡大に向けた加工場の新築及び販売促進	21,735 (10,062)
■NO. 37 水産物加工施設整備事業 (黒潮町)	衛生管理面の強化、製造量の拡大に向けた加工場の新築	77,760 (36,000)
■NO. 5 三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築 (三原村)	自動選果機及び搾汁機導入に向けた加工場の新築	234,613 (50,000)
■NO. 13 宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進 (宿毛市)	中国輸出に向けた、活魚による水陸輸送調査及び商談会への参加	4,818 (1,864)
■NO. 46 衛生管理強化による干物等水産加工品販路開拓事業 (大月町)	衛生管理面の強化、生産体制の整備に向けた加工機器の導入及び販売促進	9,897 (4,581)

3 県民参画に向けた取組

- ・幡多地域のパネル展示 (6/27~7/11: 県庁 1階)
- ・幡多信用金庫との包括協定連絡会 (4/25)
- ・中村商工会議所役員会で食の観光商品化に向けた取組の概要説明 (5/14)
- ・高知県産業振興計画シンポジウム (5/16: 四万十市 中央公民館)
- ・宿毛商工会議所、宿毛市、広域観光協議会、地域本部等できびなご井の観光商品化に向けた協議 (6/12)
- ・土佐清水商工会議所、土佐清水市、土佐清水市観光協会、広域観光協議会、地域本部等で清水サバの観光商品化に向けた協議 (7/3)
- ・ハローワーク四万十で産振計画の説明 (7/23)
- ・幡多地域のパネル展示 (9/5~12: 県庁 1階)
- ・中村商工会議所、広域観光協議会、地域本部等で塩タタキの観光商品化に向けた協議 (10月)
- ・宿毛商工会議所、宿毛市、広域観光協議会、地域本部等できびなご井の観光商品化に向けた協議 (10月)
- ・土佐清水商工会議所、土佐清水市、土佐清水市観光協会、広域観光協議会、地域本部等で清水サバの観光商品化に向けた協議 (10月)

4 相談案件：14 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/2	雇用	共同作業所における専門人材の雇用に関する相談
2	4/11	食品加工	加工場の新設及び店舗開設に関する相談
3	5/28	食品加工	水産加工品の商品開発に関する相談
4	5/28	食品加工	畜産物の食品加工に関する相談
5	6/6	食品加工	農産物の食品加工に関する相談
6	6/10	観光	龍馬パスポート登録に関する相談
7	7/16	食品加工	農産物の食品加工に関する相談

NO	相談日	事業種別	相談内容
8	8/4	食品加工	水産加工場への機械導入に関する相談
9	8/6	商品販売	地域産品のネット販売に関する相談
10	9/11	食品加工	水産加工場の新設及び店舗開設に関する相談
11	9/24	新エネルギー	小水力発電所の設置に関する相談
12	12/3	林業	サカキ、シキビの流通規模拡大の相談
13	12/10	食品流通	四万十鶏の食品流通に関する相談
14	1/7	農業	冬虫夏草の人工栽培に関する相談

Q. 11. 11

Q. 11. 11